

とさやま保育園調理室棟新築工事

図 面 リ ス ト							
意 匠 図				構 造 図			
A-01	特記仕様書 (1)	A-21	取合部分詳細図	S-01	配筋基準図	WS-01	木造特記仕様書 (1)
A-02	特記仕様書 (2)	A-22	建具・家具配置図	S-02	梁貫通補強図	WS-02	木造特記仕様書 (2)
A-03	特記仕様書 (3)	A-23	外部建具表	S-03	土質柱状図 (1)	WS-03	木造特記仕様書 (3)
A-04	特記仕様書 (4)	A-24	内部建具表	S-04	土質柱状図 (2)	WS-04	木造特記仕様書 (4)
A-05	特記仕様書 (5)	A-25	家具図	S-05	土質柱状図 (3)	WS-05	木造特記仕様書 (5)
A-06	特記仕様書 (6)	A-26	展開図 (1)	S-06	伏図	WS-06	木造特記仕様書 (6)
A-07	特記仕様書 (7)	A-27	展開図 (2)	S-07	断面リスト、配筋詳細図	WS-07	木造特記仕様書 (7)
A-08	特記仕様書 (8)	A-28	展開図 (3)			WS-08	基礎伏図、床伏図
A-09	特記仕様書 (9)	A-29	部分詳細図			WS-09	梁伏図、小屋伏図
A-10	付近見取図、配置図兼仮設計画図	A-30	外構配置図			WS-10	筋違・金物平面図
A-11	求積図、求積表	A-31	外構配置詳細図 (改修前)			WS-11	軸組図 (1)
A-12	仕上表	A-32	外構配置詳細図 (改修後)			WS-12	軸組図 (2)
A-13	平面図	A-33	外構詳細図 (1)				
A-14	天井伏図	A-34	外構詳細図 (2)				
A-15	屋根伏図	A-35	外構詳細図 (3)				
A-16	立面図						
A-17	A-A' 矩計図						
A-18	B-B' 矩計図						
A-19	断面詳細図						
A-20	平面詳細図						

とさやま保育園調理室棟新築工事 特記仕様書

I 工事概要
1. 工事場所 高知市土佐山桑尾1827番地
2. 工事種目 【調理室棟】 木造平家建て 延べ面積142.66㎡
3. 関連工事等
4. 概成工期
II 建築工事仕様
1. 特記仕様
2. 適用基準等
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Notes). Contains detailed specifications for construction, safety, and personnel.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Notes). Contains detailed specifications for environmental measures, safety, and construction methods.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Notes). Contains detailed specifications for materials, wind pressure, and other construction details.

項目	特記事項																																																																											
12 軽量コンクリート	(6.10.1)(6.10.2)(表 6.10.1) 種類 所要気乾単位容積質量 (t/m3) スランプ 適用箇所 ・ 1種 ・ 2種 ※表6.10.1による ※21 ※図示																																																																											
13 無筋コンクリート (捨コンクリートを除く)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート・軽量コンクリート (6.14.1) 設計基準強度 Fc(N/mm2) スランプ(cm) 適用箇所 ※18 ○21 ※15 ○18 ※6.14.1(4)による ○図示																																																																											
木造工事																																																																												
1 複数の構・工法	部位及び工法 ※図示 《4.1.1》																																																																											
2 耐火構造	木材を用いて耐火構造とする場合の適用 《4.1.6》 ・平成12年告示第1399号に基づくもの ・国土交通大臣の認定を受けたもの																																																																											
3 木材の防腐・防蟻処理	・処理不要樹種 ※4.2.1(1)(7)による 《4.2.1》 適用部材 ※図示 ○薬剤の加圧注入 ※日本農林規格の保存処理 性能区分 ・ K2 ※ K3 ・ K4 ・ A Q 認定保存処理材 ・ 3種 ※ 2種 ・ 1種 ・ JIS K 1570又はJIS A 9002 ・ インサイジング加工 適用部位 ※図示 適用部位 ○図示(外部表し、土台、外壁副縁) 処理に使用した薬剤、注入量等の証明書を監督職員に提出すること																																																																											
4 土壌の防蟻処理	○薬剤の塗布 ※JIS K 1571またはこれと同等の性能を有するもの 《4.2.3》 適用部位 ・ 図示 ※土台天端から上部1m以下の部分 処理に使用した薬剤、使用量等の記録を監督職員に提出すること ・薬剤の接着剤への混入 適用部材 ※図示 ・合板等の加圧注入 適用部材 ※図示 ・断熱材の防腐・防蟻処理 適用部材・処理の種類 ※図示																																																																											
5 防腐措置	・床下換気 ※ねこ土台 ・ 図示 《4.2.4》 ○小屋裏換気位置、大きさ 給気孔 位置 (※図示 ・) 大きさ (※図示 ・) 排気孔 位置 (※図示 ・) 大きさ (※図示 ・)																																																																											
6 防火被覆の処理	防火被覆材の材料及び厚さ ※図示 《4.3.2》 防火被覆材の留め付け材の種類等 ※図示 防火被覆材の目地等の処理 ※図示 継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ※図示 防火被覆処理部への二次部材取付部の処理 ※図示																																																																											
7 燃えしろ層の処理	燃えしろ層の厚さ ※図示 《4.3.3》 柱又は梁を接合する継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ※図示 接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ※図示 燃えしろ層への二次部材取付部の処理 ※図示																																																																											
8 不燃処理木材等	・不燃材料 (※図示 ・) 《4.3.4》 ・準不燃材料 (※図示 ・) ・難燃材料 (※図示 ・)																																																																											
軸組構法(壁構造系)工事																																																																												
1 製材	目視等級または機械等級区分構造用製材 (JAS 1083-3,4) 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>目視等級</th> <th>機械等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の美観 造作用製材 の基準により 指定する</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・甲種 ・1級</td> <td>・E90</td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td>・上小節 (見出し)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・乙種 ・2級</td> <td>※図示</td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 各部位の寸法は図示とする。 広葉樹製材 (JAS 1083-6) 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>等級</th> <th>寸法</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・特等 ・1等 ・2等</td> <td>※図示</td> <td>・13%以下 ・10%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </tbody> </table> 基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの ※縦振動ヤング係数測定対象部材 (※梁・柱・図示) 測定数 ・全数 ※抽出 (抽出方法：・JIS Z 2101による ※無作為に10%)	部位	樹種	目視等級	機械等級	含水率	保存処理	材面の美観 造作用製材 の基準により 指定する			・甲種 ・1級	・E90	・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4	・上小節 (見出し)			・乙種 ・2級	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4						・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4						・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4						・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4						・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4						・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4						・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4		部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理			・特等 ・1等 ・2等	※図示	・13%以下 ・10%以下	・K2 ・K3 ・K4
部位	樹種	目視等級	機械等級	含水率	保存処理	材面の美観 造作用製材 の基準により 指定する																																																																						
		・甲種 ・1級	・E90	・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4	・上小節 (見出し)																																																																						
		・乙種 ・2級	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4																																																																							
				・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4																																																																							
				・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4																																																																							
				・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4																																																																							
				・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4																																																																							
				・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4																																																																							
				・20%以下 ※15%以下	・K2・K3 ・K4																																																																							
部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																							
		・特等 ・1等 ・2等	※図示	・13%以下 ・10%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																							

項目	特記事項																																																																																																																																																														
広葉樹製材 (JAS 1083-6) 《5.2.2》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>等級</th> <th>寸法</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・特等 ・1等 ・2等</td> <td>※図示</td> <td>・13%以下 ・10%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </tbody> </table> 基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの ※縦振動ヤング係数測定対象部材 (※梁・柱・図示) 測定数 ・全数 ※抽出 (抽出方法：・JIS Z 2101による ※無作為に10%) 無等級材「日本農林規格以外の製材」 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り材(外部)</td> <td>桧</td> <td>※図示</td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2 ○K3 ・K4</td> <td rowspan="2">上小節</td> </tr> <tr> <td>見え掛り材(内部)</td> <td>桧</td> <td>※図示</td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>※図示</td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 含水率及び欠点等の確認：5.2.2.(1).(d).②による 基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの ※縦振動ヤング係数測定対象部材 (※梁・柱・図示) 測定数 ・全数 ※抽出 (抽出方法：・JIS Z 2101による ※無作為に10%) ・国土交通大臣が指定した乾燥処理を施した木材 《5.2.2》 施工箇所：() 含水率：・20%以下 ※15%以下 下地用製材 (JAS 1083-5) 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>等級</th> <th>寸法</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級</td> <td>※図示</td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級</td> <td>※図示</td> <td>・20%以下 ※15%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 「製材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 構造用集成材「集成材の日本農林規格」 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>材面の品質</th> <th>接着性能</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> <td>・A ・B ・C</td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> <td>・A ・B ・C</td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 化粧張り構造用集成材「集成材の日本農林規格」 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板厚み</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1等 ・2等</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1等 ・2等</td> <td>※図示</td> </tr> </tbody> </table> 「集成材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 枠組壁工法構造用製材 (JAS 0600) 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>樹種群</th> <th>寸法型式</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※19%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※19%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※19%以下</td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </tbody> </table> 「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けたMSR枠組材 《5.2.2》 施工箇所：() 含水率：・20%以下 ※15%以下 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (JAS 0600) 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>樹種群</th> <th>寸法型式</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けたたて継ぎ材 《5.2.2》 施工箇所：() 含水率：・20%以下 ※15%以下	部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理			・特等 ・1等 ・2等	※図示	・13%以下 ・10%以下	・K2 ・K3 ・K4	部位	樹種	寸法	含水率	保存処理	材面の品質	見え掛り材(外部)	桧	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ○K3 ・K4	上小節	見え掛り材(内部)	桧	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4	図示	図示	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4		部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	備考			・1級 ・2級	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4				・1級 ・2級	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4		部位	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法	保存処理			・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C	※図示						・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C	※図示				部位	樹種	品名	化粧薄板厚み	見付け材面	寸法					・1等 ・2等	※図示					・1等 ・2等	※図示	施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	含水率	保存処理		・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材					※19%以下	・K2 ・K3 ・K4		・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材					※19%以下	・K2 ・K3 ・K4		・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材					※19%以下	・K2 ・K3 ・K4	施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	備考		・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材							・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材							・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材					
部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理																																																																																																																																																										
		・特等 ・1等 ・2等	※図示	・13%以下 ・10%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																										
部位	樹種	寸法	含水率	保存処理	材面の品質																																																																																																																																																										
見え掛り材(外部)	桧	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ○K3 ・K4	上小節																																																																																																																																																										
見え掛り材(内部)	桧	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																											
図示	図示	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																											
部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	備考																																																																																																																																																									
		・1級 ・2級	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																										
		・1級 ・2級	※図示	・20%以下 ※15%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																										
部位	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法	保存処理																																																																																																																																																								
		・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C	※図示																																																																																																																																																											
		・1種 ・2種 ・3種	・A ・B ・C	※図示																																																																																																																																																											
部位	樹種	品名	化粧薄板厚み	見付け材面	寸法																																																																																																																																																										
				・1等 ・2等	※図示																																																																																																																																																										
				・1等 ・2等	※図示																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																								
	・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材					※19%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																								
	・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材					※19%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																								
	・甲種枠組材 ・乙種枠組材 ・MSR枠組材					※19%以下	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	備考																																																																																																																																																									
	・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材																																																																																																																																																														
	・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材																																																																																																																																																														
	・甲種たて継ぎ材 ・乙種たて継ぎ材 ・MSRたて継ぎ材																																																																																																																																																														

項目	特記事項																																																																																																																																																																													
5 構造用単板積層材	構造用単板積層材 (JAS 0701) 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>品名</th> <th>曲げ性能</th> <th>寸法</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>水平せん断 区分</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 「単板積層材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 丸太材 (皮はぎ材) 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>含水率</th> <th>末口径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※20%以下 ・15%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 加工前にすべてについて、目視による材の欠点がないことの確認を行い、監督職員に報告書を提出すること。 基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの ・縦振動ヤング係数測定対象部材 () 測定数 ・全数 ※抽出 (抽出方法：・JIS Z 2101による ※無作為に10%) 木質接着成形軸材料、木質複合軸材料、木質断熱複合パネル、木質接着複合パネル 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 直交集成板 《5.2.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・A ・B ・C</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・A ・B ・C</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </tbody> </table> 「直交集成板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 構造用パーティクルボード (JIS A 5908) 《5.2.3》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>耐水性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・S18</td> <td>・S-RN ・S-RS</td> <td>・REG ・MR1 ・MR2</td> </tr> </tbody> </table> 構造用メディアムデンシティーファイバーボード(構造用MDF) (JIS A 5905) 《5.2.3》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>接着剤による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>9</td> <td>・30タイプ ・25タイプ</td> <td>・RN ・RS</td> <td>・U ・M ・P</td> </tr> </tbody> </table> 構造用合板「合板の日本農林規格」 《5.2.3》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>曲げ性能</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野地板</td> <td>構造用合板</td> <td>12mm</td> <td>※針葉樹</td> <td>※1級 ・2級</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>※特類 ・1類</td> <td>・行う ※行わない</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>構造用合板</td> <td>12mm</td> <td>※針葉樹</td> <td>※1級 ・2級</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>※特類 ・1類</td> <td>・行う ※行わない</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>構造用合板</td> <td>24mm</td> <td>※針葉樹</td> <td>※1級 ・2級</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>※特類 ・1類</td> <td>・行う ※行わない</td> </tr> </tbody> </table> ※屋外又は屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する接着の程度は特類とする。 「合板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 化粧張り構造用合板「合板の日本農林規格」 《5.2.3》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特類 ・1類 ・特類 ・1類</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※屋外又は屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する接着の程度は特類とする。 「合板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること 構造用パネル (JAS 0360) 《5.2.3》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 「構造用パネルの日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること パーティクルボード (JIS A 5908) 《5.2.3》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>耐水性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・18 ・13 ・8 ・24-10 ・17.5-10.5 ・30-15</td> <td>・RN ・RS ・VN ・VS ・DV ・DO ・DC</td> <td>・REG ・MR1 ・MR2</td> </tr> </tbody> </table> ハードファイバーボード (JIS A 5905) 《5.2.3》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>油、樹脂などの特殊処理</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・S(無処理) ・T(処理)</td> <td>・S35 ・S20 ・T45</td> <td>・S25 ・R35</td> <td>・RN ・RN ・RS ・RS ・DE</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	品名	曲げ性能	寸法	接着性能 (使用環境)	水平せん断 区分	保存処理					※図示								※図示								※図示				施工箇所	樹種	寸法	含水率	末口径	備考				※20%以下 ・15%以下			施工箇所	形状	寸法	含水率	備考						施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法					・A ・B ・C		※図示					・A ・B ・C		※図示	施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	耐水性による区分			・S18	・S-RN ・S-RS	・REG ・MR1 ・MR2	施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	接着剤による区分		9	・30タイプ ・25タイプ	・RN ・RS	・U ・M ・P	施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	曲げ性能	接着の程度	防虫処理	野地板	構造用合板	12mm	※針葉樹	※1級 ・2級	※C-D以上		※特類 ・1類	・行う ※行わない	壁	構造用合板	12mm	※針葉樹	※1級 ・2級	※C-D以上		※特類 ・1類	・行う ※行わない	床	構造用合板	24mm	※針葉樹	※1級 ・2級	※C-D以上		※特類 ・1類	・行う ※行わない	施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	備考					・特類 ・1類 ・特類 ・1類		施工箇所	品名	厚さ (mm)	備考					施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	耐水性による区分			・18 ・13 ・8 ・24-10 ・17.5-10.5 ・30-15	・RN ・RS ・VN ・VS ・DV ・DO ・DC	・REG ・MR1 ・MR2	施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂などの特殊処理	曲げ強さによる区分	表面の状態による区分	難燃性による区分			・S(無処理) ・T(処理)	・S35 ・S20 ・T45	・S25 ・R35	・RN ・RN ・RS ・RS ・DE
施工箇所	樹種	品名	曲げ性能	寸法	接着性能 (使用環境)	水平せん断 区分	保存処理																																																																																																																																																																							
				※図示																																																																																																																																																																										
				※図示																																																																																																																																																																										
				※図示																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法	含水率	末口径	備考																																																																																																																																																																									
			※20%以下 ・15%以下																																																																																																																																																																											
施工箇所	形状	寸法	含水率	備考																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法																																																																																																																																																																								
				・A ・B ・C		※図示																																																																																																																																																																								
				・A ・B ・C		※図示																																																																																																																																																																								
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	耐水性による区分																																																																																																																																																																										
		・S18	・S-RN ・S-RS	・REG ・MR1 ・MR2																																																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	接着剤による区分																																																																																																																																																																										
	9	・30タイプ ・25タイプ	・RN ・RS	・U ・M ・P																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	曲げ性能	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																						
野地板	構造用合板	12mm	※針葉樹	※1級 ・2級	※C-D以上		※特類 ・1類	・行う ※行わない																																																																																																																																																																						
壁	構造用合板	12mm	※針葉樹	※1級 ・2級	※C-D以上		※特類 ・1類	・行う ※行わない																																																																																																																																																																						
床	構造用合板	24mm	※針葉樹	※1級 ・2級	※C-D以上		※特類 ・1類	・行う ※行わない																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	備考																																																																																																																																																																									
				・特類 ・1類 ・特類 ・1類																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	耐水性による区分																																																																																																																																																																										
		・18 ・13 ・8 ・24-10 ・17.5-10.5 ・30-15	・RN ・RS ・VN ・VS ・DV ・DO ・DC	・REG ・MR1 ・MR2																																																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂などの特殊処理	曲げ強さによる区分	表面の状態による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																									
		・S(無処理) ・T(処理)	・S35 ・S20 ・T45	・S25 ・R35	・RN ・RN ・RS ・RS ・DE																																																																																																																																																																									

備考	高知市都市建設部公共建築課 保 係長 課長補佐 課長 小野 曾田 松本 岡村	とさやま保育園調理室棟新築工事 設計図	三建設計有限公司 高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文	登録高-6号 図面名称 特記仕様書(3)	NO. A-03
----	----------------------------------------------	---------------------	------------------------------------------------------------------------	-------------------------	----------

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																										
10	<p>せつこうボードその他のボード (JIS規格) 《5.2.3》</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・構造用せつこうボードA種</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・構造用せつこうボードB種</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・せつこうボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・強化せつこうボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・せつこうラスボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・シーリングボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ラスシート</td> <td>※ L S 4</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>パルセメント板 (JIA A 5414) 《5.2.3》</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・0.9I</td> <td>・0.9E</td> <td>・0.9ID</td> <td>・0.9ED</td> </tr> <tr> <td>・1.1I</td> <td>・1.1E</td> <td>・1.1ID</td> <td>・1.1ED</td> </tr> </table> <p>国土交通大臣認定の乾燥処理を施した構造用面材 施工箇所: () 含水率: ・20%以下 ※15%以下 《5.2.3》</p> <p>※5.2.4.(1).(a)のZ, CまたはXマーク表示金物による ※5.2.4.(1).(b)のDまたはSマーク表示金物による ・5.2.4.(1).(c)の金物による 寸法, 形状および鋼材の材質 ※ 図示 《5.2.4》 表面処理の適用 (14.2.2) (18.3.2) (18.3.3) 《5.2.4》 ・溶融亜鉛メッキ ※電気亜鉛メッキ ・錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は, 腐食が起きないように表面処理を施したものを 溶接接合 溶接技能者への技量付加試験 ・行う ※行わない 代替エンドタブを使用する場合は, 技量付加試験を行うか, AW検定協議会が実施する代替エンドタブ検定により認定された溶接技能者でなければならない 開先の形状 ※ 図示 「鉄骨工事技術指針・工場制作編」による (7.6.4) スカラップの形状 ※ 図示 (7.6.7) エンドタブ ※ 切断する ・ 切断しない 適用箇所 ※ 見えがかり部 ・ 図示</p> <p>接合金物の工法 《5.5.8》 面材の取付に必要な木材の彫り込み ※ 行わない ・ 行う (※接合金物の厚さ・) 見え掛り部に取付け方法 ※ 図示</p>	種	厚さ(mm)	施工箇所	・硬質木片セメント板	※ 図示	※ 図示	・構造用せつこうボードA種	※ 図示	※ 図示	・構造用せつこうボードB種	※ 図示	※ 図示	・せつこうボード	※ 図示	※ 図示	・強化せつこうボード	※ 図示	※ 図示	・せつこうラスボード	※ 図示	※ 図示	・シーリングボード	※ 図示	※ 図示	・ラスシート	※ L S 4	※ 図示	種	厚さ(mm)	施工箇所	・0.9I	・0.9E	・0.9ID	・0.9ED	・1.1I	・1.1E	・1.1ID	・1.1ED	19	<p>木材の加工</p> <p>ボルト孔の大きさ ※表5.4.2による ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 見え掛り面の表面の仕上げ程度 機械加工によるかな掛け仕上げの程度 (製材) ・ A種 ・ B種 ・ C種 機械加工による仕上げの程度 (構造用集成材) ・ A種 ※ B種 手加工によるかな掛け仕上げの程度 (製材) ・ H-A種 ※ H-B種 ・ H-C種 機械加工によるかな掛け仕上げの程度 (丸太材) ・ A種 ・ B種 手加工によるかな掛け仕上げの程度 (丸太材) ・ H-A種 ・ H-B種</p> <p>基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ 《5.5.4》 厚さ ・ 20mm程度 ※ 図示 無収縮モルタル ・ 適用する 建方精度の許容値 ※ 垂直, 水平の誤差の範囲 (1/1,000以下) 《5.5.6》</p> <p>20</p>	<p>搬入及び建方</p> <p>土台 仕口の形状 ※ 図示 (WS-01) ・ 大入りあり掛け 隅の仕口 ※ 図示 (WS-01) ・ 大入り小根ほぞ差し割りくさび締め ・ 片あり掛け 継手の形状 ※ 図示 (WS-01) ・ 腰掛けかま継ぎ ・ 腰掛けあり継ぎ 仕口及び継手の位置 ※ 図示 (WS-01, 08) 《5.6.1》 火打土台 仕口の形状 ※ 図示 ・ かたぎ大入れ ・ かたぎ胴付きボルト締め 《5.6.2》 留付け釘の種類及び方法 ※ 図示 ・ N90釘2本打ち 鋼製火打土台の施工箇所 ※ 図示</p> <p>21</p>	<p>軸組</p> <p>土台との仕口の形状 ※ 図示 (WS-04) ・ 短ほぞ差し ・ 長ほぞ差し込み栓打ち ・ 肩ほぞ差し ※ 図示 (WS-02) ・ 短ほぞ差し山形プレート併用 ・ 長ほぞ差し込み栓打ち 平成12年告示1460号, N値計算または許容応力度計算等により, 必要耐力を有する 接続金物等を併用すること 横架材との仕口の形状 《5.6.4》 ※ 図示 (WS-02) ・ 上部ほぞ差し下部突付け又は上下部とも大入れ 留付け方法及び接合金物, 接合金物の種類 ※ 図示 (WS-02) 筋かいが当たる箇所の留付け方法及び接合金物, 接合金物の種類 ※ 図示 (WS-02) 通し貫が当たる箇所の留付け方法及び接合金物, 接合金物の種類 ※ 図示 (WS-02)</p> <p>間柱 通し柱との仕口の形状 《5.6.5》 ※ 図示 ・ 平成12年告示1654号による ・ 小胴付きほぞ差し 取付方法及び接合金具及び接続具 ※ 図示 ・ 平成12年告示1654号に基づくもの 継手の形状 ※ 図示 ・ 追掛け大せん継ぎ 継手の位置 ※ 図示 継手の形状 ※ 図示 ・ 追掛け大せん継ぎ 《5.6.6》 継手の位置 ※ 図示</p> <p>間仕切桁 主要な間仕切桁と桁又は胴差とのT字取合い部の仕口の形状, 留付け方法 《5.6.7》 (頭つなぎ) ※ 図示 ・ 大入りあり掛け羽子板ボルトM12締め 継手の形状 ・ 図示 ・ 追掛け大せん継ぎ 継手の位置 ・ 図示</p> <p>まぐさ・窓台 《5.6.8》 柱・間柱との仕口形状 ※ 図示 ・ かたぎ大入れ 接合金物及び接合金具の種類 ・ 図示 ・ ひら金物ため釘Z N65 4本打ち ・ かすがい打ち</p> <p>木製筋かい 《5.6.9》 上下端部の仕口形状 ※ 図示 (WS-02) 90mm×90mm以上の筋かいの仕口の形状 ※ 図示 ・ かたぎ大入れ 留付け方法及び接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 (WS-02) ・ ひら金物Z N65ため釘Z N65 2本締め 貫 留付け方法及び留付け釘の種類 ※ 図示 《5.6.10》 木ずり 留付け釘の種類 ※ 図示 ・ N50釘 《5.6.11》</p>	22	<p>小屋組</p> <p>小屋梁 (平陸梁) 仕口及び継手の形状, 位置並びに接合金物及び接合金具の種類 《5.7.1》 ※ 図示 (WS-07, 09) 軒桁又は敷桁との仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示</p> <p>小屋束 上部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 《5.7.2》 ※ 図示 ・ 短ほぞ差しかすがい打ち 下部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 短ほぞ差しかすがい打ち</p> <p>登り梁 上部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 《5.7.3》 (合掌) ※ 図示 ・ かぶとあり掛けN75斜め打ち 下部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示</p> <p>トラスの斜材 《5.7.4》 上部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 下部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示</p> <p>棟木, 母屋 《5.7.5》 継手の形状及び位置並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 (WS-07) T字部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ・ 図示 ・ 大入りあり掛けかすがい上端打ち</p> <p>桁行筋かい, 振れ止め 《5.7.6》 設置位置 ※ 図示 (WS-09) 留付け方法及び留付け釘の種類 ※ 図示 ・ 東木等に添え付けN50釘2本打ち 軒先部以外の留付け方法及び留付け釘の種類 《5.7.7》 ※ 図示 ・ 当たり欠き乗せ掛けひねり金物又は折曲げ金物Z N40ため釘打ち 軒先部の留付け方法及び接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 当たり欠き乗せ掛けひねり金物又は折曲げ金物Z N40ため釘打ち</p> <p>火打梁 梁・胴差・桁等との仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 《5.7.8》 ※ 図示 (WS-02) ・ かたぎ大入れM12ボルト締め 鋼製火打梁の施工箇所 ※ 図示</p> <p>屋根野地板 《5.7.9》 ・ ひき板の樹種, 厚さ, 継手の形状, 取付け方法 ※ 図示 ・ 厚さ9mm継手は登り板約10枚毎に乱雑な木芯で突付けN38釘2本平打ち 構造用合板野地板 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示 ・ N50釘間隔150mm以下 パーテイクルボード野地板 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示 ・ N50釘間隔150mm以下 構造用パネル野地板 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示 ・ N50釘間隔150mm以下</p>	23	<p>床組</p> <p>大引 大引の継手の形状及び留付け釘の種類 《5.8.1》 ※ 図示 (WS-01) ・ 腰掛あり継ぎ ・ 相欠き継ぎの上N75釘2本打ち 大引と土台との仕口の形状及び留付け釘の種類 ※ 図示 (WS-01) ・ 大入りあり掛け, 腰掛け又は乗せ掛けの上N75釘2本斜め打ち 大引と柱との仕口の形状及び留付け釘の種類 ・ 図示 ・ 柱添え木に乗せ掛けの上N75釘2本打ち</p> <p>木製床束 上部仕口の形状 ※ 図示 ・ 突付け 《5.8.2》 留付け方法及び接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ N75斜め打ちの上かすがい打ち又はひら金物Z N75ため釘4本打ち</p> <p>鋼製床束の仕様及び設置方法 ※ 図示 樹脂製床束の仕様及び設置方法 ※ 図示</p> <p>根太掛 継手の形状 ※ 図示 ・ 突付け 《5.8.3》 留付け釘の種類及び留付け方法 ※ 図示 ・ N75釘2本平打ち 根太の間隔 ※ 図示 ・ 300mm程度 《5.8.4》 継手の形状及び留付け釘の種類 ※ 図示 ・ 突付けN90釘打ち 梁又は大引と根太との仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 腰渡しN75釘2本斜め打ち</p> <p>床組に根太を用いない場合の工法等 ※ 図示 床梁 仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 《5.8.5》 ※ 図示 ・ 大入りあり掛け羽子板ボルトM12締め</p> <p>構造用面材による床組 《5.8.7》 構造用合板5.2.3(ウ)による適用部位 ※ 図示 化粧ばり構造用合板5.2.3(エ)による適用部位 ※ 図示 構造用パネル5.2.3(オ)による適用部位 ※ 図示 パーテイクルボード5.2.3(カ)による適用部位 ※ 図示 根太を設けた床組 ・ 根太と床梁又は胴差の上端高さが同じ場合 床梁・胴差との接合部の根太の仕口の形状 ※ 図示 根太の留付け方法及び接合金物及び接合金具の種別 ※ 図示 構造用面材の留付け釘の種類, 留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示 根太と床梁又は胴差の上端高さが異なる場合 床梁等に直交する根太の仕口の形状 ※ 図示 受材・際根太の寸法 ※ 図示 留付け釘の種類, 留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示 構造用面材の留付け釘の種類, 留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示</p> <p>根太を設けない床組 留付け釘の種類, 留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示 N75釘間隔150mm以下</p> <p>非耐力壁 《5.9.1》 柱の端部と横架材との仕口の形状, 留付け釘の種類, 留付け方法及び接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 隅柱と土台との仕口の形状, 留付け方法及び接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示</p> <p>軸組耐力壁 《5.9.2》 筋かいの端部における仕口の形状 ※ 図示 (WS-02) 軸組の柱の柱脚及び柱頭の仕口の形状 ※ 図示 (WS-02)</p> <p>鉄筋筋かいの材料及び工法 ※ 図示</p> <p>大壁造の面材耐力壁 《5.9.3》 面材耐力壁の種類, 厚さ, 留付け釘の種類, 釘打ち間隔 ※ 図示 構造用面材の下地に用いる耐材 樹種及び断面寸法 ※ 図示 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示</p> <p>床勝ち大壁造の面材耐力壁 《5.9.4》 面材耐力壁の種類, 厚さ, 留付け釘の種類, 釘打ち間隔 ※ 図示 構造用面材の下地に用いる耐材 樹種及び断面寸法 ※ 図示 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示</p> <p>真壁造の面材耐力壁または床勝ち真壁造の面材耐力壁 《5.9.5》 《5.9.6》 面材耐力壁の種類, 厚さ, 留付け釘の種類, 釘打ち間隔 ※ 図示 構造用面材の下地に用いる耐材及び貫の材料 樹種及び断面寸法 ※ 図示 構造用面材の下地に耐材を用いる場合の工法 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示 構造用面材を受材以外で継ぐ場合 (間柱及び胴つなぎ) 樹種及び断面寸法 ※ 図示 構造用面材の下地に貫を用いる場合の工法 貫の本数 ※ 5本以上 最上段の貫とその直上の横架材及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔 ※ 図示 貫を柱に差し通す場合の留付け方法 ※ 図示 柱との仕口の形状及び留付け釘の種類 ※ 図示</p> <p>真壁造土塗り壁耐力壁 《5.9.7》 貫の樹種及び断面寸法 ※ 図示 間渡し竹 ・ 幅20mm以上の割り竹 ・ 小径12mm以上の丸竹 種類 ・ マダケ ・ シノチク 貫の本数 ※ 3本以上 横貫と柱の接合又は縦貫と横架材の接合方法 ※ 図示 間渡し竹と柱及び横架材との接合方法 ※ 図示 土塗り壁の塗り厚さ ※ 図示</p> <p>面格子壁耐力壁 《5.9.8》 樹種, 断面寸法及び格子の間隔 ※ 図示 留付け釘の種類及び木ねじの種類 ※ 図示 面格子と柱との仕口の形状及び留付け方法 ※ 図示 面格子と横架材との仕口の形状及び留付け方法 ※ 図示</p> <p>落とし込み板壁耐力壁 《5.9.9》 樹種及び断面寸法 ※ 図示 木だぼの適用 ※ 図示 鋼材だぼの適用 ※ 図示 鋼材の種類 ・ SR235 ・ SD295 表面処理の適用 (14.2.3) (18.3.2) (18.3.3) 《5.2.4》 ・ 溶融亜鉛メッキ ※ 電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は, 腐食が起きないように表面処理を施したものを</p> <p>大臣認定耐力壁 《5.9.10》 適用箇所 ※ 図示</p>
種	厚さ(mm)	施工箇所																																													
・硬質木片セメント板	※ 図示	※ 図示																																													
・構造用せつこうボードA種	※ 図示	※ 図示																																													
・構造用せつこうボードB種	※ 図示	※ 図示																																													
・せつこうボード	※ 図示	※ 図示																																													
・強化せつこうボード	※ 図示	※ 図示																																													
・せつこうラスボード	※ 図示	※ 図示																																													
・シーリングボード	※ 図示	※ 図示																																													
・ラスシート	※ L S 4	※ 図示																																													
種	厚さ(mm)	施工箇所																																													
・0.9I	・0.9E	・0.9ID	・0.9ED																																												
・1.1I	・1.1E	・1.1ID	・1.1ED																																												
11	接合金物	19	木材の加工	23	床組																																										
12	釘及び木ねじ	20	搬入及び建方	24	壁																																										
13	ボルト及びナット	21	軸組																																												
14	アンカーボルト	22	小屋組																																												
15	座金																																														
16	ラグスクリュー																																														
17	ドリフトピン																																														
18	木栓及び木だぼ																																														
19	接着剤																																														

項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																		
① 表面仕上げ	<p>機械加工によるかな掛け仕上げの程度（製材・造作用集成材） 《表10.1.1》《10.1.3》</p> <table border="1"> <tr> <th>表面仕上げの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※A種</td> <td>内部造作材，外部造作材</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>内部造作材，外部造作材</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>下地材</td> </tr> </table> <p>手加工によるかな掛け仕上げの程度（製材） 《表10.1.2》《10.1.3》</p> <table border="1"> <tr> <th>表面仕上げの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※H-A種</td> <td>内部造作材，外部造作材</td> </tr> <tr> <td>※H-B種</td> <td>内部造作材，外部造作材</td> </tr> <tr> <td>※H-C種</td> <td>下地材</td> </tr> </table>	表面仕上げの種類	適用箇所	※A種	内部造作材，外部造作材	※B種	内部造作材，外部造作材	※C種	下地材	表面仕上げの種類	適用箇所	※H-A種	内部造作材，外部造作材	※H-B種	内部造作材，外部造作材	※H-C種	下地材	④ 合板等	<p>下地用合板</p> <p>① 「合板の日本農林規格」による普通合板 《10.2.3》</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所(品名)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃性処理</th> </tr> <tr> <td>職員トイレ床下地</td> <td>※5.5</td> <td>○ラワン・しな</td> <td>※1類</td> <td>広葉樹(※2等以上)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○9.0</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>針葉樹(※C-D以上)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>② 「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所(品名)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td>面台下地</td> <td>※12.0</td> <td>○針葉樹</td> <td>※1類</td> <td>※2級以上</td> <td>※C-D以上</td> <td>・</td> <td>※指定しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○特類</td> <td>・1級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所(品名)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類</td> <td>・特類</td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類</td> <td>・2類</td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所(品名)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類</td> <td>・2類</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15.0</td> <td>・素地(研磨品)</td> <td>※13タイプ</td> <td>※MR1(M)又はMR2(P)タイプ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・単板張り</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(・研磨品・無研磨品)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所(品名)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・3級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・4級</td> </tr> </table> <p>・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏の状態</th> <th>曲げ強さ</th> <th>接着剤</th> <th>難燃性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤ 接合具等</p> <p>釘 《10.2.4》</p> <p>※10.2.4.(1).(ア)による釘</p> <p>※10.2.4.(1).(イ)による釘 (材質並びに寸法及び形状：※図示)</p> <p>釘打ち工法</p> <p>下張材に対する釘の打込み本数：※図示</p> <p>斜めに釘を打ち込む場所：※図示</p> <p>造作材化粧面の釘打ち</p> <p>※隠し釘打ち</p> <p>・釘頭埋め木</p> <p>・つぶし頭釘打ち</p> <p>・釘頭現し</p> <p>木ねじ</p> <p>※10.2.4.(2).(ア)による木ねじ</p> <p>・10.2.4.(2).(イ)による木ねじ (材質並びに寸法及び形状：※図示)</p> <p>⑥ 耐候性，防虫処理</p> <p>⑦ 屋根回り</p> <p>⑧ 外部開口部回り</p> <p>⑨ 内部開口部回り</p> <p>⑩ 内部床回り</p> <p>⑪ 外壁回り</p>	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃性処理	職員トイレ床下地	※5.5	○ラワン・しな	※1類	広葉樹(※2等以上)	・	・		○9.0	・	・	針葉樹(※C-D以上)	・	・	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級	面台下地	※12.0	○針葉樹	※1類	※2級以上	※C-D以上	・	※指定しない				○特類	・1級	・	・	・	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※1類	・特類	施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※1類	・2類	施工箇所(品名)	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理				※1類	・2類	・	施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分		※15.0	・素地(研磨品)	※13タイプ	※MR1(M)又はMR2(P)タイプ	・			・単板張り	・	・	・			(・研磨品・無研磨品)	・	・	・	施工箇所(品名)	寸法(mm)	等級			・1級			・2級			・3級			・4級	施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性							<p>⑫ 外壁張り</p> <p>⑬ 外壁造作</p> <p>⑭ ひさし</p> <p>⑮ 内部壁</p> <p>⑯ 内部造作</p> <p>17 和室の造作</p>	<p>・ラス下地板</p> <p>樹種 ※図示</p> <p>寸法 ※厚さ12mm，幅75mm</p> <p>防腐，防蟻処理</p> <p>留め付け釘の種類及び寸法 ※図示</p> <p>・下地用合板</p> <p>防腐，防蟻処理</p> <p>留め付け釘の種類，寸法及び留付け間隔 ※図示</p> <p>① 通気胴縁</p> <p>樹種 ※杉</p> <p>寸法 ※厚さ18mm以上，幅45mm以上</p> <p>※仕上げ材継目部，壁の出隅部及び入隅部：幅90mm以上</p> <p>防腐，防蟻処理</p> <p>② 通気金物の材質，形状及び寸法 ※図示(A-29)</p> <p>③ 外壁通気構造下地 《10.8.2》</p> <p>※縦通気胴縁</p> <p>・外壁荷重が大きくなる場合の接合具と留付け間隔 ※図示</p> <p>・積雪地域の補強方法及び補強高さ：高さ：※図示</p> <p>方法：※10.8.2(9)(h)③の特記がない場合による</p> <p>・横通気胴縁 ※図示</p> <p>胴縁の間隔</p> <p>・積雪地域の補強方法及び補強高さ 高さ：※図示</p> <p>方法：※10.8.2(9)(i)③の特記がない場合による</p> <p>・通気胴縁以外の外壁仕上げに適合する下地</p> <p>⑫ 外壁張り</p> <p>・押縁下見板張り(ささら下見板張り)</p> <p>押縁及び下見板の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・南京下見板張り(よろい下見板張り)</p> <p>下見板の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・横羽目板・縦羽目板張り</p> <p>羽目板の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・目板付縦羽目板張り</p> <p>目板及び羽目板の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・敷目板張り</p> <p>敷目板の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>⑬ 外壁造作</p> <p>・付け土台 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>⑭ 雨押え 樹種及び寸法 ※図示(A-29)</p> <p>・見切り縁・笠木・外部回り縁 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>⑭ ひさし</p> <p>・陸ひさし 製材の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・露除けひさし 製材の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・腕木ひさし(しころひさし) 製材の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>⑮ 内部壁</p> <p>① 内壁下地 《10.9.1》</p> <p>胴縁の樹種，寸法及び間隔 ※図示(A-12)</p> <p>② 内壁板張り 《10.9.2》</p> <p>・横羽目板・縦羽目板張り</p> <p>樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・目板付縦羽目板張り</p> <p>目板及び羽目板の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・敷目板張り</p> <p>敷目板の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>⑯ 内部造作</p> <p>① 幅木 樹種及び寸法 ※図示(A-12)</p> <p>・回り縁 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>② 天井下地 《10.9.4》</p> <p>吊木受け及び吊木 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>野縁，野縁受け及び板野縁 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・天井板張り 《10.9.5》</p> <p>・敷目天井板張り 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・打上げ天井板張り 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>17 和室の造作</p> <p>・柱 樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・背割不要の処理を行った製材 ※図示</p> <p>・開口部回り 敷居，かもし等の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・壁回り 塗込め貫の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・床回り 畳下地板の樹種並びに寸法及び厚さ ※図示</p> <p>畳寄せの樹種並びに寸法及び厚さ ※図示</p> <p>・天井回り 竿縁天井板張りの樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・格縁天井板張りの樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・特殊吊金具 ※図示</p> <p>・床の間回り 床の間に使用する製材等の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>・掛軸用金物 ※図示</p> <p>・床脇欄に使用する製材等の樹種及び寸法 ※図示</p> <p>《表10.10.6》</p> <p>《表10.10.7》</p> <p>《表10.10.8》</p>
表面仕上げの種類	適用箇所																																																																																																																																																				
※A種	内部造作材，外部造作材																																																																																																																																																				
※B種	内部造作材，外部造作材																																																																																																																																																				
※C種	下地材																																																																																																																																																				
表面仕上げの種類	適用箇所																																																																																																																																																				
※H-A種	内部造作材，外部造作材																																																																																																																																																				
※H-B種	内部造作材，外部造作材																																																																																																																																																				
※H-C種	下地材																																																																																																																																																				
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃性処理																																																																																																																																															
職員トイレ床下地	※5.5	○ラワン・しな	※1類	広葉樹(※2等以上)	・	・																																																																																																																																															
	○9.0	・	・	針葉樹(※C-D以上)	・	・																																																																																																																																															
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																																																														
面台下地	※12.0	○針葉樹	※1類	※2級以上	※C-D以上	・	※指定しない																																																																																																																																														
			○特類	・1級	・	・	・																																																																																																																																														
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																	
			※1類	・特類																																																																																																																																																	
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																	
			※1類	・2類																																																																																																																																																	
施工箇所(品名)	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																
			※1類	・2類	・																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																
	※15.0	・素地(研磨品)	※13タイプ	※MR1(M)又はMR2(P)タイプ	・																																																																																																																																																
		・単板張り	・	・	・																																																																																																																																																
		(・研磨品・無研磨品)	・	・	・																																																																																																																																																
施工箇所(品名)	寸法(mm)	等級																																																																																																																																																			
		・1級																																																																																																																																																			
		・2級																																																																																																																																																			
		・3級																																																																																																																																																			
		・4級																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																																																																																																																																
備考	高知市都市建設部公共建築課	とさやま保育園調理室棟新築工事	三建設計有限公司																																																																																																																																																		
	係 小野 係長 長瀬 課長補佐 長瀬 課長 長瀬	設計図	登録高-6号																																																																																																																																																		
		高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633																																																																																																																																																		
		一級建築士第135971	安並和文																																																																																																																																																		
			図面名称 特記仕様書(5)																																																																																																																																																		
			NO. A-05																																																																																																																																																		

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
防水工事		3	有機系接着剤による陶磁器質タイル張り	10	粘土瓦葺
1	FRP系塗膜防水 ルーフドレンの種類 ※ FRP系塗膜防水用ルーフドレン ・ 鋳鉄製 (11.2.2) 下地の構造 (11.2.4) ・ 根太掛 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 防腐及び防蟻処理の種類 ・ 4.2.1.(4).(a)によるK2 ・ 根太 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ スギ、幅45mm×高さ55mm程度、間隔300程度 ・ 防腐、防蟻及び防虫処理の種類 ・ 4.2.1.(4).(a)によるK2 ・ 下地合板 ・ 構造用合板「合板の日本農林規格」 厚さ ※ 12mm 表板の樹種等 ※ 図示 防腐処理 ※ 行う ・ 普通合板「合板の日本農林規格」 厚さ ※ 12mm 表板の樹種等 ※ 図示 防腐処理 ※ 行う 釘または木ねじの留付け間隔 ※ 150mm程度 ・ 防火板の種類 ※ ケイ酸カルシウム板厚さ10mm 防水層の下地の勾配 ※ 1/100以上 水切り金物及び外装材の取合いの詳細 ※ 図示 水張り試験 ※ 行わない	3	有機系接着剤による陶磁器質タイル張り 標準的な曲がりの役物は一体成形とする タイルの試験張り ※ 行わない ・ 行う (11.1.4) タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 行う 外装タイルにおける目地詰め ※ 行わない (11.3.3)(11.3.5) 外装タイル接着張りにおける目地のシーリング材 ※ ボリウレタン系 (11.3.4) 打継ぎ目地及びびびり割れ誘発目地 ※ 変成シリコーン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 ・ MCR工法 (11.3.5)	10	粘土瓦葺 材料 (14.5.2) 施工箇所 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物の種類 雪止め瓦の使用 雪止め瓦の使用 ※ 使用しない ・ 使用する JIS A 5208に基づく凍害試験等 ・ 行わない ・ 行う 瓦浅木 (14.5.2) 材質： ※ 図示 ・ 杉 寸法： ※ 図示 ・ 21mm以上×15mm以上 防腐処理の方法 ※ 図示 棟補強用心材 (14.5.2) 材質： ※ 図示 ・ 杉 寸法： ※ 図示 ・ 21mm以上×15mm以上 防腐処理の方法 ※ 図示 棟補強等に使用する金物 (14.5.2) 材質： ※ 図示 形状： ※ 図示 寸法： ※ 図示 留付け方法： ※ 図示 工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 建築基準法に基づく地震力に対応した瓦の繋ぎ方法などの工法 ・ 図示 瓦浅木を留付け木材以外の野地板にする場合 野地板の材料： ※ 図示 留付け工法： ※ 図示 瓦の取付 ※ 14.5.3(4)の特記がない場合による 棟の工法 ・ 14.5.3(5)(7)による(冠瓦伏せ棟) ・ 14.5.3(5)(4)による(のし積み棟)
2	保証書 受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から)	4	金属板葺 14.3節に定める以外の金属板葺 ※ 製造所の仕様による ・ 図示	11	スレート葺 材料 屋根スレート (JIS A 5423) (14.6.2) 種類、寸法及び形状、役物、色彩等 ※ 図示 工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 雪止め ※ 設けない ・ 設ける
3	シーリング シーリング材の種類 (11.3.2)《表11.3.1》 記号 主成分による区分 施工箇所 ○SR-1 シリコーン系 面合 ・SR-2 ○MS-2 変成シリコーン系 外装材目地 ○PS-2 ポリサルファイド系 基礎部打継目地 ・PU-2 ポリウレタン系 ・ 仕上げを行わない施工箇所 () シーリング材の目地寸法 ※ 図示及び 9.7.3による (11.3.3) 接着性試験 ・ 行う ※ 簡易接着性試験 (部位) (11.3.5) ・ 引張接着性試験 (部位)	5	金属板葺用材料 金属板材料、厚さ (14.3.2)《表14.3.1》 ※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(ガルバリウム鋼板) ・ 塗装ステンレス鋼板 (厚さ ※ 図示) 固定釘等の材質 (表14.3.2) ○ 亜鉛めっき鉄釘 ※ ステンレス釘 ・ 鋼釘 ・ 亜鉛めっき鉄木ねじ ※ ステンレス鋼木ねじ 心木なし瓦葺葺き 母屋固定の場合の釘の寸法 ※ 図示 金属板の留付け (14.3.3) ・ 吊子の各部材の寸法 ※ 図示 ・ 通し吊子の各部材の寸法 ※ 図示 ○ t=0.4mm (屋根同材) ・ 通し付け子の釘留め間隔 ※ 図示	12	アスファルトシングル葺 材料 (14.7.2) アスファルトシングル 品質、形状、色調及び寸法 ※ 図示 工法 (14.7.3) 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 軒先、けら等の曲面 ・ 設ける (※ 半径500mm以上 ・ 半径 mm) ・ 設けない 雪止め ※ 設けない ・ 設ける
4	透湿防水シート、防水テープ及び改質アスファルト工事 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm幅以上のもので、傷やしわがないもの (11.4.2) ・ パルコニー手すりの工法 ※ 11.4.3(ケ)①から⑤による (11.4.3) アルミニウム笠木の固定方法、形状及び仕上げ ※ 図示	6	平葺(一文字葺)の工法 工法 (14.3.4) 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 加工 葺板のはぜのつくり方 ※ 図示 一般部の葺き方 吊子の間隔 ※ 図示 各部工法 吊子及び釘の留付け間隔 ※ 図示 軒先及びけらばの釘の留付け間隔 ※ 図示 雪止め ※ 設けない ・ 設ける	13	とい
5	ケイ酸質系塗布防水 防水層の種類 (9.6.1)(9.6.3)(表9.6.1~表9.6.2) 種別 施工箇所 種別 施工箇所 ※ C-U I ・ C-U P 下地処理	7	心木あり瓦葺葺きの工法 工法 (14.3.5) 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 一般部の葺き方 瓦葺及び釘の留付け間隔 ※ 図示 溝板及びキャップの留付け方法 ※ 14.3.5(3)(7)(c)の特記がない場合による 鋼板による屋根一般部分 瓦葺、吊子及び釘の留付け間隔 ※ 図示 各部工法 棟覆い 鋼板以外の板による心木あり瓦葺葺きの棟部分の工法 釘打ちの間隔 ※ 図示 鋼板による心木あり瓦葺葺きの棟部分の工法 留付け釘の間隔 ※ 図示 軒先 留付け釘の間隔 ※ 図示 雪止め ※ 設けない ・ 設ける 心木 樹種 ※ 図示 防腐防蟻処理 ※ 図示 ※ 特殊工法によるものは各製造所の仕様による		
石工事		8	心木なし瓦葺葺きの工法 工法 (14.3.6) 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 一般部の葺き方 釘打ちの間隔 ※ 図示 各部工法 棟覆い 留付け釘の間隔 ※ 図示 軒先 留付け釘の間隔 ※ 図示 屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部 ・ 雨押えを付ける場合 留付け釘の間隔 ※ 図示 ・ 雨押えを用いない場合 吊子の間隔 ※ 図示 雪止め ※ 設けない ・ 設ける ※ 特殊工法によるものは各製造所の仕様による		
1	施工 石材の割付け ・ 図示 ※ 10.1.3(1)(7)及び(4)による (10.1.3) 屋内の床のワックスかけ ・ 行う(適用箇所・すべて) (10.1.5) ※ 行わない	9	折板葺 材料 (14.4.2) 施工箇所 形式 タイトフレーム(mm) 耐力による区分 材料による区分 厚さ(mm) 軒先面戸板 耐火性能 ・ 重ね形 ()種 ※ 鋼板製 ・ 70・100mm 合金製 ・ はせ締め形 軒先面戸板 ※ 図示 タイトフレームを留め付ける下地材 材質： ※ 図示 形状： ※ 図示 寸法： ※ 図示 断熱材張り ・ 適用する (種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間) 工法 (14.4.3) 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法		
2	天然石 材料 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2) 施工箇所 岩石の種類 形状、寸法(mm) 厚さ(mm) パフ仕上げの有無 仕上げの種類 床 ※ 図示 ※ 図示				
3	テラゾ 種石の種類 ※ 大理石 (10.2.1) 種石の大きさ ※ 1.5~12mm 仕上げの種類 ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き (表10.2.2) 形状、寸法 ※ 図示				
タイル工事					
1	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※ 表11.1.1による (11.1.3)(表11.1.1) ・ 図示 (11.1.4)				
2	セメントモルタルによるタイル張り 施工箇所 形状寸法(mm) 吸水率の区分 うわぐすり 色 耐凍害性 耐滑り性 役物の適用 品質(公表単価(円/m2)) 踏込床 92×92×8.5 ○ - - ○ ○ - - 8,300円/m2 洗い場 10×10×4 ○ - - ○ ○ - - 51,000円/m2 標準的な曲がりの役物は一体成形とする タイルの試験張り ※ 行わない ・ 行う (11.1.4) タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 (11.2.6) 壁タイル張りの工法 内装タイル ※ 改良積上げ張り ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調査モルタル (11.2.3) タイル工事前の張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を工場において所定の割合に配合したものとす。				
備考					

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
6	アルミニウム製笠木 部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 (14.7.2) (表14.7.1) 隅角部, 端部の役物 ※使用する(笠木本体の製造所の仕様による) ・ 使用しない 表面処理 ・ 表14.2.1 (・BA-1 ・BA-2) 種 色合い等 ※標準色 笠木の固定金具の固定工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法	6	こま壁塗り のりの種類 (15.11.2) 土壁用のり ※つまた 砂壁用のり ※ふのり 色土の種類 ・ 土物仕上げに用いる色土 () ・ 大津仕上げに用いる色土 () 色砂の種類 ・ 天然砂と岩石の砕砂 () ・ 人工的に着色・製造したもの () 下塗りの割合 ※表15.11.2による (15.11.3) (表15.11.2) 塗厚 ※表15.11.8による (15.11.4) (表15.11.8) ・ 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 () 工程の種類 ※A種 ・ B種 (15.11.5) (表15.11.9) 土物仕上げ工法の種類 (15.11.7) ・ 土物仕上げ工法 ・ 水ごね土物1工法 ・ のりさし土物工法 ・ 砂壁仕上げ工法 ・ 切返し仕上げ工法 大津仕上げ工法の種類 (15.11.8) ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みぎき工法	7	鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (16.5.2) ・ 防音ドア, 防音サッシの遮音性の等級 (16.2.2) ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 適用箇所 ※図示 ・ 断熱ドア, 断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ・ 耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 適用箇所 ※図示 鋼板類の種類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (16.5.3) ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 召合わせ, 縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金押出成形材 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表16.5.1による) (16.5.4) 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法 (表16.4.5による) (16.5.6) ・ 適用する(建具符号, 形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による
左官工事		7	ロックウール吹付け ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの 仕上げ吹付け厚さ(mm) ・ 図示 (15.12.2) (15.12.3)	8	ステンレス製建具 耐風圧性等級, 気密性等級, 水密性等級 ・ S- A- W- (16.6.2) ・ 防音ドア, 防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 (16.2.2) 適用箇所 ※図示 ・ 断熱ドア, 断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ・ 耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3. (1)) 表面仕上げ ※HL ・ 鏡面仕上げ (16.6.4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(・a角 ・ b角 ・ c角) (16.6.5) 製造所 評価名簿による
①	モルタル塗り モルタル ※現場調合材料 ・ 既調合材料 () (15.3.2) 既製目地材 ・ 適用する(形状: ※図示) (15.3.2) 床の目地 ・ 適用する(目地割り ※2m程度 最大目地間隔3m程度) (15.3.5) (種類 ※押し目地) 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※行う ・ 行わない (15.3.5)	7	① 防火戸 防火戸の指定及び運動装置等 ※図示 (16.1.3) ② 建具見本の製作 ※製作しない ・ 製作する (16.1.4) ③ 防犯建物部品 適用箇所: ※図示 (16.1.6) ④ アルミニウム製建具 外部に面する建具の性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (16.2.2) (表14.2.1) (表16.2.1) (表16.2.2) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ A種 S-4 A-3 W-4 ※図示 ・ B種 S-5 A-3 W-4 ・ C種 S-6 A-4 W-5 外部に面する建具の性能等級(木下地) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ D種 S-2 A-3 W-3 ※図示 ・ E種 S-3 ○ 防音ドア, 防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 (16.2.2) 適用箇所 ※図示 ・ 断熱ドア, 断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 (16.2.3) (表16.2.3) 網戸等 種類 材質 線径 網目 適用箇所 ○ 防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 (16.2.4) (表16.2.4) ・ ステンレス製(SUS316) ※図示 ・ 防鳥網 ※ステンレス(SUS304)線材 ※1.5mm ※網目寸法15mm ※図示	9	木製建具 建具材の加工, 組立て時の含水率 ※A種 (16.7.2) (表16.7.1) ○ フラッシュ戸 (16.7.2) (表16.7.2) 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※16.7.2(2) (f) (a~c)による 表面板の厚さ ※表16.7.6による ・ かまち戸 (16.7.2) かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () (16.7.2) 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) ・ ふすま (16.7.2) 種別 ※I型 ・ II型 (16.7.2) (表16.7.3) 上張りの種類 ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ※ビニル紙 ・ 雲花紙(押入等の裏側) ・ 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) 縁の仕上げ ※塗り縁(素地) ・ 生地縁(ウレタンクリヤー塗装) (表16.7.10) ・ 戸ぶすまの見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) 上張りの種類 ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ※ビニル紙 ・ 雲花紙(押入等の裏側) ・ ・ 紙張り障子の見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) 枠, くつずりの材料 ※図示 (16.7.2) 接着剤の材料 ※表16.7.2(7)による (16.7.2) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
②	ラス系下地 (木下地の内外壁) ラス系下地の種類 (15.2.4) ・ 二層下地通気工法 (材料: ※波型ラス(W700)) 換気口部の措置 ※公共建築木造工事標準仕様書11.4.3(2) (f)による ・ 単層下地通気工法 (材料: ※リプラスC(RC800)に裏打ち材と一体化したラス) () ・ ラスマルタル下地直張り工法 ・ ラスシートモルタル下地直張り工法	7	⑤ 樹脂製建具 外部に面する樹脂製建具の性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (16.3.2) (表16.3.1) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ A種 S-4 A-4 W-4 ※図示 ・ B種 S-5 A-4 W-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地) (16.3.2) (表16.3.2) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ D種 S-2 A-4 W-3 ※図示 ・ E種 S-3 ・ 防音ドア, 防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 (16.3.2) (表16.3.2) 適用箇所 ※図示 ・ 断熱ドア, 断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 (16.3.2) (表16.3.3) 適用箇所 ※図示 外部に面する建具の日射取得特性の等級 ・ N1 ・ N2 ・ N3 (16.3.2) 網戸等 (16.2.3(5)) (16.3.3) 種類 材質 線径 網目 適用箇所 ・ 防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 (16.2.4) (表16.2.4) ・ ステンレス製(SUS316) ※図示 ・ 防鳥網 ※ステンレス(SUS304)線材 ※1.5mm ※網目寸法15mm ※図示	10	建具用金物 種類及び見え掛り部分の材質 ※表16.8.1による ・ 図示 (16.8.2) 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表16.8.2による ・ 図示 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表16.8.3による ・ 図示 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表16.8.4による ・ 図示 木製建具の戸車及びレール ※表16.8.5による ・ 図示 握り玉及びレバーハンドル, 押板類, クレセントの取付け位置 ※図示
③	仕上塗材仕上げ 薄付け仕上塗材 (15.6.2) (表15.6.1) 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ 外装薄塗材Si ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 吹付け ・ 着色骨材砂壁状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 吹付け ・ 防水形外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ 凹凸状 吹付け ・ 外装薄塗材S ・ 砂壁状 吹付け ・ 内装薄塗材C ・ 凹凸状 吹付け ・ 内装薄塗材L ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 吹付け ・ 内装薄塗材Si ・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 吹付け ・ 内装薄塗材E ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 吹付け ・ 内装薄塗材W ・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け 厚付け仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ 外装厚塗材C ・ 吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ひき起こし ・ かき落とし 吹付け ・ 外装厚塗材Si ・ 吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・ 外装厚塗材E ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ひき起こし 吹付け ・ 内装厚塗材C ・ 吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ひき起こし ・ かき落とし 吹付け ・ 内装厚塗材L ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ひき起こし ・ かき落とし 吹付け ・ 内装厚塗材G ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ひき起こし ・ かき落とし 吹付け ・ 内装厚塗材Si ・ 吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・ 内装厚塗材E ・ 平たん状 ・ 凹凸状 吹付け ・ ひき起こし 吹付け 複層仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ 複層塗材CE ・ ゆず肌状 吹付け ・ 複層塗材RE 吹付け ・ 複層塗材Si 吹付け ○ 複層塗材E 吹付け ・ 可とう形複層塗材CE ・ ゆず肌状 吹付け ・ 凸部処理 吹付け ・ 防水形複層塗材CE ・ ゆず肌状 吹付け ・ 防水形複層塗材RE ・ 凸部処理 吹付け 軽量骨材仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ 吹付け軽量塗材 ・ 砂壁状 吹付け ・ こて塗り軽量塗材 ・ 平たん状 吹付け 内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの (15.6.2) 防火材料の指定 ※なし ・ あり (※図示) (15.6.2) 見本塗 ※行う ・ 行わない (15.1.3) (15.6.3) ALCパネルの内壁目地部の形状 ※V形目地付き (15.6.4)	10	⑥ 鋼製建具 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (16.4.2) (表16.4.1) 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 (16.4.2) (表16.2.1) ・ 防音ドア, 防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 (16.2.2) 適用箇所 ※図示 ・ 断熱ドア, 断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ・ 耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 適用箇所 ※図示 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表16.4.2による) (16.4.4) ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3) 点検口類のくつずりの材料 (16.4.3) 標準型鋼製建具の有効内法寸法 (表16.4.5による) (16.4.6) ・ 適用する(建具符号, 形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による		

項目	特記事項																																																				
16 オーバーヘッドドア	(16.13.2~16.13.3) <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> <th>耐風圧性能区分</th> </tr> <tr> <td>※ スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチャル形</td> <td>※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> <td>・50 ・75 ・100 ・125</td> </tr> </table> <p>電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 製造所 評価名簿による ※ 図示</p>	セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	耐風圧性能区分	※ スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチャル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	・50 ・75 ・100 ・125																																										
セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	耐風圧性能区分																																																	
※ スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチャル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	・50 ・75 ・100 ・125																																																	
17 ガラス	(16.14.2) <table border="1"> <tr> <th>ガラスの種類及び厚さ</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収ガラス(グリーン)</td> <td>※ 図示(製作所は評価名簿による)</td> </tr> <tr> <td>※ その他のガラス</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ ※ 製造所の仕様による (16.14.3)</p>	ガラスの種類及び厚さ	摘要	・熱線吸収ガラス(グリーン)	※ 図示(製作所は評価名簿による)	※ その他のガラス	※ 図示																																														
ガラスの種類及び厚さ	摘要																																																				
・熱線吸収ガラス(グリーン)	※ 図示(製作所は評価名簿による)																																																				
※ その他のガラス	※ 図示																																																				
18 ガラス留め材	(16.14.2) <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材 質</th> <th>板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材 ・ ガasket ・ グレージングチャンネル形</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>※ シーリング材 ・ ガasket ・ グレージングビード</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※ シーリング材 ・ ガasket</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※ シーリング材 ・ ガasket</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>※ シーリング材 ・ 押縁留め</td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング材 ※ SR-1 (表9.7.1)</p>	建具の種類	材 質	板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガasket ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による	樹脂製	※ シーリング材 ・ ガasket ・ グレージングビード	※ 建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・ ガasket	※ 建具の製造所の仕様による	ステンレス製	※ シーリング材 ・ ガasket	※ 建具の製造所の仕様による	木製	※ シーリング材 ・ 押縁留め																																			
建具の種類	材 質	板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)																																																			
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガasket ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による																																																			
樹脂製	※ シーリング材 ・ ガasket ・ グレージングビード	※ 建具の製造所の仕様による																																																			
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・ ガasket	※ 建具の製造所の仕様による																																																			
ステンレス製	※ シーリング材 ・ ガasket	※ 建具の製造所の仕様による																																																			
木製	※ シーリング材 ・ 押縁留め																																																				
19 ガラスブロック積み	(16.14.5) <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>色調</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>壁用金属枠及び補強材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ステンレス(SUS304)</td> <td>・ アルミニウム</td> <td>※ なし</td> </tr> </table> <p>力骨</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>寸 法</th> <th>形 状</th> </tr> <tr> <td>※ ステンレス鋼(SUS304)</td> <td>※ 径5.5mm</td> <td>※ はしご形状複筋及び単筋</td> </tr> </table> <p>化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示</p> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示 目地幅の寸法及び伸縮調整目地の位置 ※ 図示</p>	表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	防火性能	壁用金属枠及び補強材	・ 図示	・ ステンレス(SUS304)	・ アルミニウム	※ なし	材 質	寸 法	形 状	※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状複筋及び単筋																																				
表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	防火性能																																																	
壁用金属枠及び補強材	・ 図示	・ ステンレス(SUS304)	・ アルミニウム	※ なし																																																	
材 質	寸 法	形 状																																																			
※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状複筋及び単筋																																																			
20 建築窓ガラス用フィルム	(16.14.5) <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種類、記号</th> </tr> <tr> <td>※ ガラス飛散防止フィルム</td> <td>※ G I-1, G D-1 ・ G I-2, G D-2</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 5759による</p>	名 称	種類、記号	※ ガラス飛散防止フィルム	※ G I-1, G D-1 ・ G I-2, G D-2																																																
名 称	種類、記号																																																				
※ ガラス飛散防止フィルム	※ G I-1, G D-1 ・ G I-2, G D-2																																																				
塗装工事																																																					
① 材料	(18.1.3) ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆とする。 防火材料 ・ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする (18.1.3) ・ 次の箇所を除き、防火材料とする(箇所)																																																				
② 素地ごしらえ	(18.2.2~18.2.7)(表18.2.1~表18.2.7) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>耐候性塗料塗り(DP)の場合</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上記以外の場合</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>モルタル面及びせつこうプラスター面</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート・ALCパネル面(DPを除く)</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート(DP)・押出成形セメント板面</td> <td>◎ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつこうボード面(継目処理工法)</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> </table>	下地面等		種別		木部	不透明塗料塗り	※ A種	※ B種		透明塗料塗り	※ A種	※ B種	鉄鋼面	耐候性塗料塗り(DP)の場合	・ A種	※ B種 ・ C種		上記以外の場合	・ A種	※ B種 ※ C種		亜鉛めっき鋼面	・ A種	※ B種		モルタル面及びせつこうプラスター面	・ A種	※ B種		コンクリート・ALCパネル面(DPを除く)	・ A種	※ B種		コンクリート(DP)・押出成形セメント板面	◎ A種	※ B種		せつこうボード面(継目処理工法)	※ A種	※ B種		せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面	・ A種	※ B種								
下地面等		種別																																																			
木部	不透明塗料塗り	※ A種	※ B種																																																		
	透明塗料塗り	※ A種	※ B種																																																		
鉄鋼面	耐候性塗料塗り(DP)の場合	・ A種	※ B種 ・ C種																																																		
	上記以外の場合	・ A種	※ B種 ※ C種																																																		
	亜鉛めっき鋼面	・ A種	※ B種																																																		
	モルタル面及びせつこうプラスター面	・ A種	※ B種																																																		
	コンクリート・ALCパネル面(DPを除く)	・ A種	※ B種																																																		
	コンクリート(DP)・押出成形セメント板面	◎ A種	※ B種																																																		
	せつこうボード面(継目処理工法)	※ A種	※ B種																																																		
	せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面	・ A種	※ B種																																																		
3 錆止め塗料塗り	(18.3.2~18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">錆止め塗料の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td rowspan="2">見え掛り部分</td> <td>SOP</td> <td>A種</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>1回目</td> <td>C種</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">見え隠れ部分</td> <td>DP</td> <td>2,3回目</td> <td>D種</td> <td>表18.3.4による</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td> <td rowspan="2">鋼製建具等</td> <td>SOP</td> <td>※ A種</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>B種</td> <td>表18.3.6による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼製建具以外</td> <td>EP-G</td> <td>C種</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>DP</td> <td>B種</td> <td>表18.3.6による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EP-G</td> <td>C種</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> </table>	下地面等		錆止め塗料の種類		工程の種類		鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	A種	※ A種	※ B種	1回目	C種	※ A種	※ B種	見え隠れ部分	DP	2,3回目	D種	表18.3.4による	EP-G	・ A種 ※ B種	※ A種	※ B種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※ A種	※ A種	※ B種	DP	B種	表18.3.6による	鋼製建具以外	EP-G	C種	※ A種	※ B種	SOP	・ A種 ※ B種	・ A種	※ B種		DP	B種	表18.3.6による		EP-G	C種	・ A種	※ B種
下地面等		錆止め塗料の種類		工程の種類																																																	
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	A種	※ A種	※ B種																																																
		1回目	C種	※ A種	※ B種																																																
	見え隠れ部分	DP	2,3回目	D種	表18.3.4による																																																
		EP-G	・ A種 ※ B種	※ A種	※ B種																																																
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※ A種	※ A種	※ B種																																																
		DP	B種	表18.3.6による																																																	
	鋼製建具以外	EP-G	C種	※ A種	※ B種																																																
		SOP	・ A種 ※ B種	・ A種	※ B種																																																
	DP	B種	表18.3.6による																																																		
	EP-G	C種	・ A種	※ B種																																																	

項目	特記事項																																														
④ 塗装の略号及び塗り種別等	(18.4.1~18.14.2)(表18.4.1~表18.14.1) <table border="1"> <tr> <th>略号</th> <th>塗装</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ SOP</td> <td>合成樹脂調合ペイント塗り</td> <td>木部 屋外 ※ A種 ・ B種 屋内 ・ A種 ※ B種 鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 亜鉛めっき鋼面 表18.4.3による</td> </tr> <tr> <td>・ CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ NAD</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">◎ DP</td> <td>耐候性塗料塗り</td> <td>鉄鋼面 上塗り塗料等級・1級・2級・3級 亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料等級・1級・2級・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ◎ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>◎ EP-G</td> <td>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面 ・ A種 ※ B種 モルタル・プラスター面 ・ A種 ※ B種 ボード面 ・ A種 ※ B種 木部 表18.8.2による 屋内の鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 屋内の亜鉛めっき鋼面 表18.8.4による</td> </tr> <tr> <td>・ EP</td> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>◎ UC</td> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ SF</td> <td>ビグメントステイン塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ OS</td> <td>オイルステイン塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>◎ 撥水剤</td> <td>水性フッ素樹脂クリア塗り</td> <td></td> </tr> </table> <p>塗料の種類等 UC塗りの着色工程の適用 ※ 適用しない ・ 適用する (表18.10.1) OS塗りの仕様 ・ 図示 (表18.11.2)</p>	略号	塗装	種別	・ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部 屋外 ※ A種 ・ B種 屋内 ・ A種 ※ B種 鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 亜鉛めっき鋼面 表18.4.3による	・ CL	クリヤラッカー塗り	・ A種 ※ B種	・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	・ A種 ※ B種	◎ DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面 上塗り塗料等級・1級・2級・3級 亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料等級・1級・2級・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ◎ A種 ・ B種 ・ C種	◎ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面 ・ A種 ※ B種 モルタル・プラスター面 ・ A種 ※ B種 ボード面 ・ A種 ※ B種 木部 表18.8.2による 屋内の鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 屋内の亜鉛めっき鋼面 表18.8.4による	・ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・ A種 ※ B種	◎ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	・ A種 ※ B種	・ SF	ビグメントステイン塗り		・ OS	オイルステイン塗り		◎ WP	木材保護塗料塗り	・ A種 ※ B種	◎ 撥水剤	水性フッ素樹脂クリア塗り											
略号	塗装	種別																																													
・ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部 屋外 ※ A種 ・ B種 屋内 ・ A種 ※ B種 鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 亜鉛めっき鋼面 表18.4.3による																																													
	・ CL	クリヤラッカー塗り	・ A種 ※ B種																																												
	・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	・ A種 ※ B種																																												
◎ DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面 上塗り塗料等級・1級・2級・3級 亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料等級・1級・2級・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ◎ A種 ・ B種 ・ C種																																													
	◎ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面 ・ A種 ※ B種 モルタル・プラスター面 ・ A種 ※ B種 ボード面 ・ A種 ※ B種 木部 表18.8.2による 屋内の鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 屋内の亜鉛めっき鋼面 表18.8.4による																																												
・ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	・ A種 ※ B種																																													
◎ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	・ A種 ※ B種																																													
・ SF	ビグメントステイン塗り																																														
・ OS	オイルステイン塗り																																														
◎ WP	木材保護塗料塗り	・ A種 ※ B種																																													
◎ 撥水剤	水性フッ素樹脂クリア塗り																																														
内装工事																																															
① ビニル床シート張り	(19.2.2~19.2.3) <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> <th>公表単価(円/m²)</th> </tr> <tr> <td>※ F S</td> <td>※ 無地</td> <td>※ 2.0</td> <td>◎ 耐水性 ◎ 防汚性</td> <td>外部廊下</td> <td>3,500円/m²程度</td> </tr> <tr> <td>※ F S</td> <td>※ 無地</td> <td>◎ 2.5</td> <td>◎ 耐水性 ◎ 防汚性</td> <td>外部階段</td> <td>6,500円/m²程度 (段裏黄色系)</td> </tr> <tr> <td>※ F S</td> <td>※ 無地</td> <td>◎ 2.0</td> <td>◎ 抗菌性 ◎ 防カビ性 ◎ 耐水性 ◎ 耐熱性</td> <td>下記以外の内部床</td> <td>6,000円/m²程度</td> </tr> <tr> <td>※ F S</td> <td>※ 無地</td> <td>※ 2.0</td> <td>◎ 抗菌性 ◎ 防汚性</td> <td>職員トイレ</td> <td>5,000円/m²程度</td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け(施工箇所) 帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~10¹⁰Ω程度</p>	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	公表単価(円/m ²)	※ F S	※ 無地	※ 2.0	◎ 耐水性 ◎ 防汚性	外部廊下	3,500円/m ² 程度	※ F S	※ 無地	◎ 2.5	◎ 耐水性 ◎ 防汚性	外部階段	6,500円/m ² 程度 (段裏黄色系)	※ F S	※ 無地	◎ 2.0	◎ 抗菌性 ◎ 防カビ性 ◎ 耐水性 ◎ 耐熱性	下記以外の内部床	6,000円/m ² 程度	※ F S	※ 無地	※ 2.0	◎ 抗菌性 ◎ 防汚性	職員トイレ	5,000円/m ² 程度																
記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	公表単価(円/m ²)																																										
※ F S	※ 無地	※ 2.0	◎ 耐水性 ◎ 防汚性	外部廊下	3,500円/m ² 程度																																										
※ F S	※ 無地	◎ 2.5	◎ 耐水性 ◎ 防汚性	外部階段	6,500円/m ² 程度 (段裏黄色系)																																										
※ F S	※ 無地	◎ 2.0	◎ 抗菌性 ◎ 防カビ性 ◎ 耐水性 ◎ 耐熱性	下記以外の内部床	6,000円/m ² 程度																																										
※ F S	※ 無地	※ 2.0	◎ 抗菌性 ◎ 防汚性	職員トイレ	5,000円/m ² 程度																																										
2 ビニル床タイル張り	(19.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ KT</td> <td>・ 無地</td> <td>※ 300×300</td> <td>※ 2.0</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防汚性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ TT</td> <td>・ 柄物</td> <td>・</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防汚性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOA</td> <td>・ FOH</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防汚性</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~10¹⁰Ω程度</p>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	※ KT	・ 無地	※ 300×300	※ 2.0	・ 帯電防止 ・ 防汚性		・ TT	・ 柄物	・	・ 2.0	・ 帯電防止 ・ 防汚性		・ FOA	・ FOH	・	・	・ 帯電防止 ・ 防汚性																							
種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所																																										
※ KT	・ 無地	※ 300×300	※ 2.0	・ 帯電防止 ・ 防汚性																																											
・ TT	・ 柄物	・	・ 2.0	・ 帯電防止 ・ 防汚性																																											
・ FOA	・ FOH	・	・	・ 帯電防止 ・ 防汚性																																											
3 誘導用床材及び警告用床材	(19.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法(mm)</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート系</td> <td>※ 300×300</td> <td>※ 30</td> <td>※ JIS T 9251適合品</td> </tr> <tr> <td>・ タイル系</td> <td>・</td> <td>・ 60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塩化ビニル系</td> <td>※ 300×300</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </table>	種 類	寸 法(mm)	厚 さ(mm)	備 考	・ レジコンクリート系	※ 300×300	※ 30	※ JIS T 9251適合品	・ タイル系	・	・ 60		・ 塩化ビニル系	※ 300×300	※ 図示																															
種 類	寸 法(mm)	厚 さ(mm)	備 考																																												
・ レジコンクリート系	※ 300×300	※ 30	※ JIS T 9251適合品																																												
・ タイル系	・	・ 60																																													
・ 塩化ビニル系	※ 300×300	※ 図示																																													
④ ビニル幅木	(19.2.2) <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>高 さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 軟質</td> <td>※ 1.5</td> <td>※ 60</td> <td>◎ 100</td> </tr> </table>	材 種	厚 さ(mm)	高 さ(mm)	備 考	※ 軟質	※ 1.5	※ 60	◎ 100																																						
材 種	厚 さ(mm)	高 さ(mm)	備 考																																												
※ 軟質	※ 1.5	※ 60	◎ 100																																												
5 ゴム床タイル張り	(19.2.2) <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>寸 法(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 単層</td> <td>・ 複層</td> <td>・ 3.0</td> <td>・ 4.0</td> <td>・ 6.0</td> <td>・ 9.0</td> </tr> </table>	色柄	種類	厚 さ(mm)	寸 法(mm)	備 考	・ 単層	・ 複層	・ 3.0	・ 4.0	・ 6.0	・ 9.0																																			
色柄	種類	厚 さ(mm)	寸 法(mm)	備 考																																											
・ 単層	・ 複層	・ 3.0	・ 4.0	・ 6.0	・ 9.0																																										
6 カーペット敷き	(19.3.2)(表19.3.1) <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <td>・ ウィルトカーペット</td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 人体帯電圧 3kV以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ タグフェルトカーペット</td> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アキスシスターカーペット</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>色柄、パイル糸の種類 ※ 模様のない無地のもの 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種) (19.3.1) ・ タフテッドカーペット (19.3.2~19.3.3)(表19.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td></td> <td>※ 全面接着工法</td> <td>・ 人体帯電圧 3kV以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td>・ グリッパー工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ レベルループパイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ タイルカーペット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>種類 パイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質(公表単価(円/m²)) ※ 第一種 ・ カットパイル ※ ループパイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カットパイル、ループ併用 ※ 7.0 タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様なし ・ 市松敷き 階段部分 ※ 模様なし ・ 市松敷き</p> <p>下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)に基づく第2種2号、呼び厚さ8.0mm (19.3.2) 取付け用付属品 (19.3.3) 見切り ※ (材質 種類 形状) ・ 図示 押え金物 ※ (材質 種類 形状) ・ 図示</p>	織り方	パイル形状	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))	・ ウィルトカーペット	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3kV以下		・ タグフェルトカーペット	・ ループパイル			・ アキスシスターカーペット	・ カット、ループ併用			パイル形状	パイル長	工 法	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))	・ カットパイル		※ 全面接着工法	・ 人体帯電圧 3kV以下		・ ループパイル		・ グリッパー工法			・ レベルループパイル					・ カット、ループ併用					・ タイルカーペット				
織り方	パイル形状	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))																																												
・ ウィルトカーペット	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3kV以下																																													
・ タグフェルトカーペット	・ ループパイル																																														
・ アキスシスターカーペット	・ カット、ループ併用																																														
パイル形状	パイル長	工 法	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))																																											
・ カットパイル		※ 全面接着工法	・ 人体帯電圧 3kV以下																																												
・ ループパイル		・ グリッパー工法																																													
・ レベルループパイル																																															
・ カット、ループ併用																																															
・ タイルカーペット																																															
⑦ 合成樹脂塗床	(19.4.2~3)(表19.4.4~8) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工 法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td>※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>◎ 厚膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・ 薄膜流しのペ工法 ◎ 厚膜流しのペ工法 ・ 樹脂モルタル工法</td> <td>◎ 平滑仕上げ(立上り) ◎ 防汚仕上げ(平場)</td> </tr> <tr> <td>・ 薄膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td>※ 平滑仕上げ</td> </tr> </table> <p>塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2) ※ F☆☆☆☆</p>	種別	施工箇所	工 法	仕上げの種類	・ 厚膜型塗床材	※ 図示		※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ	◎ 厚膜型塗床材	※ 図示	・ 薄膜流しのペ工法 ◎ 厚膜流しのペ工法 ・ 樹脂モルタル工法	◎ 平滑仕上げ(立上り) ◎ 防汚仕上げ(平場)	・ 薄膜型塗床材	※ 図示		※ 平滑仕上げ																														
種別	施工箇所	工 法	仕上げの種類																																												
・ 厚膜型塗床材	※ 図示		※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ																																												
◎ 厚膜型塗床材	※ 図示	・ 薄膜流しのペ工法 ◎ 厚膜流しのペ工法 ・ 樹脂モルタル工法	◎ 平滑仕上げ(立上り) ◎ 防汚仕上げ(平場)																																												
・ 薄膜型塗床材	※ 図示		※ 平滑仕上げ																																												

項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																											
⑧ フローリング張り	(19.5.2~19.5.5)(表19.5.1~表19.5.6) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工 法</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>樹 種</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">◎ フローリングボード1等</td> <td>・ 釘留め工法(根太張り)</td> <td>※ 15</td> <td>※ なら</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 釘留め工法(直張り)</td> <td>◎ 12</td> <td>◎ 松</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ フローリングボード1等</td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ 8</td> <td>※ なら</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 接着工法</td> <td>※ 15</td> <td>※ なら</td> <td></td> </tr> </table> <p>フローリングボードの幅及び長さ ※ 表19.5.1, 表19.5.3, 表19.5.5による フローリングブロックの大きさ ・ 300×300 ・ 303×303</p> <p>複合フローリング <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>種別</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>樹 種</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 釘留め工法(根太張り)</td> <td>・ A種</td> <td>※ 12</td> <td>※ なら</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 釘留め工法(直張り)</td> <td>・ B種</td> <td>※ 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 接着工法</td> <td>※ C種</td> <td>(ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※ 表19.5.4</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>フローリングの大きさ ※ 表19.5.2, 表19.5.4, 表19.5.6による</p> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※ 合成樹脂発泡シート (19.5.5) 塗装 ◎ 工場塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ A種 ※ B種 ・ 現場塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ A種 ※ B種 ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り (自然塗料)</p> <p>複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2) ※ F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの</p> <p>種別 ※ D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) (19.6.2)(表19.6.1) ・ 衝撃緩和型畳 畳表 ・ C1 ・ C2</p> <p>材料 (19.7.2)(表19.7.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・ 硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・ 15</td> <td>・ 20</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・ 15</td> <td>・ 20</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・ 12</td> <td>・ 16</td> <td>・ 18</td> <td>・ 21</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・ 30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ けい酸カルシウム板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ2(無糸織)</td> <td>◎ 6</td> <td>・ 8</td> </tr> <tr> <td>◎ 化粧けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> <td>◎ 6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>※ フラットタイプ(※9(準不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ(※12(不燃) ・ 15 ・)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>※ 25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール吸音ボード2号32K</td> <td>GW-B</td> <td>※ 25(ガラスクロス包)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ せつこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>◎ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)</td> <td>◎ 9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 不燃積層せつこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5(不燃)</td> <td>・ 化粧無(下地張り用) ・ 化粧有(トラバーチン模様)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ シーリングせつこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>◎ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)</td> <td>◎ 9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 強化せつこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ せつこうガラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>・ 9.5</td> <td>・ 12.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 化粧せつこうボード(トラバーチン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>◎ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せつこうボード(木目)</td> <td>GB-D</td> <td>・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> <td>模様()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 普通合板</td> <td></td> <td>表板の樹種名 ※ 図示 板面の品質 () 厚さ(mm) () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート型枠用合板</td> <td></td> <td>厚さ(mm) ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 構造用合板</td> <td></td> <td>厚さ(mm) ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板</td> <td></td> <td>化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板 (・ メラミン化粧合板) (・ ポリエステル化粧合板) (・ プリント合板) (・)</td> <td></td> <td>表面性能 ・ F ・ FW ・ W ・ SW 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ミディアムデンシティファイバーボード</td> <td>MDF</td> <td>・ 3</td> <td>・ 7</td> <td>・ 9</td> <td>・ 12</td> </tr> <tr> <td>・ 単板張りパーティクルボード</td> <td></td> <td>・ 無研磨板 ・ 研磨板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 10</td> <td>・ 12</td> <td>・ 15</td> <td>・ 18</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧パーティクルボード</td> <td></td> <td>・ 単層オーバーレイ ・ 塗装 ・ プラスチックオーバーレイ ・ 10(難燃) ・ 12(難燃)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ハードボード(素地)</td> <td>HB</td> <td>・ 無研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ 研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ハードボード(化粧)</td> <td></td> <td>・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ インシュレーションボード</td> <td>IB</td> <td>A級(・天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9</td> <td>・ 12</td> <td>・ 15</td> <td>・ 18</td> </tr> </table> <p>せつこうボードの目地処理の種類 (19.7.3)(表19.7.5) <table border="1"> <tr> <th>目地工法の種類</th> <th>せつこうボードのエッジの種類</th> </tr> <tr> <td>継目処理工法</td> <td>・ テーパーエッジ ※ ベベルエッジ</td> </tr> <tr> <td>突付け工法</td> <td>※ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ</td> </tr> <tr> <td>目透し工法</td> <td>※ スクエアエッジ ・ ベベルエッジ</td> </tr> </table> <p>合板類の張付け ・ A種 ※ B種 (19.7.3)(表19.7.3) パーティクルボード, MDF及び合板のホルムアルデヒド放散量 (19.7.2) ※ F☆☆☆☆, またはそれと同等と認められるもの 遮音壁に用いるシール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (19.7.2)</p> <p>壁紙 (19.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>公表単価(円/m²)</th> <th>防火性能</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 塩化ビニル樹脂系</td> <td>1,100円/m²程度</td> <td>・ 不燃 ◎ 準不燃 ・ 難燃 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※ B種 (19.8.3)(表18.2.4) コンクリート面及びALC面 ・ A種 ※ B種 (19.8.3)(表18.2.5) せつこうボード及びその他のボード面 ・ A種 ※ B種 (19.8.3)(表18.2.7)</p> <p>壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ (19.8.2)</p> </p></p></p></p>	種類	工 法	厚 さ(mm)	樹 種	備 考	◎ フローリングボード1等	・ 釘留め工法(根太張り)	※ 15	※ なら		◎ 釘留め工法(直張り)	◎ 12	◎ 松		・ フローリングボード1等	・ 接着工法	※ 8	※ なら		・ 接着工法	※ 15	※ なら		工 法	種別	厚 さ(mm)	樹 種	備 考	・ 釘留め工法(根太張り)	・ A種	※ 12	※ なら		・ 釘留め工法(直張り)	・ B種	※ 15			・ 接着工法	※ C種	(ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※ 表19.5.4			種 類	JISの記号	厚 さ(mm)	規格等	・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15	・ 20	・ 25	・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15	・ 20	・ 25	・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12	・ 16	・ 18	・ 21	・ 普通木片セメント板	NF	・ 30			◎ けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無糸織)	◎ 6	・ 8	◎ 化粧けい酸カルシウム板			◎ 6		・ ロックウール化粧吸音板	DR	※ フラットタイプ(※9(準不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ(※12(不燃) ・ 15 ・)			・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※ 25			・ グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※ 25(ガラスクロス包)			◎ せつこうボード	GB-R	◎ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	◎ 9.5(準不燃)		・ 不燃積層せつこうボード	GB-NC	9.5(不燃)	・ 化粧無(下地張り用) ・ 化粧有(トラバーチン模様)		◎ シーリングせつこうボード	GB-S	◎ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	◎ 9.5(準不燃)		・ 強化せつこうボード	GB-F	・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)			・ せつこうガラスボード	GB-L	・ 9.5	・ 12.5		◎ 化粧せつこうボード(トラバーチン模様)	GB-D	◎ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)			・ 化粧せつこうボード(木目)	GB-D	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	模様()		・ 普通合板		表板の樹種名 ※ 図示 板面の品質 () 厚さ(mm) () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理			・ コンクリート型枠用合板		厚さ(mm) ()			・ 構造用合板		厚さ(mm) ()			・ 天然木化粧合板		化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理			・ 特殊加工化粧合板 (・ メラミン化粧合板) (・ ポリエステル化粧合板) (・ プリント合板) (・)		表面性能 ・ F ・ FW ・ W ・ SW 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理			・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3	・ 7	・ 9	・ 12	・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 ・ 研磨板						・ 10	・ 12	・ 15	・ 18	・ 化粧パーティクルボード		・ 単層オーバーレイ ・ 塗装 ・ プラスチックオーバーレイ ・ 10(難燃) ・ 12(難燃)				・ ハードボード(素地)	HB	・ 無研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ 研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7				・ ハードボード(化粧)		・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7				・ インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9	・ 12	・ 15	・ 18	目地工法の種類	せつこうボードのエッジの種類	継目処理工法	・ テーパーエッジ ※ ベベルエッジ	突付け工法	※ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ	目透し工法	※ スクエアエッジ ・ ベベルエッジ	種 類	公表単価(円/m ²)	防火性能	施 工 箇 所	※ 塩化ビニル樹脂系	1,100円/m ² 程度	・ 不燃 ◎ 準不燃 ・ 難燃 図示		・		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃		・		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
種類	工 法	厚 さ(mm)	樹 種	備 考																																																																																																																																																																																																																								
◎ フローリングボード1等	・ 釘留め工法(根太張り)	※ 15	※ なら																																																																																																																																																																																																																									
	◎ 釘留め工法(直張り)	◎ 12	◎ 松																																																																																																																																																																																																																									
・ フローリングボード1等	・ 接着工法	※ 8	※ なら																																																																																																																																																																																																																									
	・ 接着工法	※ 15	※ なら																																																																																																																																																																																																																									
工 法	種別	厚 さ(mm)	樹 種	備 考																																																																																																																																																																																																																								
・ 釘留め工法(根太張り)	・ A種	※ 12	※ なら																																																																																																																																																																																																																									
・ 釘留め工法(直張り)	・ B種	※ 15																																																																																																																																																																																																																										
・ 接着工法	※ C種	(ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※ 表19.5.4																																																																																																																																																																																																																										
種 類	JISの記号	厚 さ(mm)	規格等																																																																																																																																																																																																																									
・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15	・ 20	・ 25																																																																																																																																																																																																																								
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15	・ 20	・ 25																																																																																																																																																																																																																								
・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12	・ 16	・ 18	・ 21																																																																																																																																																																																																																							
・ 普通木片セメント板	NF	・ 30																																																																																																																																																																																																																										
◎ けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無糸織)	◎ 6	・ 8																																																																																																																																																																																																																								
◎ 化粧けい酸カルシウム板			◎ 6																																																																																																																																																																																																																									
・ ロックウール化粧吸音板	DR	※ フラットタイプ(※9(準不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ(※12(不燃) ・ 15 ・)																																																																																																																																																																																																																										
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※ 25																																																																																																																																																																																																																										
・ グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※ 25(ガラスクロス包)																																																																																																																																																																																																																										
◎ せつこうボード	GB-R	◎ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	◎ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																									
・ 不燃積層せつこうボード	GB-NC	9.5(不燃)	・ 化粧無(下地張り用) ・ 化粧有(トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																																									
◎ シーリングせつこうボード	GB-S	◎ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	◎ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																									
・ 強化せつこうボード	GB-F	・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)																																																																																																																																																																																																																										
・ せつこうガラスボード	GB-L	・ 9.5	・ 12.5																																																																																																																																																																																																																									
◎ 化粧せつこうボード(トラバーチン模様)	GB-D	◎ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																										
・ 化粧せつこうボード(木目)	GB-D	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	模様()																																																																																																																																																																																																																									
・ 普通合板		表板の樹種名 ※ 図示 板面の品質 () 厚さ(mm) () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理																																																																																																																																																																																																																										
・ コンクリート型枠用合板		厚さ(mm) ()																																																																																																																																																																																																																										
・ 構造用合板		厚さ(mm) ()																																																																																																																																																																																																																										
・ 天然木化粧合板		化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理																																																																																																																																																																																																																										
・ 特殊加工化粧合板 (・ メラミン化粧合板) (・ ポリエステル化粧合板) (・ プリント合板) (・)		表面性能 ・ F ・ FW ・ W ・ SW 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理																																																																																																																																																																																																																										
・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3	・ 7	・ 9	・ 12																																																																																																																																																																																																																							
・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 ・ 研磨板																																																																																																																																																																																																																										
		・ 10	・ 12	・ 15	・ 18																																																																																																																																																																																																																							
・ 化粧パーティクルボード		・ 単層オーバーレイ ・ 塗装 ・ プラスチックオーバーレイ ・ 10(難燃) ・ 12(難燃)																																																																																																																																																																																																																										
・ ハードボード(素地)	HB	・ 無研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ 研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																																																																																																																																																																																																																										
・ ハードボード(化粧)		・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																																																																																																																																																																																																																										
・ インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9	・ 12	・ 15	・ 18																																																																																																																																																																																																																							
目地工法の種類	せつこうボードのエッジの種類																																																																																																																																																																																																																											
継目処理工法	・ テーパーエッジ ※ ベベルエッジ																																																																																																																																																																																																																											
突付け工法	※ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ																																																																																																																																																																																																																											
目透し工法	※ スクエアエッジ ・ ベベルエッジ																																																																																																																																																																																																																											
種 類	公表単価(円/m ²)	防火性能	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																									
※ 塩化ビニル樹脂系	1,100円/m ² 程度	・ 不燃 ◎ 準不燃 ・ 難燃 図示																																																																																																																																																																																																																										
・		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																										
・		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																										

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																											
12 吸音材	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)</td> <td>ロックウール吸音ボード1号60K</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)</td> <td>吸音用グラスウールボード2号32K</td> <td>・ 25</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの</p>	材種	種類	厚さ(mm)	・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)	ロックウール吸音ボード1号60K	・ 25	・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)	吸音用グラスウールボード2号32K	・ 25	3 サイディング工事	<p>窯業系サイディング (JIS A 5422) 《20.3.2》</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>公表単価(円/m²)</th> <th>働き長さ</th> <th>働き幅</th> <th>厚さ</th> <th>耐凍害性能</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>化粧サイディング</td> <td>6,000円/m²程度</td> <td>3030</td> <td>455</td> <td>16</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>通気胴縁の樹種: ※ 杉 防凍処理: ※ 行う ・ 行わない 張り方: ・ 縦張り工法 ○ 横張り工法 建具上部の雨水排出路※ 設ける (位置: ※ 図示) ○ 設けない ・ 現場塗装用サイディングの現場塗装 下地処理及び仕上げ ※ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 図示 ・ 幅10mm以下、深さ5mm以上 換気口部の防水措置 ※ 20.3.2.(3).(f).(c).①.②及び③による 《20.3.2》 《20.3.3》 換気口、接続パイプ ※ 接続パイプJIS K 6741 (硬質ポリ塩化ビニル管) パイプ受け ※ 接続パイプ適合品した既製品</p>	種類	公表単価(円/m ²)	働き長さ	働き幅	厚さ	耐凍害性能	防火性能	化粧サイディング	6,000円/m ² 程度	3030	455	16	-	-	舗装工事	<p>① 樹脂製グレーチング</p> <table border="1"> <tr> <th>型式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th colspan="2">メインバーピッチ</th> </tr> <tr> <td>※ 受枠付</td> <td>○ 溝ふた用 ・ ますふた用 ・ かさあげ用 ○ U字溝用</td> <td>○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用</td> <td>普通目</td> <td>細目</td> </tr> </table>	型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		※ 受枠付	○ 溝ふた用 ・ ますふた用 ・ かさあげ用 ○ U字溝用	○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	普通目	細目																																																										
材種	種類	厚さ(mm)																																																																																														
・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)	ロックウール吸音ボード1号60K	・ 25																																																																																														
・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)	吸音用グラスウールボード2号32K	・ 25																																																																																														
種類	公表単価(円/m ²)	働き長さ	働き幅	厚さ	耐凍害性能	防火性能																																																																																										
化粧サイディング	6,000円/m ² 程度	3030	455	16	-	-																																																																																										
型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ																																																																																													
※ 受枠付	○ 溝ふた用 ・ ますふた用 ・ かさあげ用 ○ U字溝用	○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	普通目	細目																																																																																												
13 接着剤	<p>壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木、フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p>	4 黒板及びホワイトボード	<p>・ 黒板 区分 ※ 焼付け 種類 ・ 鋼製 ・ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 《20.2.9》 ○ ホワイトボード 種類 ※ ほうろう ・ 形式 ・ 曲面 ○ 平面 ※ 上げ下げ式 ○ 固定式</p>	1 路床	<p>路床の材料 《22.2.2~22.2.3》</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 砂(75µmふるい通過量が6%以下)</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>・ 路床安定処理 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号・1号) ・ 消石灰(・特号・1号) 添加量を定めるために用いるCBR()</p> <p>試験 路床土の支持力(CBR)試験 ※ 行わない (22.2.5) 路床締固め度の試験 ※ 行わない (22.2.5) 現場CBR試験 ※ 行わない (22.2.5)</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示	・ フィルター層	・ 建設汚泥から再生した処理土	※ 図示		・ 砂(75µmふるい通過量が6%以下)	※ 図示																																																																															
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																														
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示																																																																																														
・ フィルター層	・ 建設汚泥から再生した処理土	※ 図示																																																																																														
	・ 砂(75µmふるい通過量が6%以下)	※ 図示																																																																																														
断熱・防露・ユニット及びその他工事	<p>① 断熱・防露</p> <p><断熱材選定式> 設計熱抵抗値以上となる断熱材仕様および使用量とする</p> <p>壁、天井: 熱抵抗m²K/W=断熱材厚(m)÷熱伝導率(W/mK) (選定断熱材) ≥設計熱抵抗(2.6)m²K/W</p> <p>断熱材 《20.2.2》 《20.2.3》 《表20.1.1》</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>断熱材の種類</th> <th>厚さ、密度</th> <th>施工部位</th> <th>防湿材</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">フェルト状断熱材</td> <td>・ グラスウール</td> <td rowspan="2">※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ボード状断熱材</td> <td>・ グラスウール</td> <td rowspan="6">※ 断熱材算定式による</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>○ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td>※ 図示 ○ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ ポリエチレンフォーム</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ばら状断熱材</td> <td>○ グラスウール</td> <td rowspan="2">※ 図示</td> <td>※ 図示 ○ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール</td> <td>※ 図示 ○ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場発泡断熱材</td> <td>・ 吹付け硬質ウレタンフォーム</td> <td rowspan="2">※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> <tr> <td>・ A種1(難燃性を有するもの)</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> </table> <p>開口部を断熱構造とする部位 ※ 図示</p> <p>防湿材 厚さ(mm) ※ 図示 《20.2.2》 ・ JIS A 6930(住宅用プラスチック系防湿フィルム)によるもの ・ JIS Z 1702(包装用ポリエチレンフィルム)によるもので、厚さ0.05mm以上のもの ・ JIS K 6781(農業用ポリエチレンフィルム)によるもので、厚さ0.05mm以上のもの</p> <p>気密材 厚さ(mm) ※ 図示 《20.2.2》 ・ JIS A 6930によるもの ○ JIS A 6111(透湿防水シート)によるもの ○ 「日本農林規格」による合板及び構造用パネル並びにJIS A 6901(せっこうボード)によるもの ・ JIS A 9521(発泡プラスチック保温材)及び ・ JIS A 9526(建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム)によるもの ・ 乾燥木材(含水率20%以下)等 ・ 金属部材 ・ コンクリート部材</p> <p>防風材 《20.2.2》 ※ JIS A 6111による透湿防水シートB ・ 「日本農林規格」による合板及び構造用パネル ・ JIS A 5905(繊維板)によるシーディングボード ・ JIS A 5440(火山性ガラス質複層板(VSボード)) ・ JIS A 5905によるMDF</p> <p>断熱材の取付け等 《20.2.4》 充填断熱工法 ※ 20.2.4.(3).(7).(a),(b)及び(c)による ・ 20.2.4.(3).(7).(a),(b)及び(c)以外の取付 ※ 製造所仕様による 外張断熱工法 ・ 20.2.4.(3).(f).(a),(b)及び(c)による ・ 20.2.4.(3).(f).(a),(b)及び(c)以外の取付 ※ 製造所仕様による 防凍処理: ・ 行う (種類:) ・ 行わない 防湿層の施工 ○ 室内側の防湿層を省略する 開口部の回りの施工 ・ 床下及び小屋裏点検口の高い気密性の高い構造 ※ 図示 電気配線のコンセント及びスイッチボックスの周りの施工 ・ 気密措置が講じられた専用のボックスを使用する ・ コンセント及びスイッチボックスの回りを防湿フィルムでくるむ</p>	分類	断熱材の種類	厚さ、密度	施工部位	防湿材	フェルト状断熱材	・ グラスウール	※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける	・ ロックウール	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける	ボード状断熱材	・ グラスウール	※ 断熱材算定式による	※ 図示 ・ 床	※ 設ける	・ ロックウール	※ 図示 ・ 床	※ 設ける	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	○ 押出法ポリスチレンフォーム	※ 図示 ○ 床	※ 設けない	・ 硬質ウレタンフォーム	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	・ ポリエチレンフォーム	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	ばら状断熱材	○ グラスウール	※ 図示	※ 図示 ○ 壁、天井	※ 製造所仕様	○ ロックウール	※ 図示 ○ 壁、天井	※ 製造所仕様	現場発泡断熱材	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム	※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様	・ A種1(難燃性を有するもの)	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様	5 表示	<p>室名札等 《20.2.11》</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>材質・厚さ(mm)</th> <th>印刷等の種別</th> <th>色彩</th> <th>取付形式</th> <th>書体</th> </tr> <tr> <td>・ 室名札</td> <td>※ 図示</td> <td>・ シルクスクリーン印刷</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ ピクトグラフ</td> <td>・ アクリル板</td> <td>○ 図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ とびら番号</td> <td>(※ 5.0)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 非常用出入口</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 室名表示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 対人衝突防止表示</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書体	・ 室名札	※ 図示	・ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示	・ ピクトグラフ	・ アクリル板	○ 図示				・ とびら番号	(※ 5.0)					・ 非常用出入口						○ 室名表示						○ 対人衝突防止表示		※ 図示				2 路盤	<p>路盤の厚さ ※ 図示 《22.3.2》 路盤材料 ※ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 《22.3.3》(表22.3.1) ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 木質硬質粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない 《22.3.5》</p>
分類	断熱材の種類	厚さ、密度	施工部位	防湿材																																																																																												
フェルト状断熱材	・ グラスウール	※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける																																																																																												
	・ ロックウール		※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける																																																																																												
ボード状断熱材	・ グラスウール	※ 断熱材算定式による	※ 図示 ・ 床	※ 設ける																																																																																												
	・ ロックウール		※ 図示 ・ 床	※ 設ける																																																																																												
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム		※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																												
	○ 押出法ポリスチレンフォーム		※ 図示 ○ 床	※ 設けない																																																																																												
	・ 硬質ウレタンフォーム		※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																												
	・ ポリエチレンフォーム		※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																												
ばら状断熱材	○ グラスウール	※ 図示	※ 図示 ○ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																												
	○ ロックウール		※ 図示 ○ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																												
現場発泡断熱材	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム	※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																												
	・ A種1(難燃性を有するもの)		※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																												
区分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書体																																																																																											
・ 室名札	※ 図示	・ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示																																																																																											
・ ピクトグラフ	・ アクリル板	○ 図示																																																																																														
・ とびら番号	(※ 5.0)																																																																																															
・ 非常用出入口																																																																																																
○ 室名表示																																																																																																
○ 対人衝突防止表示		※ 図示																																																																																														
2 各部位の工法	<p>床の施工 《20.2.5》 床に防湿フィルムを張らない場合の適用 ・ 床下地板に構造用合板、構造用パネル、パーティクルボード等の床合板等を用いる ・ 床合板等は、下地のある部分で継ぐか又はさね付きとし、それ以外の場合は、気密テープで床合板の継目の処理を行う</p> <p>天井の施工 《20.2.5》 ・ 天井点検口を設ける天井の気密性及び断熱性の高い構造 ※ 図示</p> <p>気流止めの施工 《20.2.5》 ・ 外気の壁内流入の防止を要する部位の気密材の材料及び工法 ※ 図示 ・ 間仕切り壁の内部の空間が天井裏又は床裏に對し解放されている部位の気密材の材料及び工法 ※ 図示</p> <p>断熱材及び防湿気密措置 《20.2.5》 ・ 外壁と天井及び屋根との取合い部の工法 ※ 図示 ・ 外壁と床との取合い部の工法 ※ 図示 ・ 間仕切り壁と天井又は床との取合い部の工法 ※ 図示 ・ 下屋の小屋裏の天井と壁との取合い部の工法 ※ 図示 ・ 外壁と基礎との取合い部の工法 ※ 図示</p>	6 トラップ	<p>材料の種類 ○ ステンレス 仕上げ ○ ビーリング、ロレット加工 《20.2.12》</p> <p>材種 ○ アルミニウム製 ○ 塩ビ</p>	3 アスファルト舗装	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 《22.4.2》 材料 アスファルト ※ 再生アスファルト(種類 ※ 60~80 ・ 80~100) 《22.4.3》 ・ ストレートアスファルト 骨材 ※ 道路用砕石 ※ アスファルトコンクリート再生骨材 《22.4.3》 加熱アスファルト混合物等の種類 《22.4.4》(表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>混 合 物 の 種 類</th> </tr> <tr> <td>表 層</td> <td>○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> </table> <p>シールコート ・ 行う ※ 行わない 《22.4.5》 アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない 《22.4.6》 舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 《22.4.2》</p> <p>コンクリート舗装の厚さ 《22.5.2》</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ コンクリート舗装</td> <td>・ 車路及び駐車場</td> <td>※ 150 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 歩行者用通路</td> <td>※ 70 ・ 図示</td> </tr> </table> <p>コンクリート舗装に使用するコンクリート 《22.5.3》(表22.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>所定のスランプ(cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 車路及び駐車場</td> <td>※ 24</td> <td>※ 8</td> <td>砂利の場合 ・ 25 ・ 40 碎石の場合 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 歩行者用通路</td> <td>※ 18</td> <td>※ 8</td> <td>砂利の場合 ※ 25 碎石の場合 ※ 20</td> </tr> </table> <p>早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない 《22.5.3》 注入目地材料の種類 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 《22.5.3》(表22.5.2) 目地の種類 ※ 表22.5.3による ・ 図示 《22.5.4》 目地の構造 ※ 図22.5.1による ・ 図示 《22.5.4》</p>	部 位	混 合 物 の 種 類	表 層	○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)	舗装の種類	部 位	舗装の厚さ(mm)	・ コンクリート舗装	・ 車路及び駐車場	※ 150 ・ 図示		・ 歩行者用通路	※ 70 ・ 図示	部 位	設計基準強度(N/mm ²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)	・ 車路及び駐車場	※ 24	※ 8	砂利の場合 ・ 25 ・ 40 碎石の場合 ・ 20 ・ 25	・ 歩行者用通路	※ 18	※ 8	砂利の場合 ※ 25 碎石の場合 ※ 20	4 ミニキッチン	<p>※ 図示(公表価格192,000円程度) W1,050×D500×H1,900程度、扉タイプ、水切棚・照明共、コンロ無し ※ 照明や給排水の接続については別途関連工事にて行う</p>	4 コンクリート舗装	<p>コンクリート舗装の厚さ 《22.5.2》</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ コンクリート舗装</td> <td>・ 車路及び駐車場</td> <td>※ 150 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 歩行者用通路</td> <td>※ 70 ・ 図示</td> </tr> </table> <p>コンクリート舗装に使用するコンクリート 《22.5.3》(表22.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>所定のスランプ(cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 車路及び駐車場</td> <td>※ 24</td> <td>※ 8</td> <td>砂利の場合 ・ 25 ・ 40 碎石の場合 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 歩行者用通路</td> <td>※ 18</td> <td>※ 8</td> <td>砂利の場合 ※ 25 碎石の場合 ※ 20</td> </tr> </table> <p>早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない 《22.5.3》 注入目地材料の種類 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 《22.5.3》(表22.5.2) 目地の種類 ※ 表22.5.3による ・ 図示 《22.5.4》 目地の構造 ※ 図22.5.1による ・ 図示 《22.5.4》</p>	舗装の種類	部 位	舗装の厚さ(mm)	・ コンクリート舗装	・ 車路及び駐車場	※ 150 ・ 図示		・ 歩行者用通路	※ 70 ・ 図示	部 位	設計基準強度(N/mm ²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)	・ 車路及び駐車場	※ 24	※ 8	砂利の場合 ・ 25 ・ 40 碎石の場合 ・ 20 ・ 25	・ 歩行者用通路	※ 18	※ 8	砂利の場合 ※ 25 碎石の場合 ※ 20																																									
部 位	混 合 物 の 種 類																																																																																															
表 層	○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																															
舗装の種類	部 位	舗装の厚さ(mm)																																																																																														
・ コンクリート舗装	・ 車路及び駐車場	※ 150 ・ 図示																																																																																														
	・ 歩行者用通路	※ 70 ・ 図示																																																																																														
部 位	設計基準強度(N/mm ²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)																																																																																													
・ 車路及び駐車場	※ 24	※ 8	砂利の場合 ・ 25 ・ 40 碎石の場合 ・ 20 ・ 25																																																																																													
・ 歩行者用通路	※ 18	※ 8	砂利の場合 ※ 25 碎石の場合 ※ 20																																																																																													
舗装の種類	部 位	舗装の厚さ(mm)																																																																																														
・ コンクリート舗装	・ 車路及び駐車場	※ 150 ・ 図示																																																																																														
	・ 歩行者用通路	※ 70 ・ 図示																																																																																														
部 位	設計基準強度(N/mm ²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)																																																																																													
・ 車路及び駐車場	※ 24	※ 8	砂利の場合 ・ 25 ・ 40 碎石の場合 ・ 20 ・ 25																																																																																													
・ 歩行者用通路	※ 18	※ 8	砂利の場合 ※ 25 碎石の場合 ※ 20																																																																																													
		7 天井見切縁	<p>形式 材 種 寸 法</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材 種</th> <th>寸 法</th> <th>一 般</th> <th>外 枠</th> <th>内 枠</th> <th>鍵</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450 ・ 600×600</td> <td>○ 類縁タイプ 形・目地タイプ</td> <td>○ 類縁タイプ 形・目地タイプ</td> <td>○ 閉閉タイプ 形・目地タイプ</td> <td>※ なし ・ あり</td> </tr> </table> <p>床 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ※ 450×450 ※ 600×600</p> <p>製造所 評価名簿による</p>	形式	材 種	寸 法	一 般	外 枠	内 枠	鍵	天井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 閉閉タイプ 形・目地タイプ	※ なし ・ あり	5 解体工事	<p>① 解体範囲</p> <p>※ 図示(土中解体で図面に記載がない場合は、基礎捨コンクリートまでとする。) ・ その他()</p> <p>② 解体作業注意事項</p> <p>a) 解体機器は圧砕機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。 b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。 c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。 d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。 e) 工事作業中の通車車両の乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。 f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。 g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ぶよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。 h) PCBが含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、そのPCBを含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。 i) 以上の項目は受注者はもとより下請業者にも、周知徹底させること。</p> <p>③ 作業時間等</p> <p>④ 騒音測定等</p> <p>⑤ その他</p>																																																																													
形式	材 種	寸 法	一 般	外 枠	内 枠	鍵																																																																																										
天井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 閉閉タイプ 形・目地タイプ	※ なし ・ あり																																																																																										
		8 点検口	<p>形式 材 種 寸 法</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材 種</th> <th>寸 法</th> <th>一 般</th> <th>外 枠</th> <th>内 枠</th> <th>鍵</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450 ・ 600×600</td> <td>○ 類縁タイプ 形・目地タイプ</td> <td>○ 類縁タイプ 形・目地タイプ</td> <td>○ 閉閉タイプ 形・目地タイプ</td> <td>※ なし ・ あり</td> </tr> </table> <p>床 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ※ 450×450 ※ 600×600</p> <p>製造所 評価名簿による</p>	形式	材 種	寸 法	一 般	外 枠	内 枠	鍵	天井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 閉閉タイプ 形・目地タイプ	※ なし ・ あり																																																																															
形式	材 種	寸 法	一 般	外 枠	内 枠	鍵																																																																																										
天井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 類縁タイプ 形・目地タイプ	○ 閉閉タイプ 形・目地タイプ	※ なし ・ あり																																																																																										
		9 フェンス	<p>フェンスの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装目くしフェンス ・ 格子フェンス ・ 亜鉛メッキネットフェンス ・ アルミフェンス <p>高さ ※ 図示</p> <p>※ パネル形状は既存フェンスと合わせる事 ポール置き場: 朝日ステール工業㈱ 朝日ARフェンス メッシュ間隔40mm(波形) 隣地境界線沿い: 朝日ステール工業㈱ 朝日UNフェンス メッシュ間隔40mm</p>																																																																																													
		10 ゴミストッカー	<p>公表価格 155,000円程度 FRP製、容量425L程度、水洗い可能、鍵付き</p> <p>工法: 接着工法 継目: メーカー仕様による シーリング: メーカー仕様による t=2.9mm以上(屋外用、防汚性)(標準品)</p>																																																																																													
		11 プールサイド用防汚性ビニル床シート	<p>工法: 接着工法 継目: メーカー仕様による シーリング: メーカー仕様による t=2.9mm以上(屋外用、防汚性)(標準品)</p>																																																																																													
		排水工事	<p>1 屋外雨水排水</p> <p>材料 排水管材料 ※ 表21.2.1による(材種、管の種類、呼び径等は図示による) 《21.2.1》</p> <p>側溝の形状及び寸法 ※ 図示 排水溝の種類 ※ 図示 地業用材料 ・ 切込砂利、切込砕石 ※ 再生クラッシュラン (4.6.2)(21.2.2) 現場打ちの場合のコンクリート 種類 ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm² スランプ ※ 15cm ~ 18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ S D 295 《21.2.1》</p> <p>2 排水枘ふた</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 式</th> <th>荷重(安全荷重(KN))</th> <th>鍵</th> </tr> <tr> <td>鋳鉄製マンホールふた</td> <td>・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン式) ・ 密閉形(テーパー・パッキン式) ・ 中蓋付密閉形(テーパー・パッキン式)</td> <td>・ T-2用 (5) ・ T-6用 (15) ・ T-20用 (50)</td> <td>・ 有り ・ 無し</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 《21.2.1》(表3.2.1)</p> <p>① ステンレス製グレーチング 《21.2.1》</p> <table border="1"> <tr> <th>型式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th colspan="2">メインバーピッチ</th> <th>メインバー上面の形状</th> </tr> <tr> <td>※ 受枠付</td> <td>・ 溝ふた用 ○ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U字溝用</td> <td>○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用</td> <td>普通目</td> <td>細目</td> <td>平型 凹凸型</td> </tr> </table> <p>騒音防止ゴム ○ 適用する 製造所 評価名簿による</p>	種 類	形 式	荷重(安全荷重(KN))	鍵	鋳鉄製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン式) ・ 密閉形(テーパー・パッキン式) ・ 中蓋付密閉形(テーパー・パッキン式)	・ T-2用 (5) ・ T-6用 (15) ・ T-20用 (50)	・ 有り ・ 無し	型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状	※ 受枠付	・ 溝ふた用 ○ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U字溝用	○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	普通目	細目	平型 凹凸型																																																																									
種 類	形 式	荷重(安全荷重(KN))	鍵																																																																																													
鋳鉄製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン式) ・ 密閉形(テーパー・パッキン式) ・ 中蓋付密閉形(テーパー・パッキン式)	・ T-2用 (5) ・ T-6用 (15) ・ T-20用 (50)	・ 有り ・ 無し																																																																																													
型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状																																																																																											
※ 受枠付	・ 溝ふた用 ○ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U字溝用	○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	普通目	細目	平型 凹凸型																																																																																											
		2 埋戻し土	<p>・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 《21.2.1》(表3.2.1)</p>																																																																																													
		グレーチング	<p>① ステンレス製グレーチング 《21.2.1》</p> <table border="1"> <tr> <th>型式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th colspan="2">メインバーピッチ</th> <th>メインバー上面の形状</th> </tr> <tr> <td>※ 受枠付</td> <td>・ 溝ふた用 ○ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U字溝用</td> <td>○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用</td> <td>普通目</td> <td>細目</td> <td>平型 凹凸型</td> </tr> </table> <p>騒音防止ゴム ○ 適用する 製造所 評価名簿による</p>	型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状	※ 受枠付	・ 溝ふた用 ○ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U字溝用	○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	普通目	細目	平型 凹凸型																																																																																	
型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状																																																																																											
※ 受枠付	・ 溝ふた用 ○ ますふた用 ・ かさあげ用 ・ U字溝用	○ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	普通目	細目	平型 凹凸型																																																																																											

外部仕上表

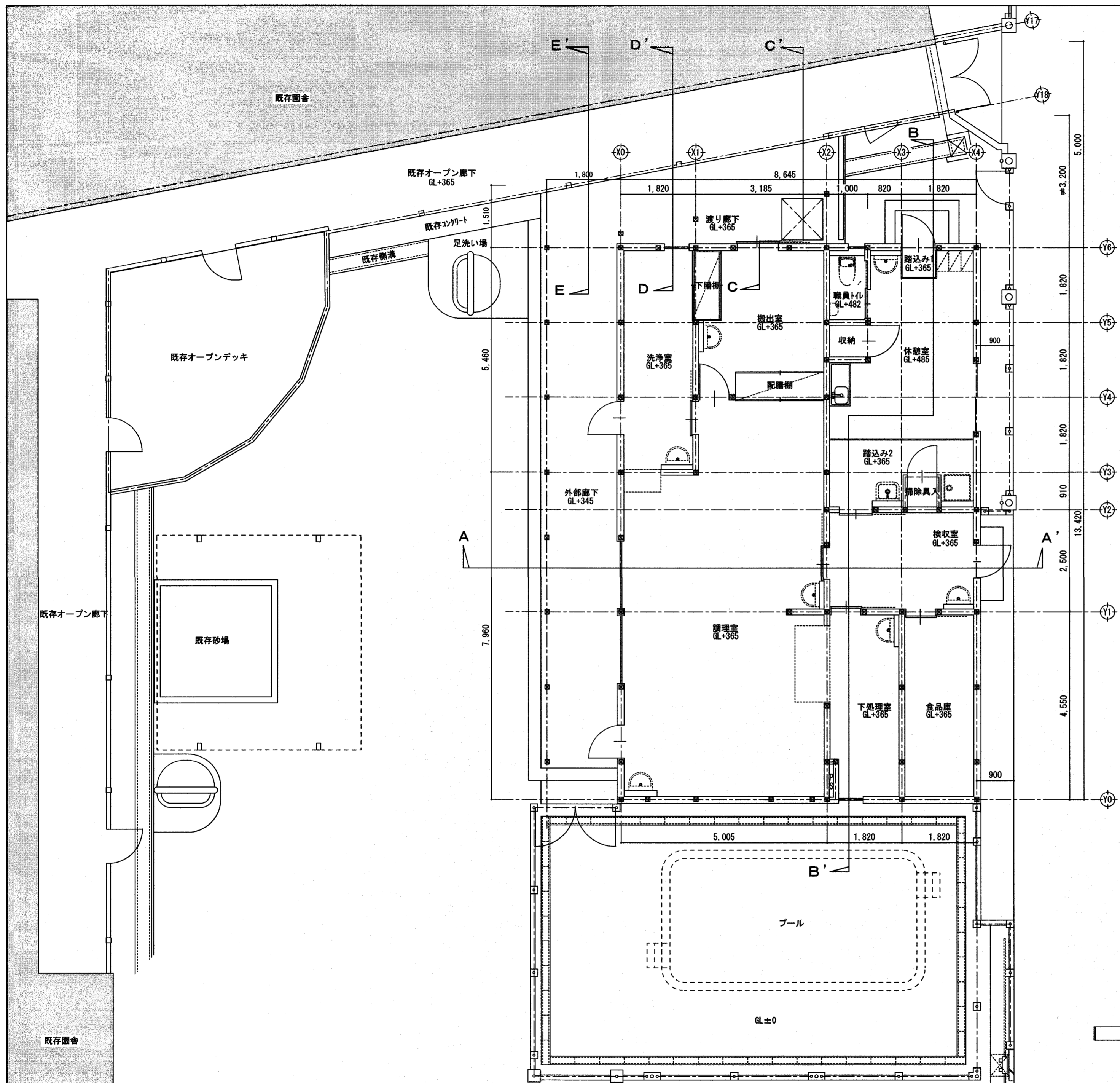
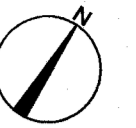
名称	仕上	名称	仕上	名称	仕上	名称	仕上
基礎	普通型砕打ち放しコンクリート	屋根	カラーガルバリウム鋼板立平葺 t=0.4mm 改質アスファルトルーフィング t=1.0mm 野地板：構造用合板 t=12mm	軒裏	けい酸カルシウム板 t=6mm (目透かし) EP-G塗 杉板 t=15(見出し) 防腐処理K3 木材保護塗料塗 巾=100 本実	その他	換気ガラリ：ステンレス 150Φ, U型フード付, 防虫対策 ゴミストッカー：容量425L程度, 水洗い可能, 鍵付き 庇：アルミ押出形材(端部樹脂成型)
根廻	化粧型砕打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布)		天井裏	断熱材			
外壁	窯業系サイディング t=16mm (塗装品) 透湿防水シート 断熱材 t=100mm 24kg/m2 縦鋼線45×18@455(杉)	破風・鼻隠	カラーガルバリウム鋼板加工 t=0.5mm	外部廊下	床：モルタル下地 防汚ビニル床シート t=2.5mm (段鼻：黄色系) 立上り部分：床同仕様、化粧型砕打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布)		
	軒先・ケラハ	カラーガルバリウム鋼板加工 t=0.5mm	外部廊下	床：モルタル下地 防汚ビニル床シート t=2.5mm (段鼻：黄色系) 立上り部分：床同仕様、化粧型砕打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布)			
		堅樋	硬質塩ビ製φ75, 50	渡り廊下	床：モルタル下地 防汚ビニル床シート t=2.5mm (段鼻：黄色系) 立上り部分：床同仕様、化粧型砕打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布)		
		軒樋	硬質塩化ビニル雨樋角型前高150, 75				

内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井			備考	
1階	検収室	コンクリート金ごて押え ビニル床シート張り t=2mm	床材巻上げ H=100 アルミ製立上げ見切	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm (突付け) GB-S t=12.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	けい酸カルシウム板 t=6mm (目透かし) EP-G塗	天井見切 アルミ製	下地 LGS	天井高 2400	
	食品庫	コンクリート金ごて押え ビニル床シート張り t=2mm	床材巻上げ H=100 アルミ製立上げ見切	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm (突付け) GB-S t=12.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	けい酸カルシウム板 t=6mm (目透かし) EP-G塗	アルミ製	LGS	2400	
	下処理室	コンクリート金ごて押え 合成樹脂塗床	合成樹脂塗床 H=100 アルミ製立上げ見切	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm (突付け) GB-S t=12.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	けい酸カルシウム板 t=6mm (目透かし) EP-G塗	アルミ製	LGS	2400	壁付ハンガーフック 2箇所
	調理室	コンクリート金ごて押え 合成樹脂塗床	合成樹脂塗床 H=100 アルミ製立上げ見切	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm (突付け) GB-S t=12.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	けい酸カルシウム板 t=6mm (目透かし) EP-G塗	アルミ製	LGS	2500	壁付ハンガーフック 4箇所 ホワイトボード ※化学物質測定
	洗浄室	コンクリート金ごて押え 合成樹脂塗床	合成樹脂塗床 H=100 アルミ製立上げ見切	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm (突付け) GB-S t=12.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	けい酸カルシウム板 t=6mm (目透かし) EP-G塗	アルミ製	LGS	2500	壁付ハンガーフック 2箇所
	休憩室	構造用合板24mm下地 桧フローリング t=12mm張り(塗装品)	桧 t=15mm H=60 UC塗	ビニルクロス張り GB-R t=12.5mm + 9.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	GB-D t=9.5mm (直張り)	塩ビ	LGS	2350	ミニキッチンW=1050 天井直付け物干し竿 ※化学物質測定
	職員トイレ	構造用合板24mm+ラワンベニヤ9mm下地 ビニル床シート張り t=2mm	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス張り GB-S t=12.5mm + 9.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	GB-D t=9.5mm (直張り)	塩ビ	LGS	2350	
	掃除具入	コンクリート金ごて押え ビニル床シート張り t=2mm	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス張り GB-S t=12.5mm + 9.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	GB-D t=9.5mm (直張り)	塩ビ	LGS	2470	ステンレスパイプ, Sカン5個, ステンレス水受皿 棚
	収納	構造用合板24mm下地 桧フローリング t=12mm張り(塗装品)	雑巾槽 15×10 UC塗	ビニルクロス張り GB-R t=12.5mm + 9.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	GB-D t=9.5mm (直張り)	塩ビ	LGS	2350	中段
	踏みみ1	コンクリート金ごて押え 100角タイル張り	100角タイル張り	ビニルクロス張り GB-R t=12.5mm + 9.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	GB-D t=9.5mm (直張り)	塩ビ	LGS	2470	
	踏みみ2	コンクリート金ごて押え ビニル床シート張り t=2mm	木製框 25×125 UC塗 ビニル巾木 H=100	ビニルクロス張り GB-S t=12.5mm + 9.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	GB-D t=9.5mm (直張り)	塩ビ	LGS	2470	
	搬出室	コンクリート金ごて押え ビニル床シート張り t=2mm	床材巻上げ H=100 アルミ製立上げ見切	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm (突付け) GB-S t=12.5mm + 9.5mm下地、胴縁：18×45@455(杉)	けい酸カルシウム板 t=6mm (目透かし) EP-G塗	アルミ製	LGS	2400	配膳棚、下膳棚

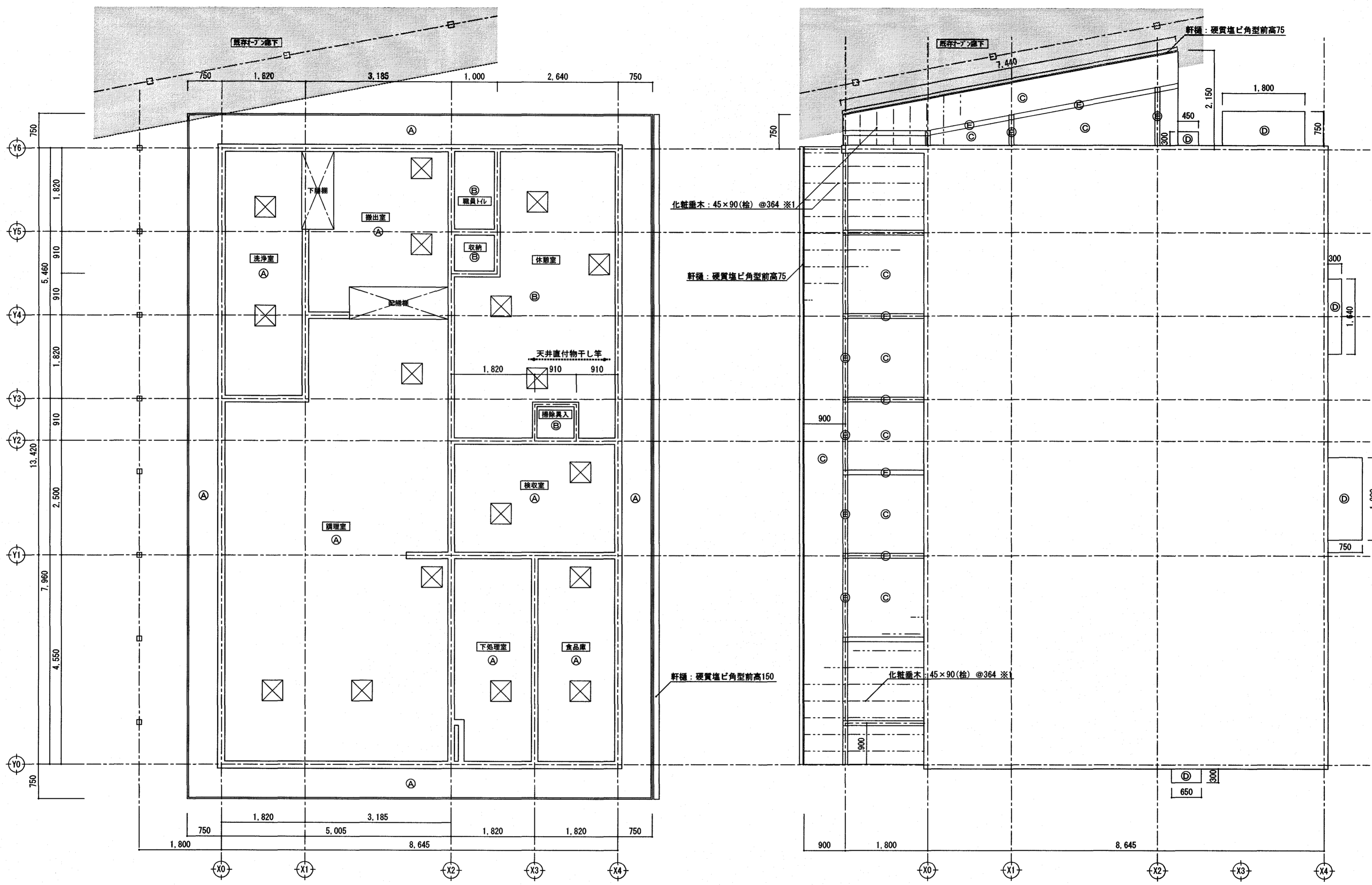
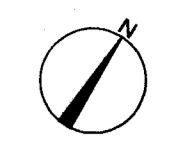
(採光・排煙設備・換気設備)検討表

室名	A (㎡)	必要採光面積	有効開口位置	建具面積 W×H (㎡) (S1)	補正係数の計算			有効面積 (S1×K)	検討	必要換気面積	有効開口位置	有効開口面積 W×H (㎡)	検討	必要排煙面積	有効開口位置	有効開口面積 W×H (㎡)	検討
					計算式	算定値	採光補正係数 (0.0~3.0 =1, =3)										
洗浄室	5.460×1.820=9.9372㎡	9.93×1/20=0.4965㎡	AD-4	0.61×1.8=1.098	—	—	1	1.098	OK	9.93×1/20=0.4965㎡	AD-4	0.78×2.0=1.56	OK	9.93×1/50=0.1986㎡	AW-3 AD-4	0.3×0.6+ 0.78×0.3=0.414	OK
調理室	1.820×3.185+7.960×5.005 =45.6365㎡	(45.63+9.1)×1/20 =2.7365㎡	AW-1×2ヶ所	0.78×1.1×4=3.432	—	—	1	3.432	OK	45.63×1/20=2.2815㎡	AW-1×2ヶ所 AD-4	0.78×0.3×4+0.78×2.0 =2.496	OK	45.63×1/50=0.9126㎡	AW-1×2ヶ所	0.78×0.3×4=0.942	OK
検収室	2.500×3.640=9.1000㎡									9.10×1/20=0.455㎡	AD-3	0.78×2.0=1.56	OK	9.10×1/50=0.182㎡	AD-3	0.4×0.78=0.312	OK
下処理室	3.640×1.820+0.910×1.480 =7.9746㎡	7.97×1/20=0.3985㎡	AW-3	0.50×0.87=0.435	—	—	1	0.435	OK	7.97×1/20=0.3985㎡	AW-3	0.6×0.9=0.54	OK	7.97×1/50=0.1594㎡	AW-3	0.4×0.6=0.24	OK
休憩室	2.730×2.640+3.640×3.640 -0.800×0.910=19.7288㎡	19.72×1/20=0.986㎡	AD-1	0.61×1.05=0.6405	1.25/2.6×10-1	3.808	3	1.9215	OK	19.72×1/20=0.986㎡	AD-1	0.78×2.0=1.56	OK	19.72×1/50=0.3944㎡	AW-2 AD-1	0.4×0.826+ 0.35×0.78=0.6034	OK



木材リスト		
土台・大引	桧	105×105、75×75、60×90
柱	杉	75×75、105×105
化粧柱	桧	105×105
間柱	杉	30×105
梁	杉	105×150~360
化粧梁	桧	105×180~210
筋交い	杉	45×90
まぐさ・窓台	杉	45×105
垂木	桧	45×54
化粧垂木	桧	45×90
母屋	桧	90×90
火打梁	杉	90×90
鼻隠し・破風板	桧	30×180

平面図 S=1:70

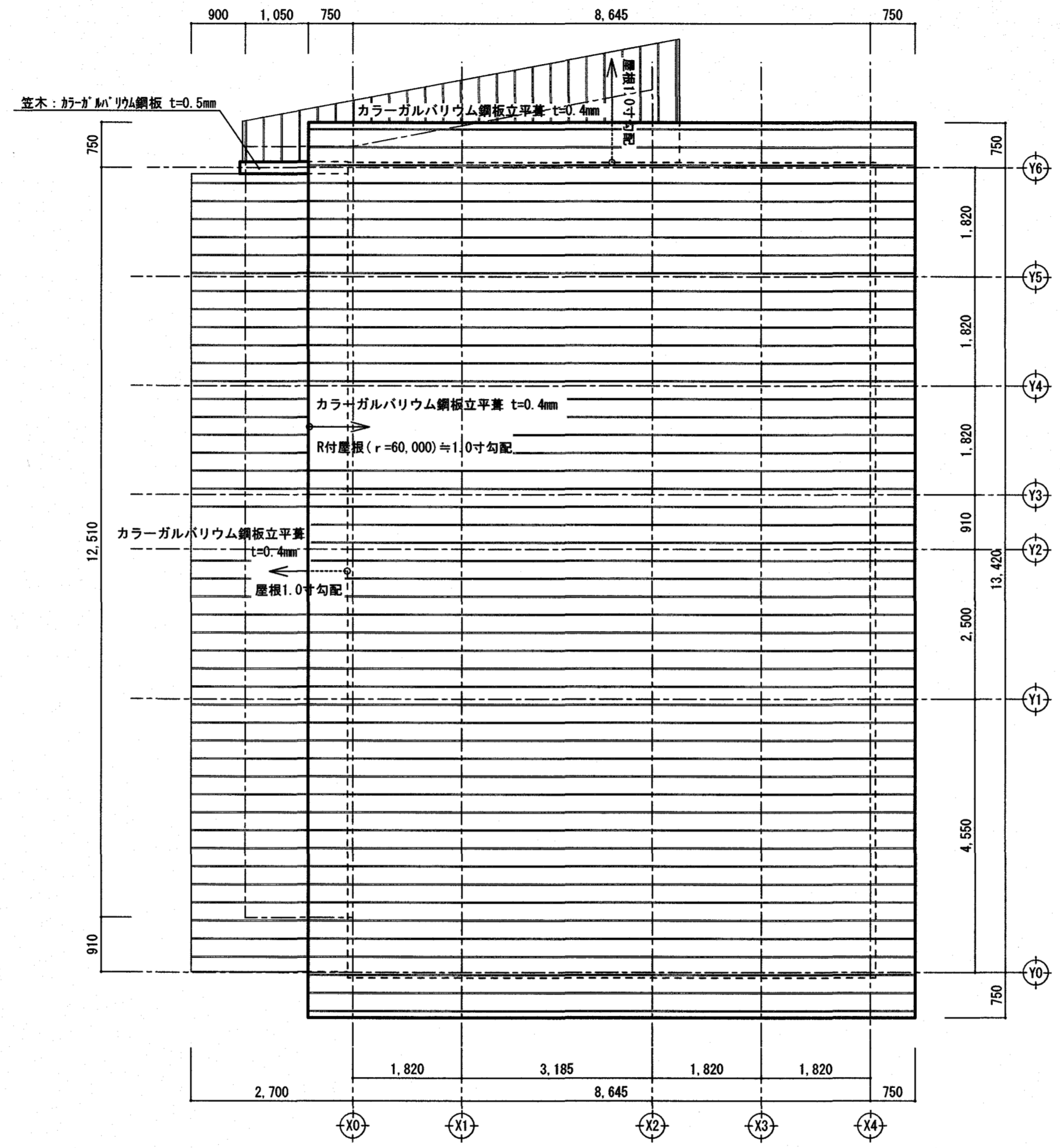
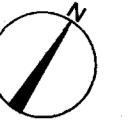


天井伏図(本体屋根) S=1:60

天井伏図(差掛け屋根) S=1:60

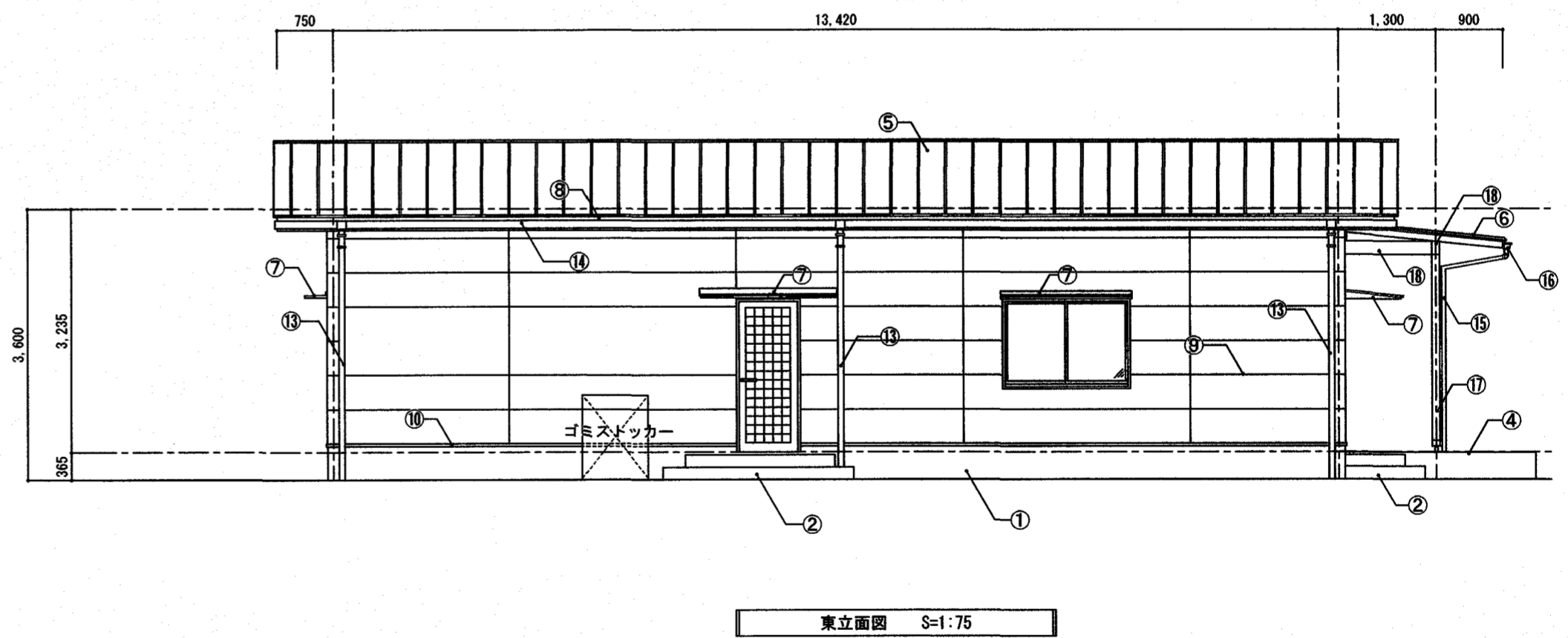
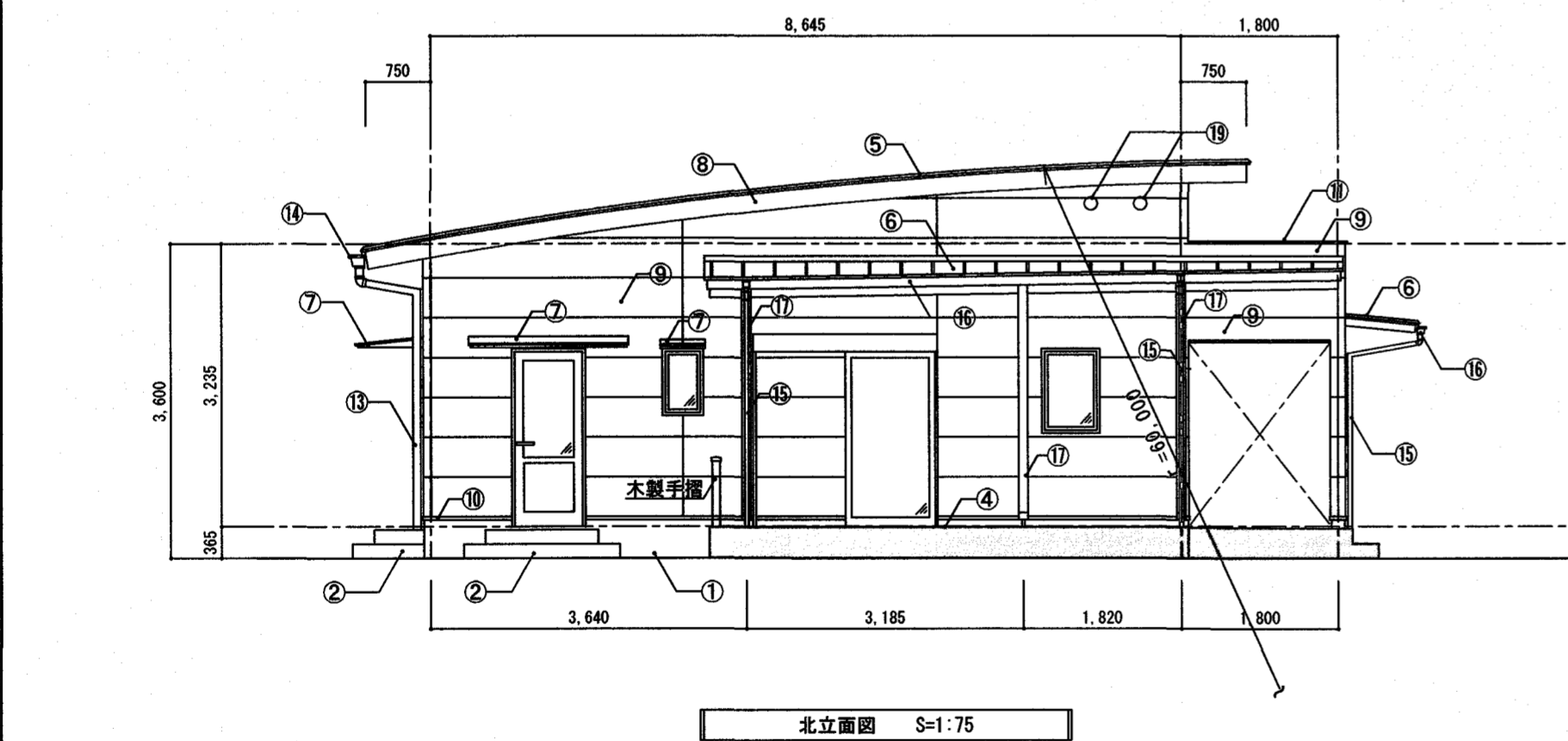
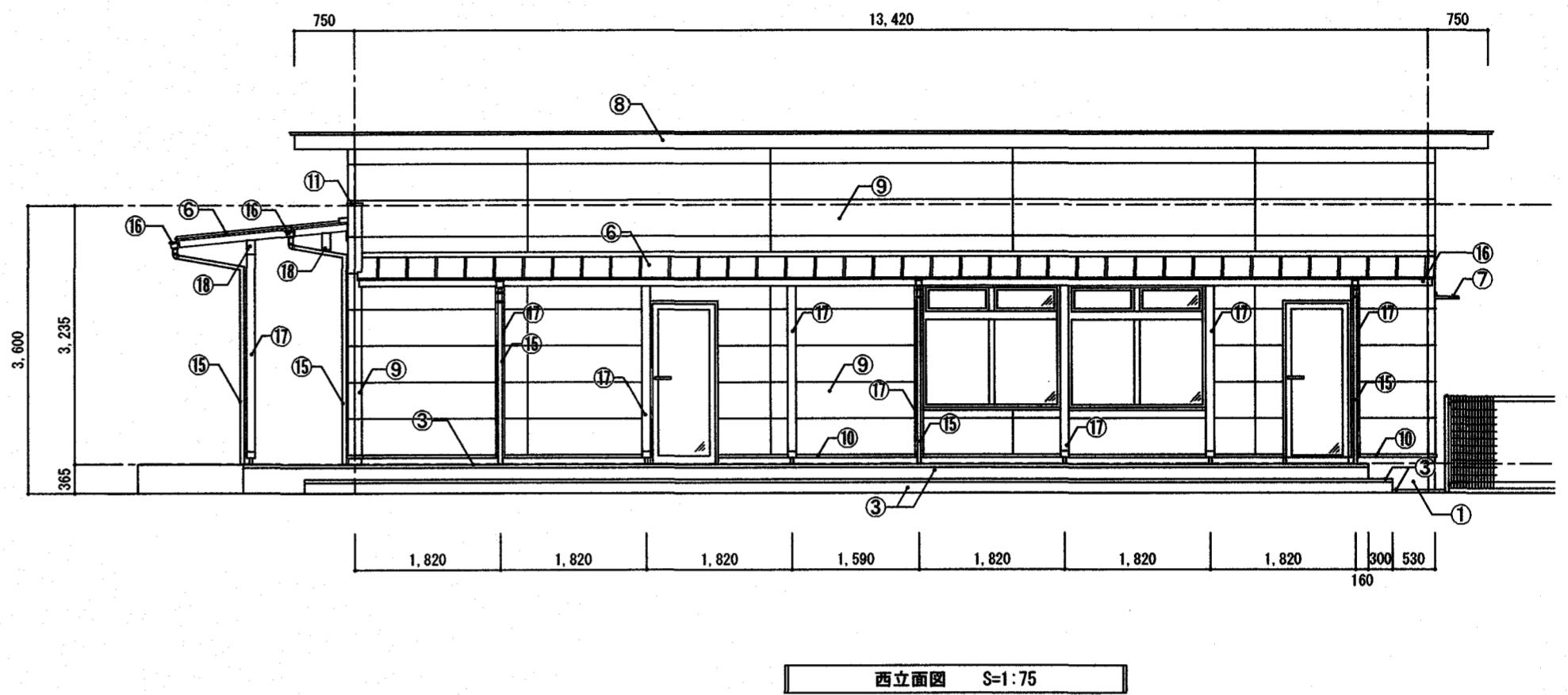
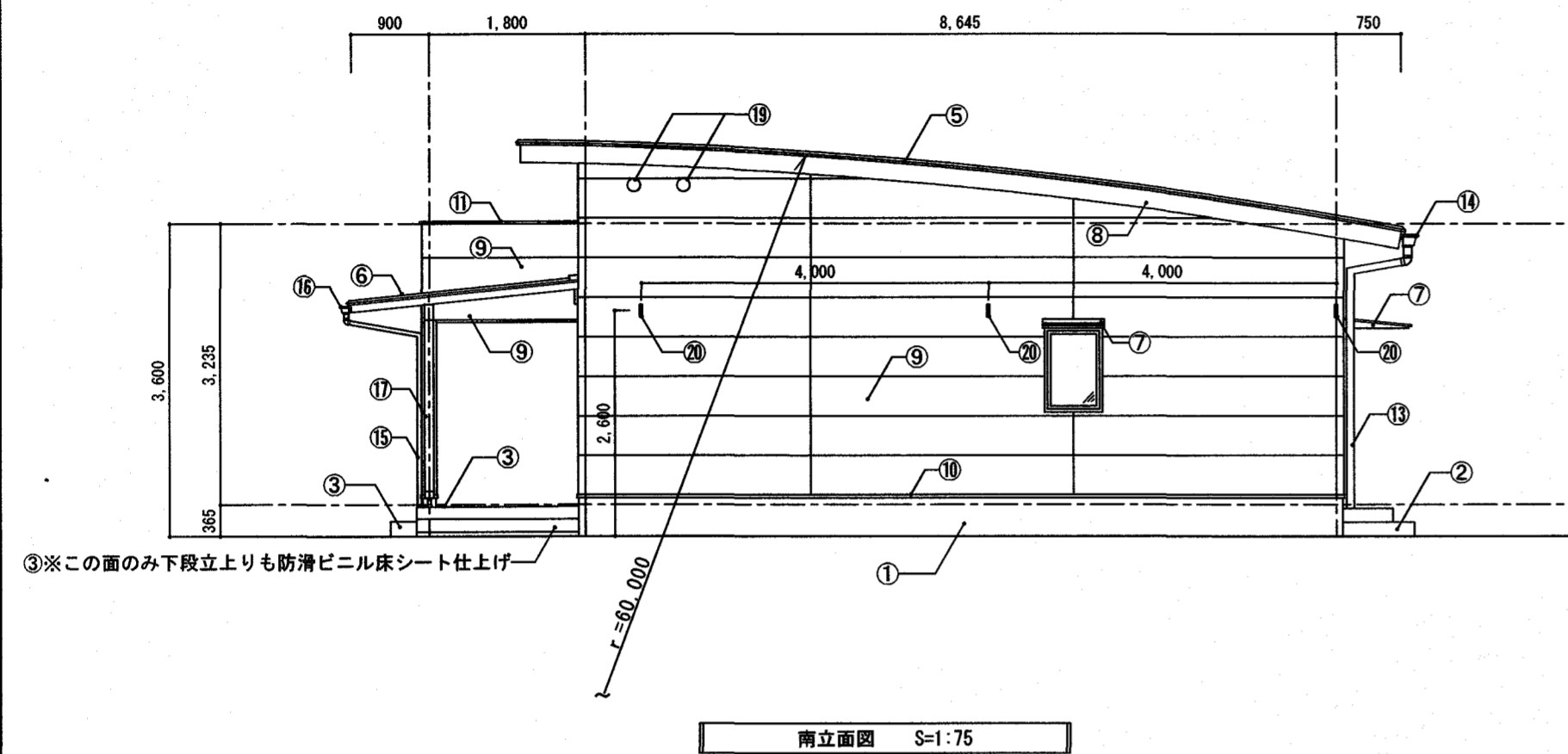
天井仕上表	
(A) けい酸カルシウム板 t=6mm(目透かし) EP-G塗 LGS@255下地	(E) 化粧梁: 桧 ※1
(B) GB-D t=9.5mm(直張り) LGS@255下地	
(C) 化粧野地板: 杉板 t=15mm(見出し) ※1 木下地	
(D) 小庇: アルミ製(アルミ押出型材)	☒ 天井点検口 450x450(17ヶ所) ※場所は打合せの上決定

※ 軒天けい酸カルシウム板と壁の取合い部分には、塩ビ見切り縁取付

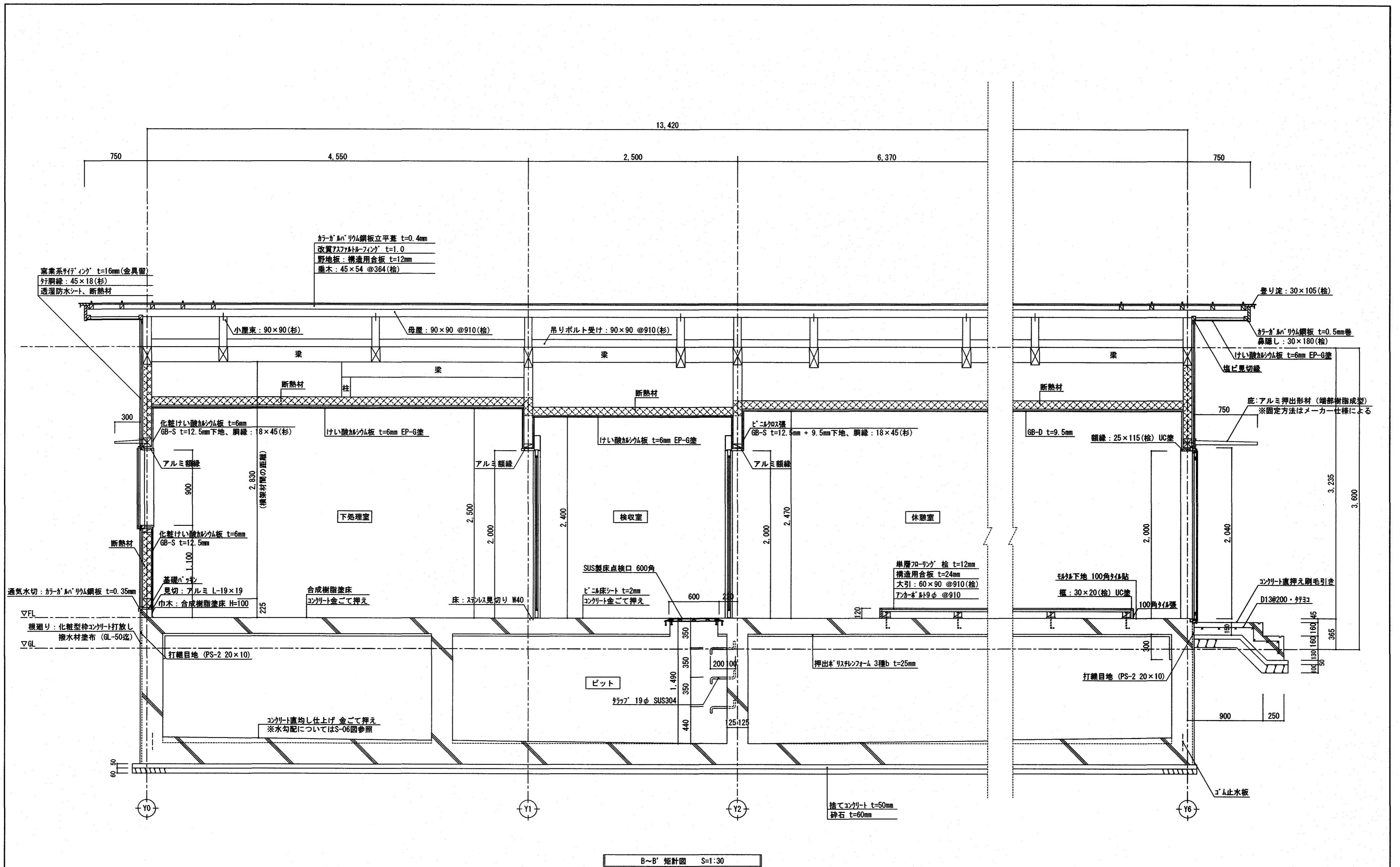


屋根伏図 S=1:75

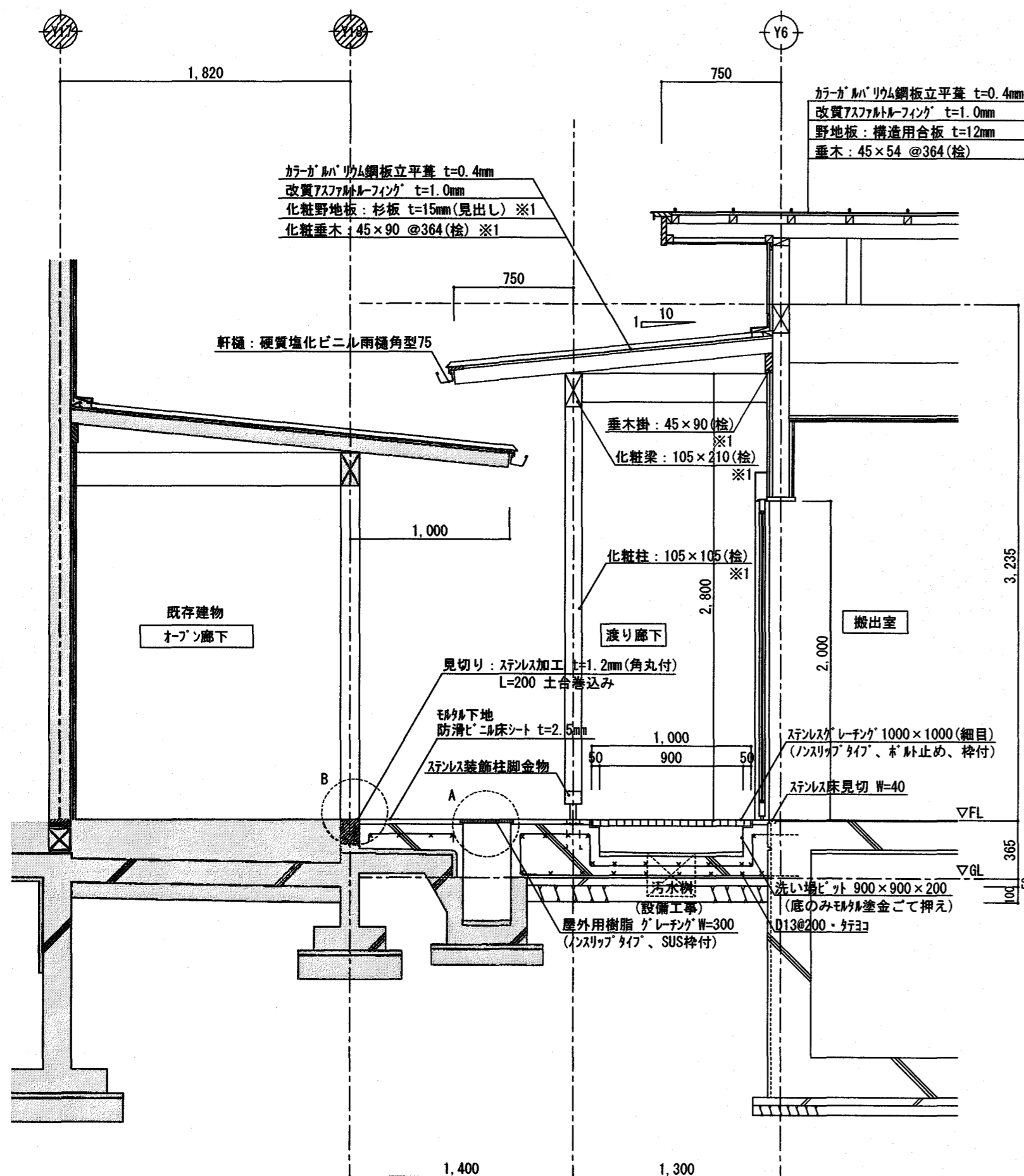
備考	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称	屋根伏図
	係	係長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:75	
	小野	登岡	松本	松本	一級建築士第135971	安並和文	年月日	製図	製図	A	15



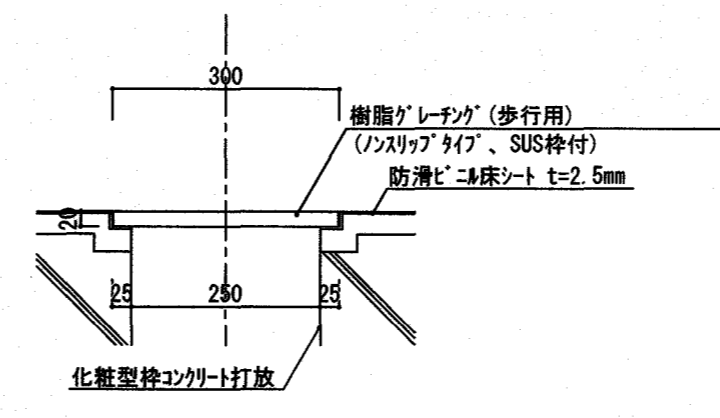
名 称														
①	根廻	化粧型枠打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布)	④	渡り廊下	床: 防滑ビニル床シート t=2.5mm 立上り: 化粧型枠打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布)	⑧	破風・鼻隠	カラーガルバリウム鋼板加工 t=0.5mm	⑬	堅樋	硬質塩ビ製φ75 カラーVP	⑰	化粧柱	桧 ※1
②	ポーチ	踏面: コンクリート直押え刷毛引き 立上り: 化粧型枠打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布)	⑤	屋根 (本体)	カラーガルバリウム鋼板立平葺 t=0.4mm 軒裏: けい酸カルシウム板 t=6mm EP-G塗	⑨	壁	窯業系サイディング t=16mm	⑭	軒樋	硬質塩化ビニル両端角型前高150	⑱	化粧梁	桧 ※1 木口カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 加工
③	外部廊下	床: 防滑ビニル床シート t=2.5mm 立上り: 防滑ビニル床シート t=2.5mm (上段) 化粧型枠打ち放しコンクリート 撥水材塗布 (GL-50迄塗布) (下段)	⑥	屋根 (差掛)	カラーガルバリウム鋼板立平葺 t=0.4mm、 軒裏: 杉板 t=15mm (見出し) ※1	⑩	水切	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35mm	⑮	堅樋	硬質塩ビ製φ50 カラーVP	⑲	換気ガリ	ステンレス 150Φ・U型フード付・防虫ネット張
			⑦	小庇	アルミ製 (市販品)	⑪	笠木	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm	⑯	軒樋	硬質塩化ビニル両端角型前高75	⑳	寒冷紗 取付用フック	※寒冷紗取付用フック詳細図 (A-20) 参照
備考		高知市都市建設部公共建築課				三建設計有限公司		登録高-6号		立面図				
※1 外部化粧材は全て防腐処理K3を注入し木材保護塗料塗とする。		係	係長	課長補佐	課長	とさやま保育園調理室棟新築工事		設計図		高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633		図名		NO.
		小野	菅岡	松本	酒本			一級建築士第135971		安並和文		図面		A 16



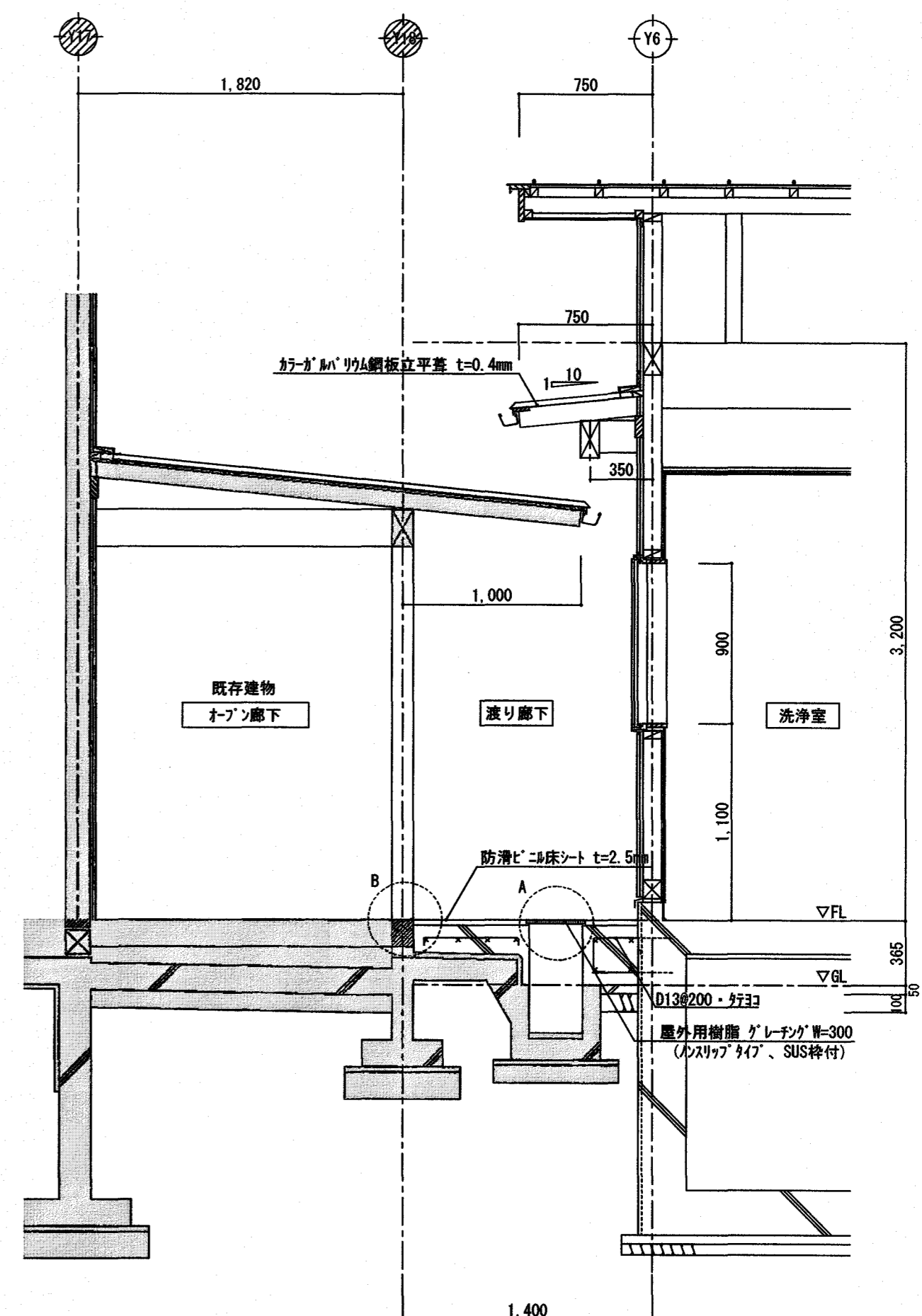
備考 ※1 外部化粧材は全て防蟻処理K3を注入し木材保護塗料とする。 ※2 外部化粧材は全て面取を行う。	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称
	係	係長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633	図尺	S=1:30
	小野	登岡	松本	高木	一級建築士第135971		安並和文	年月日	図	A 18



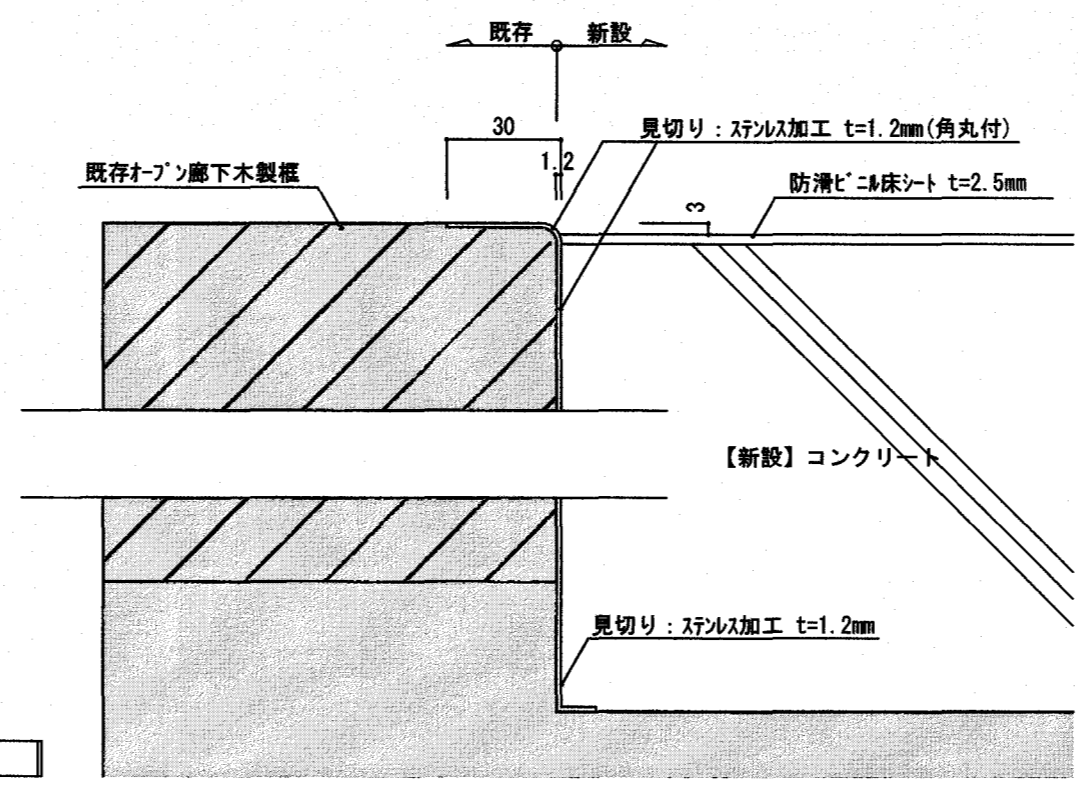
C~C' 断面詳細図 S=1:30



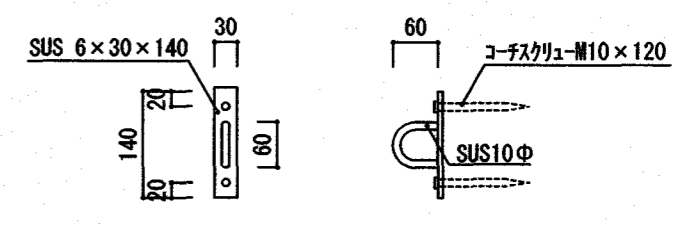
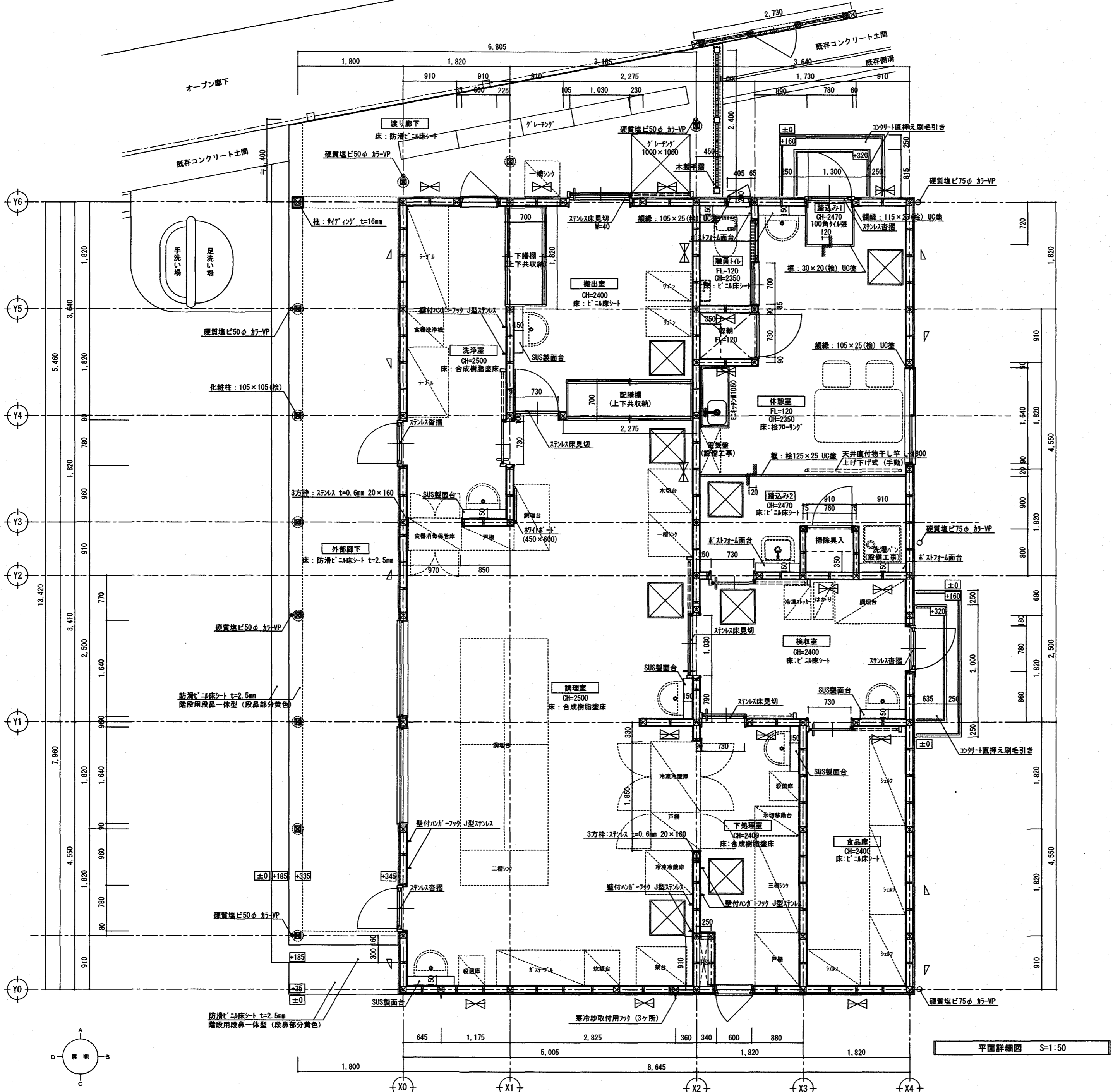
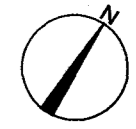
A部分詳細図 S=1:10



D~D' 断面詳細図 S=1:30



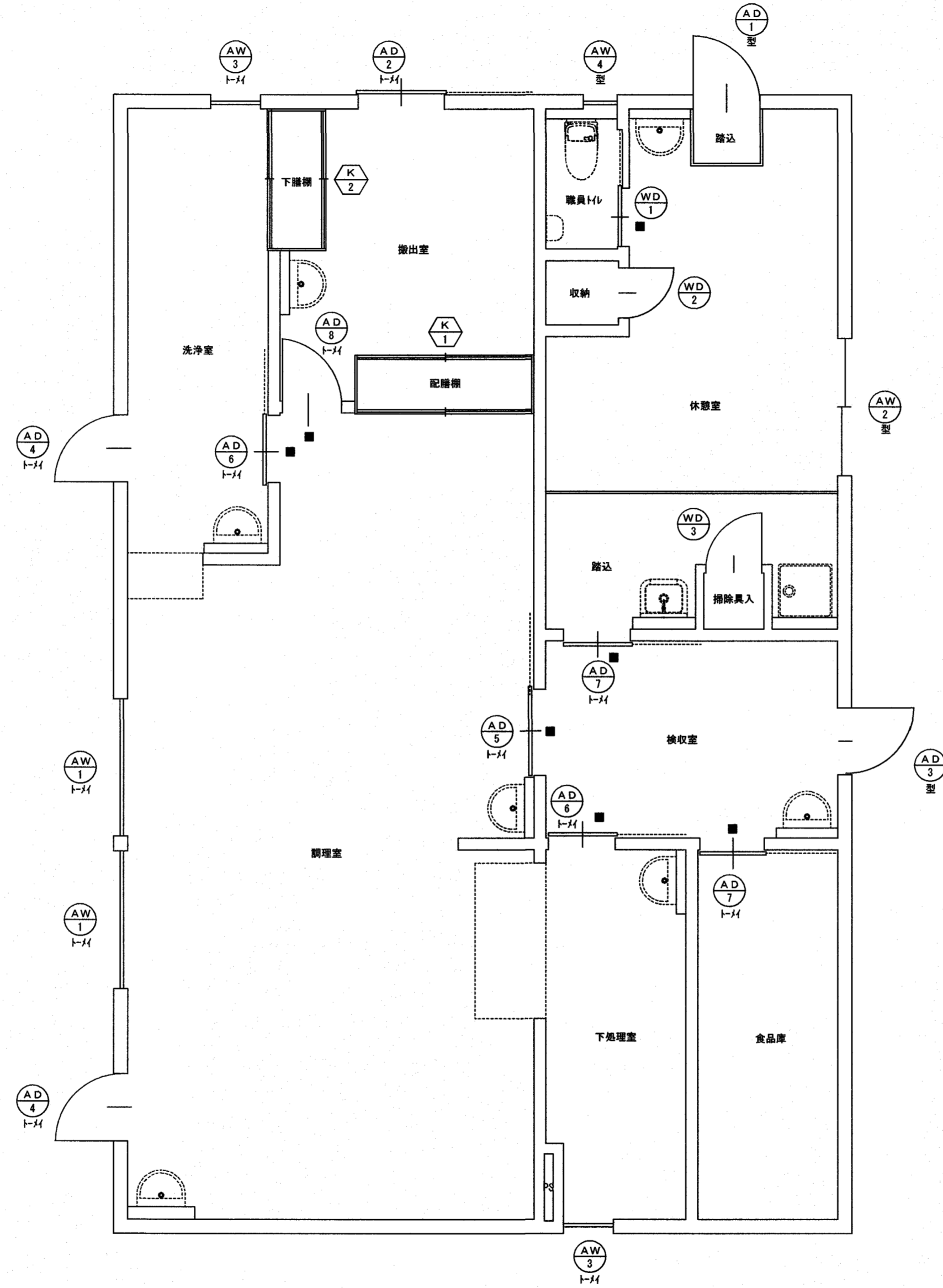
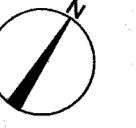
B部分詳細図 S=1:2



寒冷紗取付用フック詳細図 S=1:10

凡例	
■	柱 75×75、105×105
⊙	化粧柱 105×105
⊠	床下点検口 600×600
---	別途工事
⊗	筋違45×90W+構造用合板12mm
⊗	筋違45×90W
⊗	筋違45×90S

平面詳細図 S=1:50



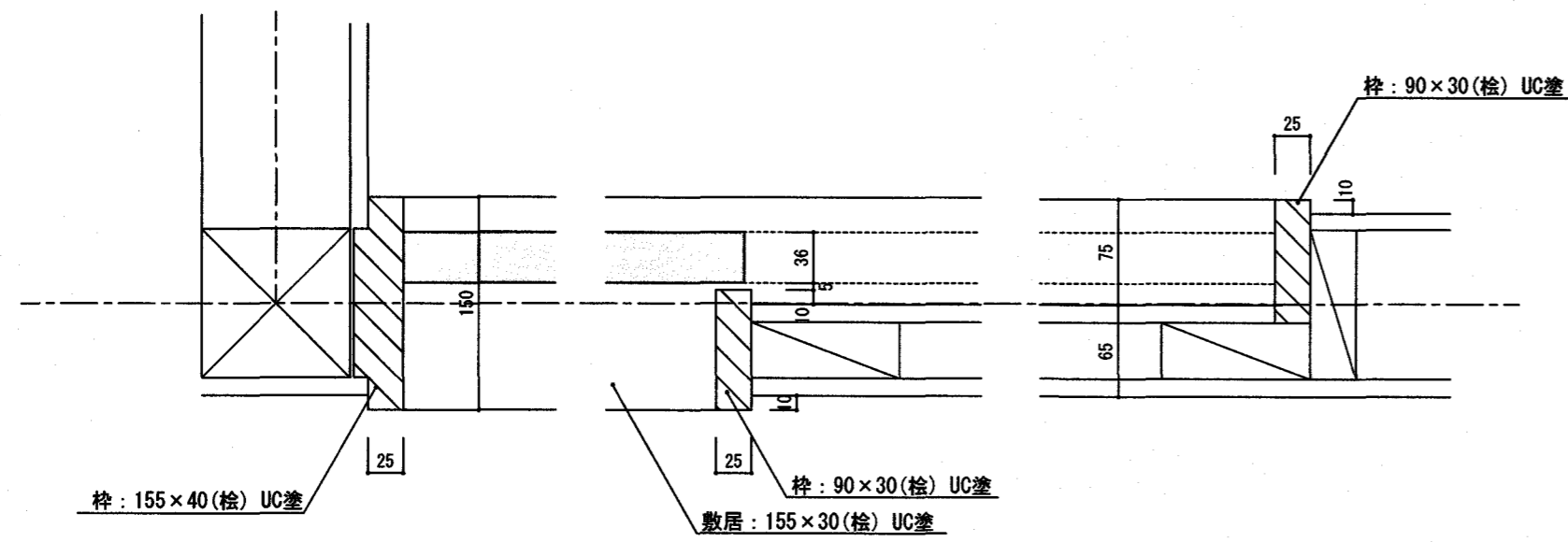
建具・家具配置図 S=1:100

- : 室名表示
- ト-I-I : 透明ガラス
- 型 : 型板ガラス

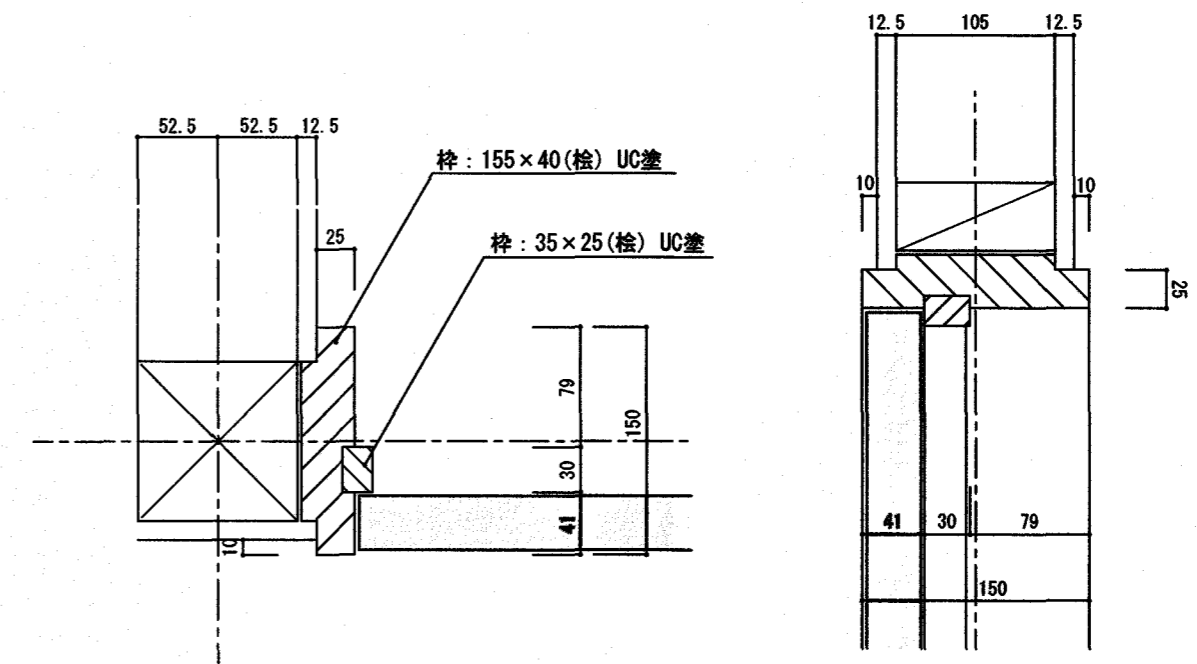
備考	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称	建具・家具配置図	NO. A — 22
	係	係長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	図尺 S=1:100		
	小野	世岡	松本	高木	一級建築士第135971	安並和文						

記号・位置	AW 1	調理室	2ヶ所	AW 2	休憩室	1ヶ所	AW 3	洗浄室・下処理室	2ヶ所	AW 4	職員トイレ	1ヶ所
姿 図												
	※外側開放角度45°以上											
型式・見込	外側シランマ付FIX窓 半外付型 (住宅用)			70			引違い窓 半外付型 (住宅用)			70		
仕 上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
ガラス他	学校用強化ガラス t=4.0			学校用型板強化ガラス t=4.0			学校用強化ガラス t=4.0			学校用型板強化ガラス t=4.0		
金 物	アルミ水切、アルミ額縁(L=105)、オペレーター、その他付属金物一式			クレセント、アングルピース、アルミ水切、その他付属金物一式			アルミ額縁(L=105)、アルミ水切、その他付属金物一式			アングルピース、アルミ水切、その他付属金物一式		
備 考	網戸			網戸			網戸			網戸		
記号・位置	AD 1	休憩室	1ヶ所	AD 2	搬出室	1ヶ所	AD 3	検収室	1ヶ所	AD 4	洗浄室・調理室	2ヶ所
姿 図												
型式・見込	片開き戸 半外付型 (住宅用)			70			片引き戸 (上吊り仕様)・(額縁一体型)			100		
仕 上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
ガラス他	学校用型板強化ガラス t=4.0			強化ガラス t=5.0			学校用型板強化ガラス t=4.0			強化ガラス t=5.0		
金 物	丁番、レバーハンドル、ドアクローザー、シリンダー錠、その他付属金物一式			大型SUS引手、シリンダー錠、全開ストッパー、指詰め防止金物、その後付属金物一式			丁番、レバーハンドル、ドアクローザー、シリンダー錠、その他付属金物一式			丁番、レバーハンドル、ドアクローザー、シリンダー錠、その他付属金物一式		
備 考	中棧			自閉装置及びブレーキ装置、衝突防止カーテンシート			格子、網戸、自閉装置及びブレーキ装置			衝突防止カーテンシート		
記号・位置												
姿 図												
型式・見込												
仕 上												
ガラス他												
金 物												
備 考												



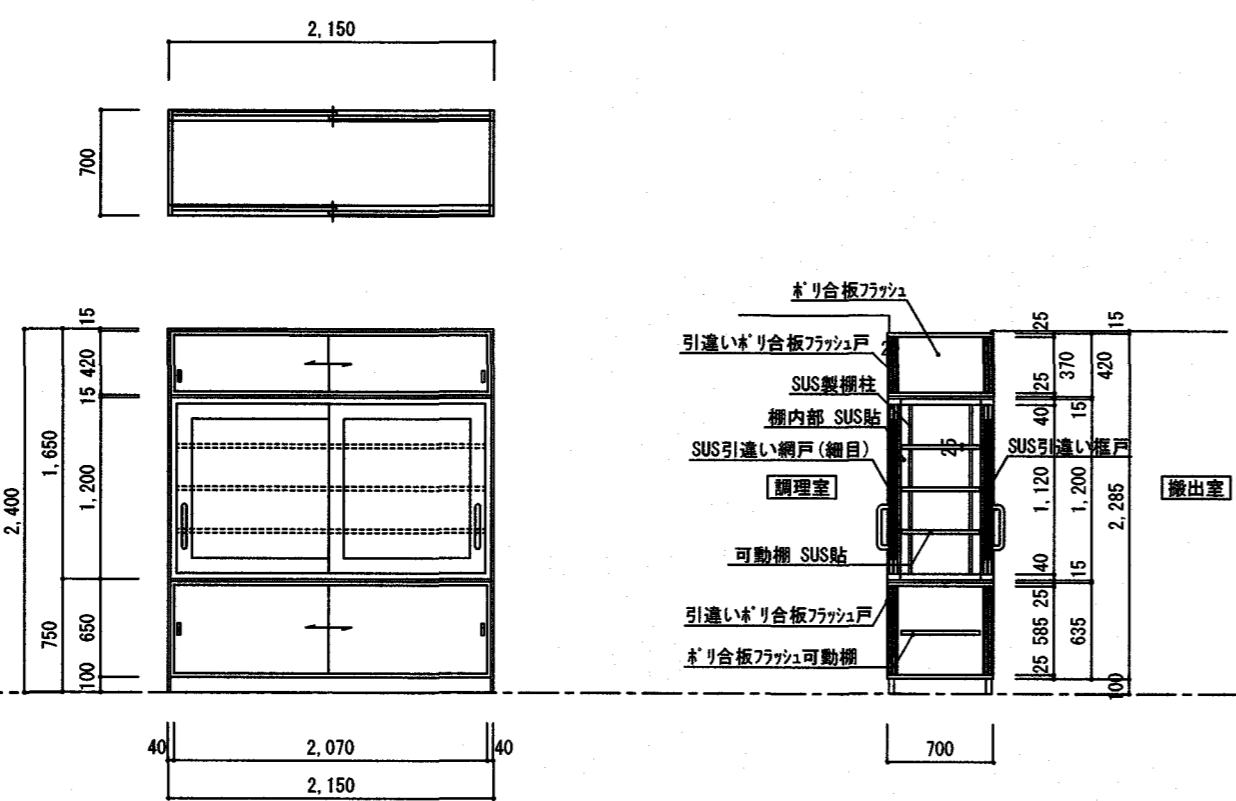
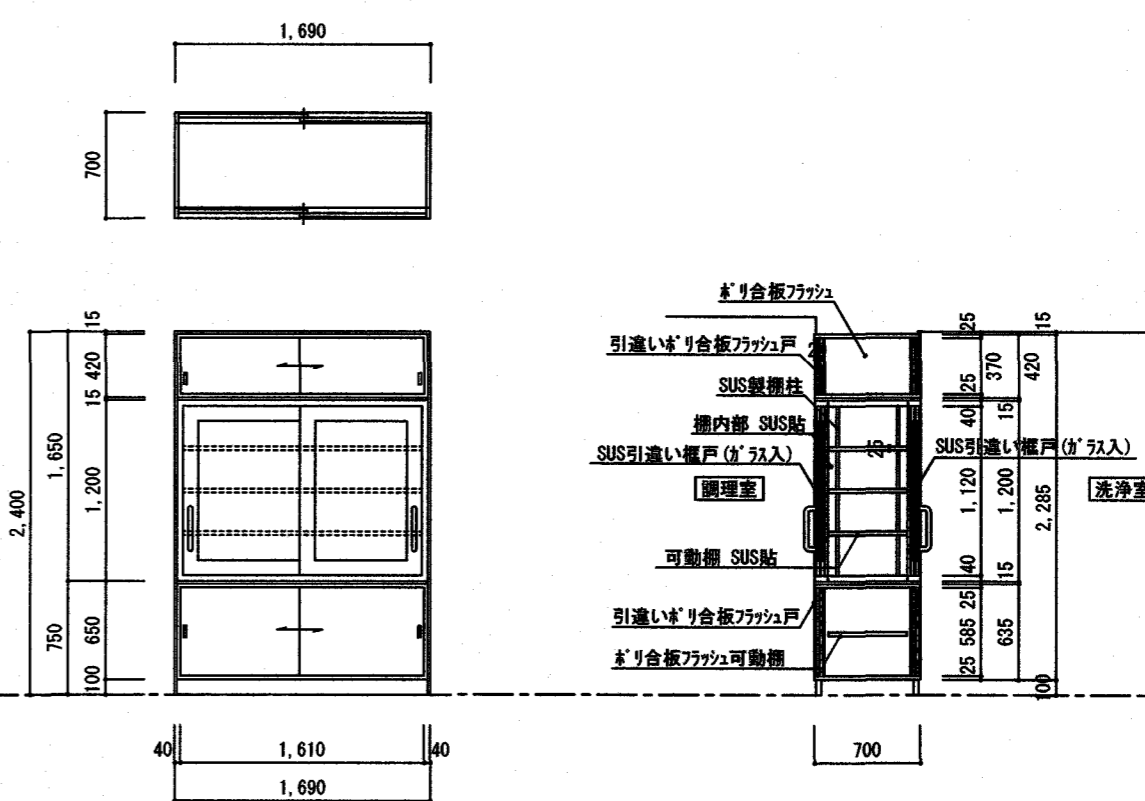
記号・位置	AD 5	調理室	1ヶ所	AD 6	洗浄室・下処理室	2ヶ所	AD 7	休憩室・食品庫	2ヶ所	AD 8	搬出室	1ヶ所
図												
型式・見込	片引き戸 (上吊り仕様) (額縁一体型)			片引き戸 (上吊り仕様) (額縁一体型)			片引き戸 (上吊り仕様) (額縁一体型)			片開き戸 (住宅用)		
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
ガラス他	学校用強化ガラス t=4.0			学校用強化ガラス t=4.0			学校用強化ガラス t=4.0			学校用強化ガラス t=4.0		
金物	大型SUS引手、全開ストッパー、その他付属金物一式			大型SUS引手、全開ストッパー、その他付属金物一式			大型SUS引手、全開ストッパー、その他付属金物一式			アルミ額縁 (下框無)、丁番、レバーハンドル、ドアクローザー、その他付属金物一式		
備考	中棧、腰アルミパネル t=3、自閉装置及びブレーキ装置			中棧、腰アルミパネル t=3、自閉装置及びブレーキ装置			中棧、アルミガラリ (防虫網張)、自閉装置及びブレーキ装置			中棧、腰アルミパネル t=3		
記号・位置	WD 1	職員トイレ	1ヶ所	WD 2	収納	1ヶ所	WD 3	掃除具入	1ヶ所	■ 室名表示		
図												
型式・見込	片引きフラッシュ戸 (上吊り仕様)			片開きフラッシュ戸			片開きフラッシュ戸			3文字-5ヶ所 4文字-1ヶ所 5文字-1ヶ所		
仕上	ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ					
ガラス他												
金物	大型SUS引手、表示錠、ライトスコープ、その他付属金物一式			レバーハンドル、丁番 (2ヶ所)、全開ストッパー、その他付属金物一式			レバーハンドル、丁番 (2ヶ所)、全開ストッパー、その他付属金物一式					
備考	ガラリ付 (山型タイプ)、木口UC塗			木口UC塗			木口UC塗					

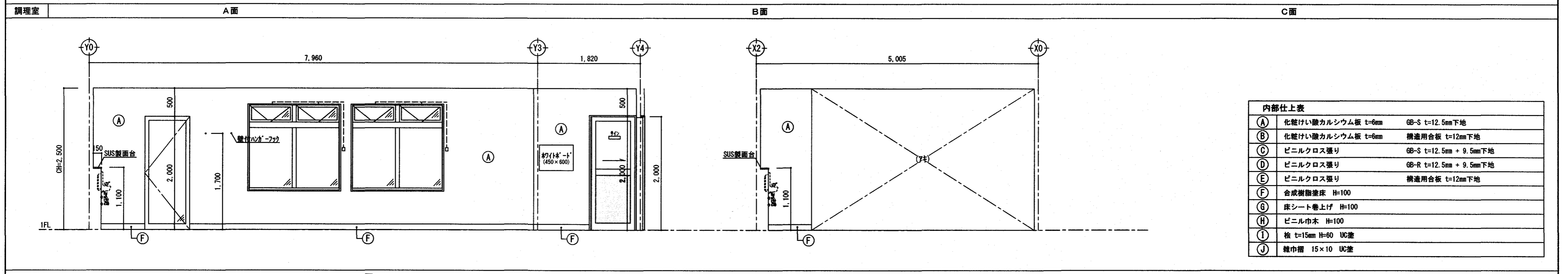
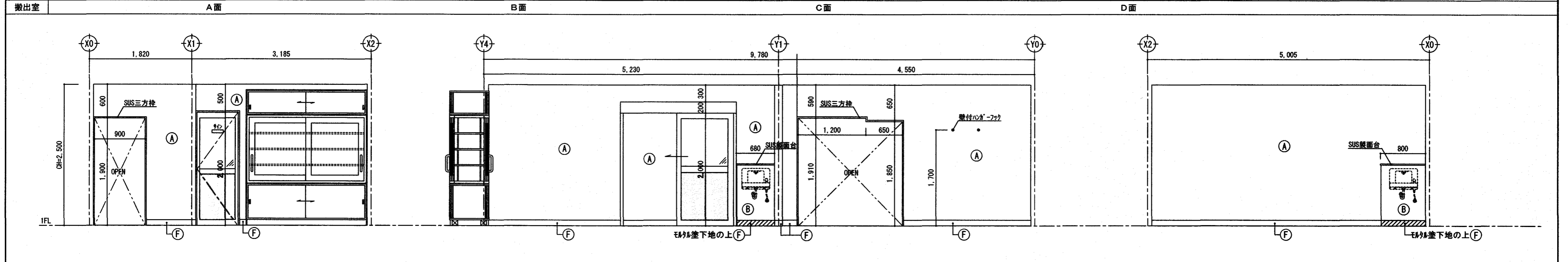
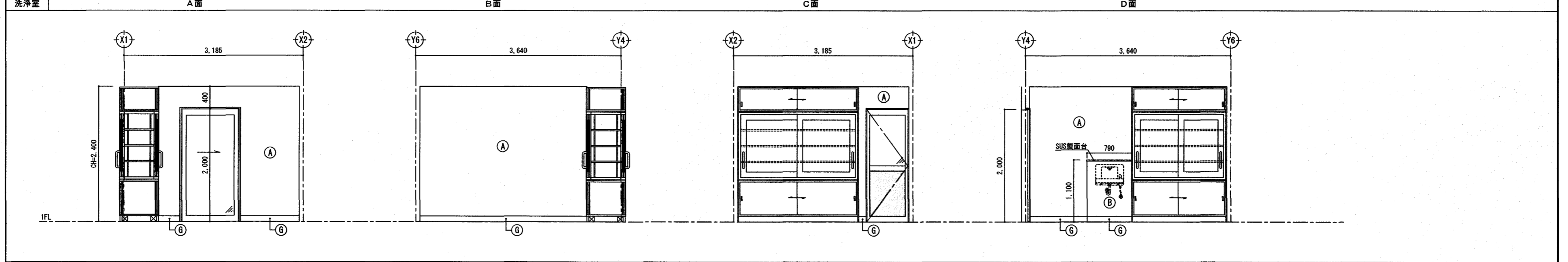
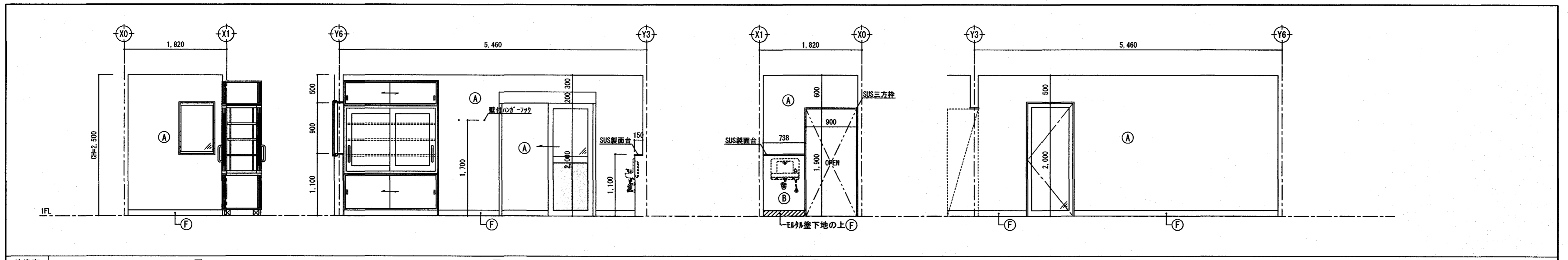


枠廻り詳細図 (引き戸) S=1:5



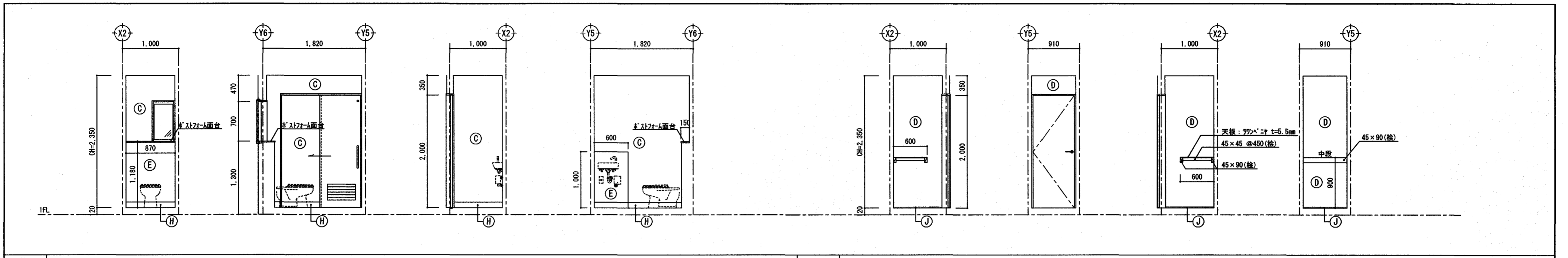
枠廻り詳細図 (開き戸) S=1:5

記号・位置	 調理室（搬出室）配膳棚	1ヶ所	 洗浄室（搬出室）下膳棚	1ヶ所
図 姿 図	S=1:50 		S=1:50 	
仕上	配膳棚：SUS板張 SUS304 #400仕上(芯材：ランバーコア) 【板厚】建具・枠 t=0.1mm、棚板・内壁 t=0.5mm		配膳棚：SUS板張 SUS304 #400仕上(芯材：ランバーコア) 【板厚】建具・枠 t=0.1mm、棚板・内壁 t=0.5mm	
金物	上下戸棚：ポリ合板フラッシュ 見付小口：メラミン化粧板		上下戸棚：ポリ合板フラッシュ 見付小口：メラミン化粧板	
ガラス	調理室側：網戸(細目) 搬出室側：学校用透明強化ガラス t=4mm		両側：学校用透明強化ガラス t=4mm	
塗装	—		—	
備考				
図 姿 図				
仕上				
金物				
ガラス				
塗装				
備考				

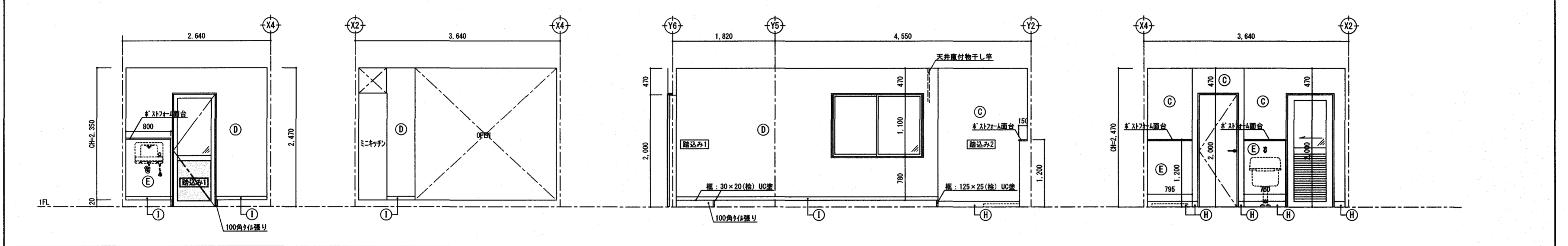


内部仕上表	
(A) 化粧けい酸カルシウム板 t=6mm	GB-S t=12.5mm下地
(B) 化粧けい酸カルシウム板 t=6mm	構造用合板 t=12mm下地
(C) ビニルクロス張り	GB-S t=12.5mm + 9.5mm下地
(D) ビニルクロス張り	GB-R t=12.5mm + 9.5mm下地
(E) ビニルクロス張り	構造用合板 t=12mm下地
(F) 合成樹脂塗床	H=100
(G) 床シート巻上げ	H=100
(H) ビニル巾木	H=100
(I) 桧 t=15mm H=80	UC塗
(J) 雑巾箱	15×10 UC塗

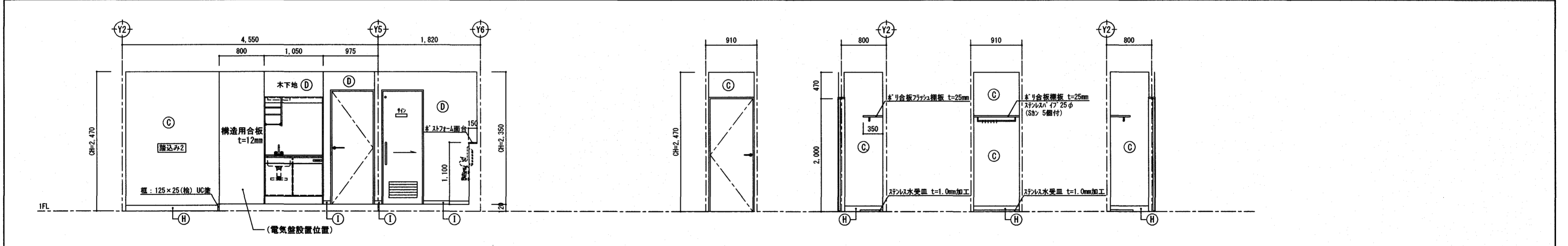
備考	高知市都市建設部公共建築課	とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司	登録高-6号	図面名称	展開図(1)
	保 係長 課長補佐 課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633	縮尺	S=1:50
	小野 高野 松本 松村			一級建築士第135971	安並和文	年月日	NO. A 26



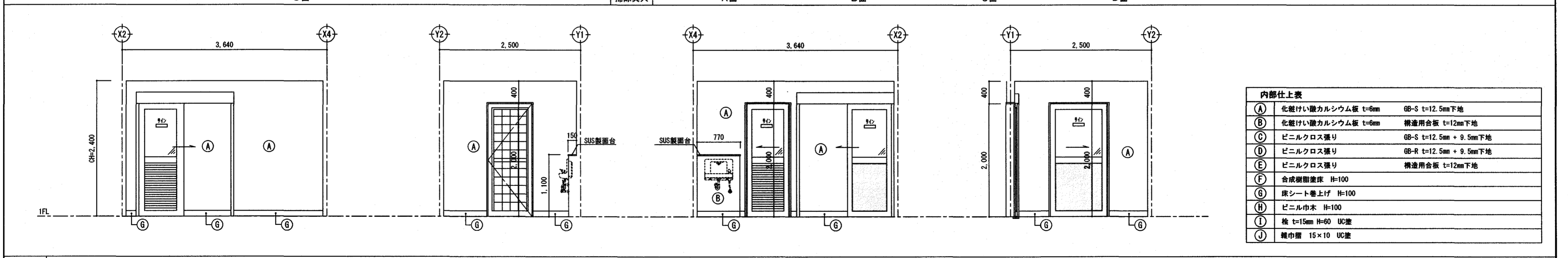
職員トイレ A面 B面 C面 D面 収納 A面 B面 C面 D面



休憩室 A面 A'面 B面 C面

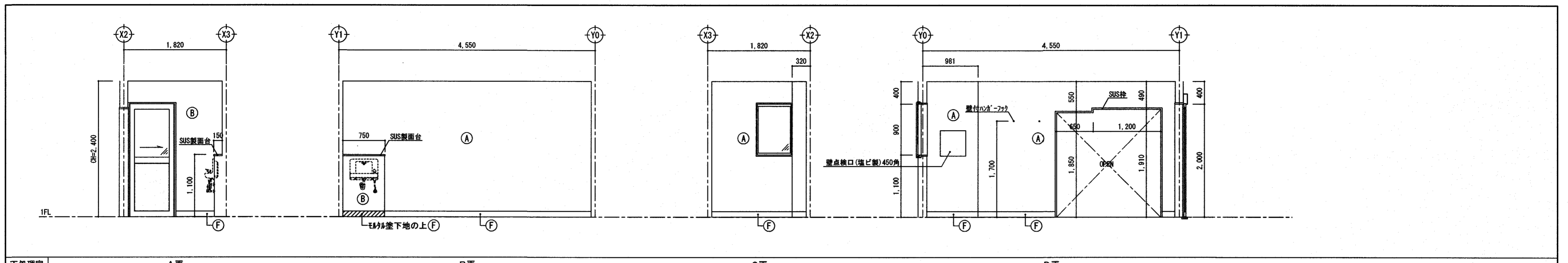


掃除具入れ A面 B面 C面 D面

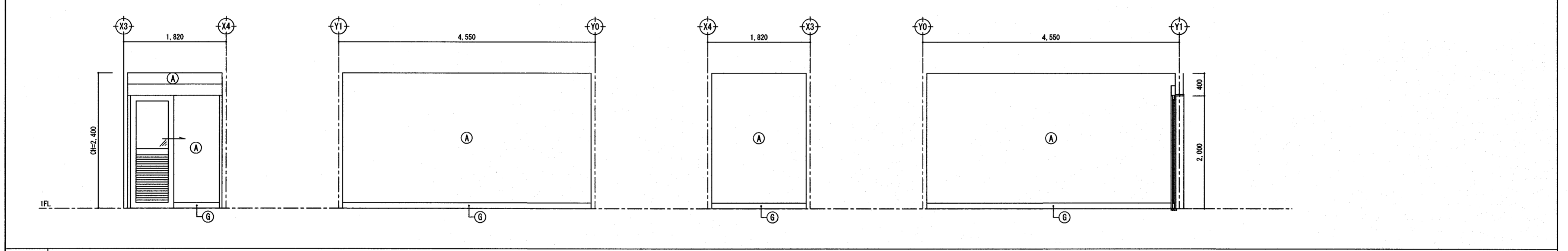


検収室 A面 B面 C面 D面

内部仕上表	
(A) 化粧い酸カルシウム板 t=6mm	GB-S t=12.5mm下地
(B) 化粧い酸カルシウム板 t=6mm	構造用合板 t=12mm下地
(C) ビニルクロス張り	GB-S t=12.5mm + 9.5mm下地
(D) ビニルクロス張り	GB-R t=12.5mm + 9.5mm下地
(E) ビニルクロス張り	構造用合板 t=12mm下地
(F) 合成樹脂塗床 H=100	
(G) 床シート巻上げ H=100	
(H) ビニル巾木 H=100	
(I) 栓 t=15mm H=60 UC差	
(J) 鍵巾着 15x10 UC差	



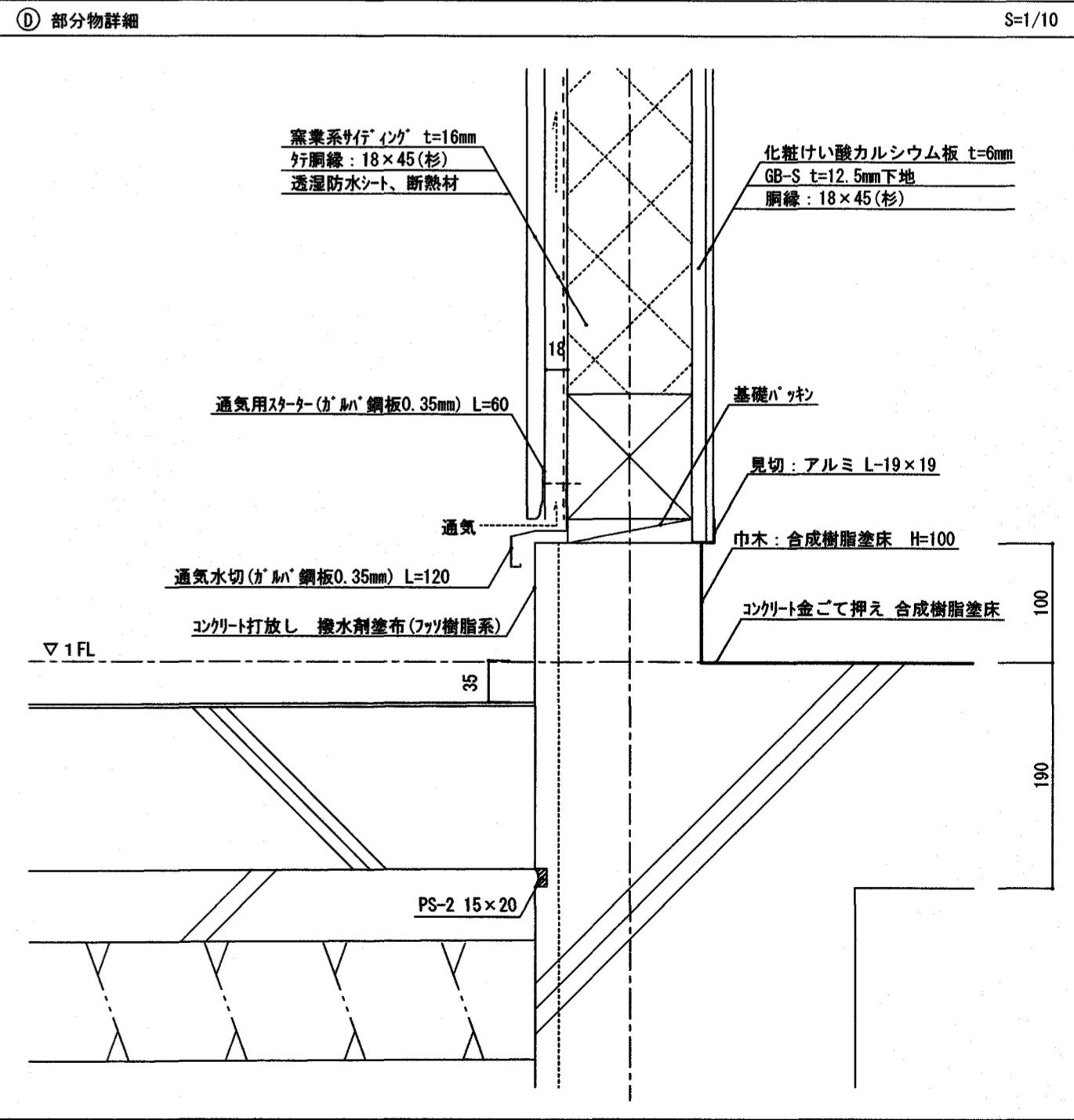
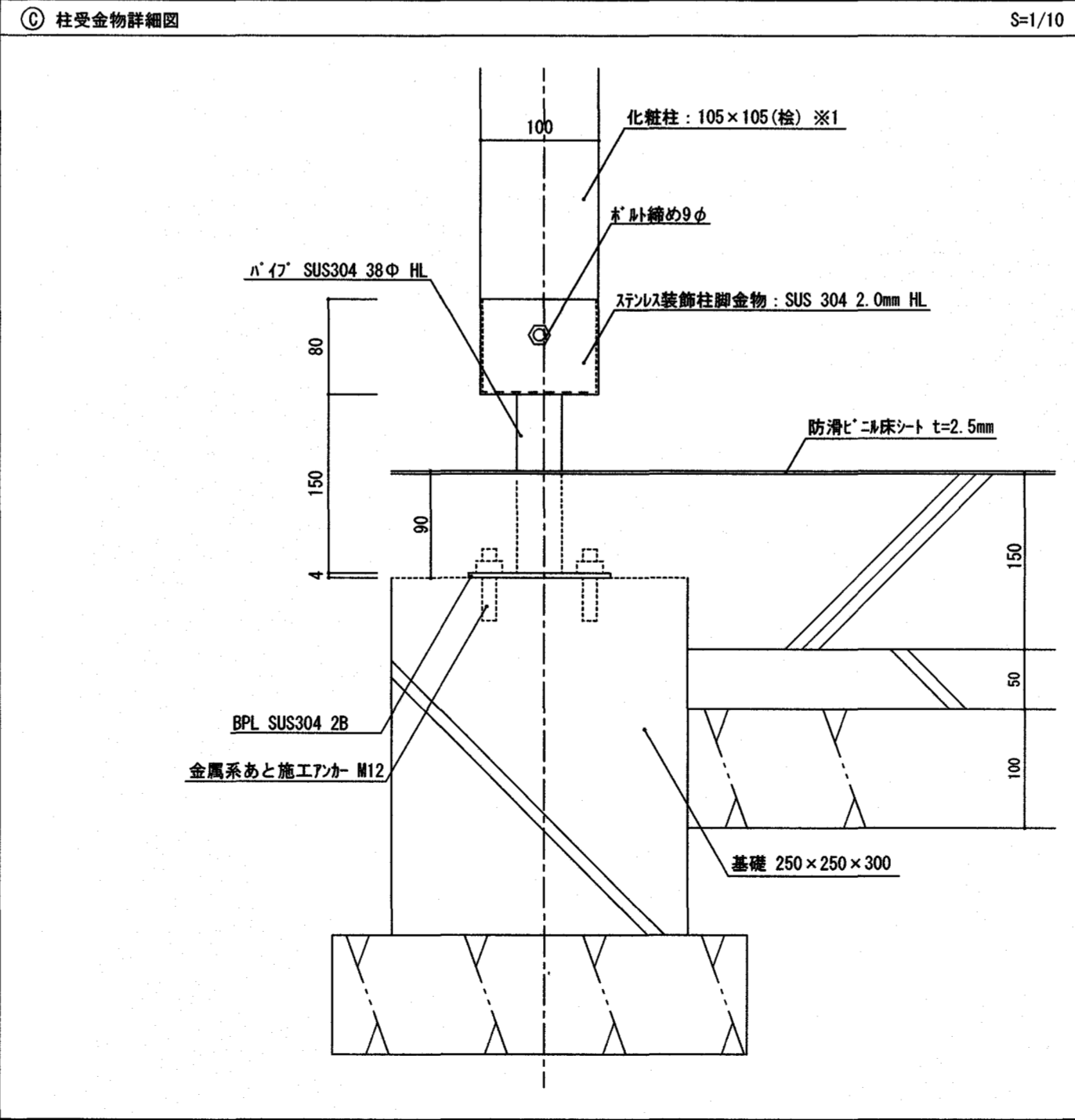
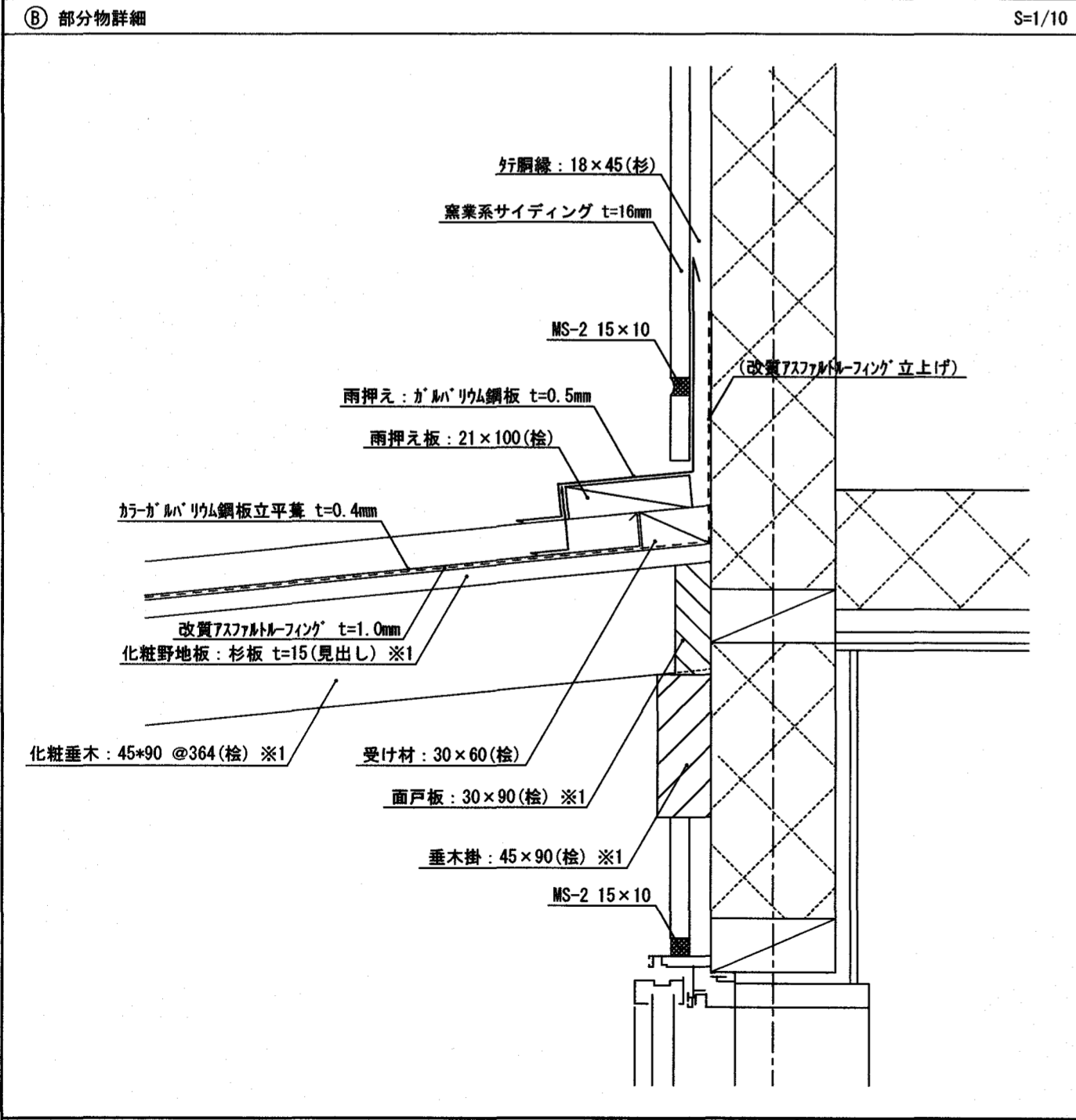
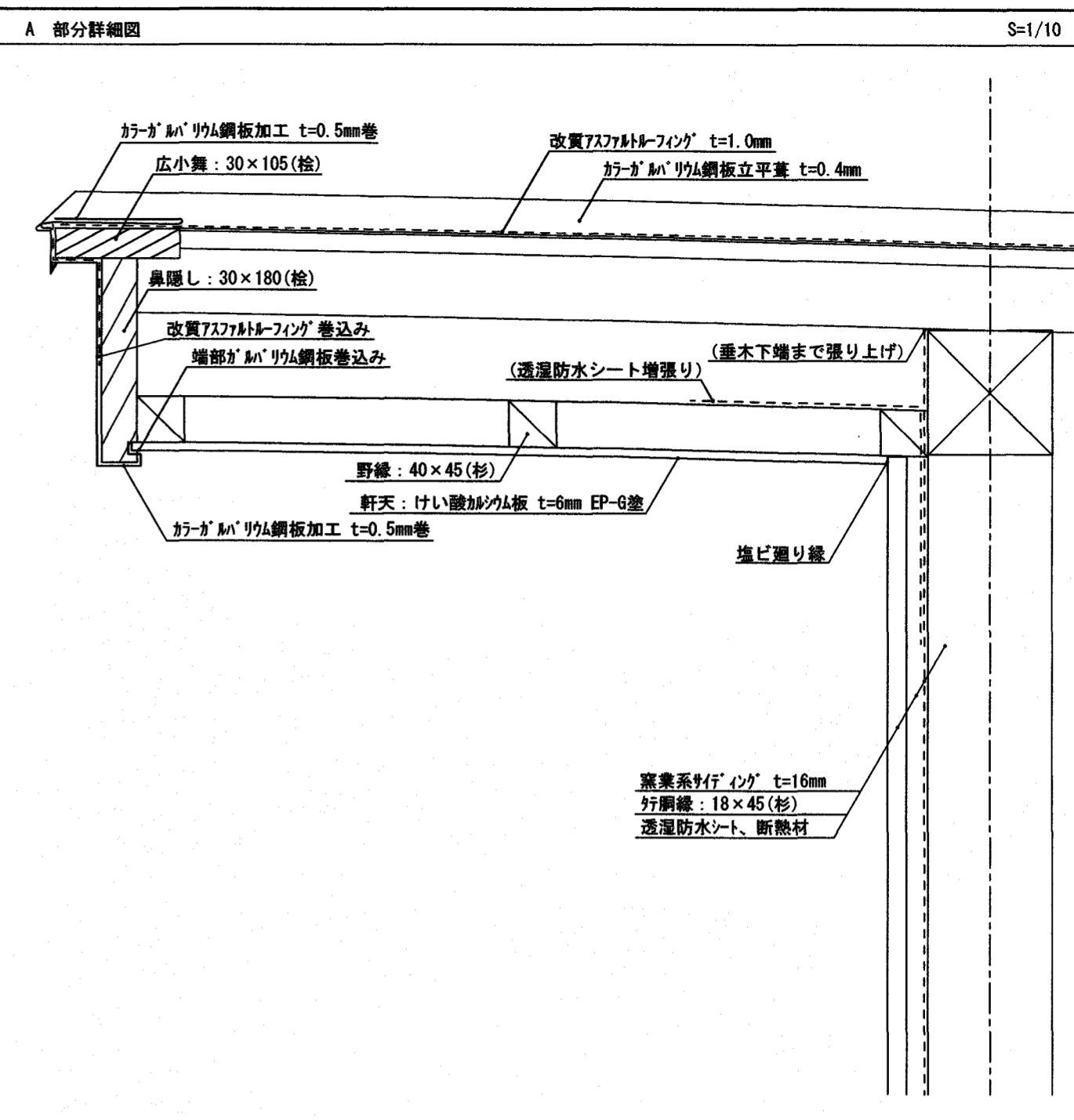
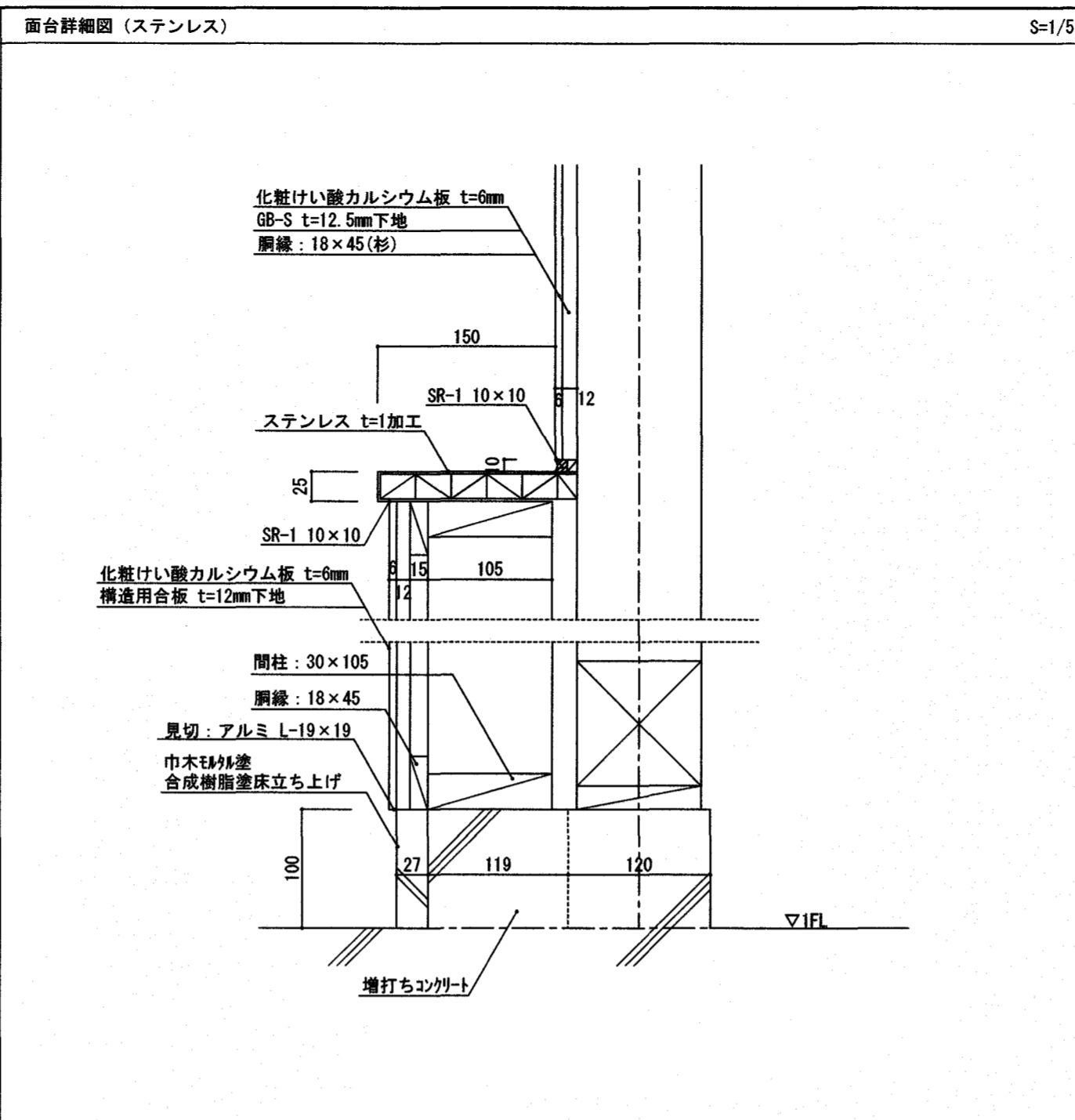
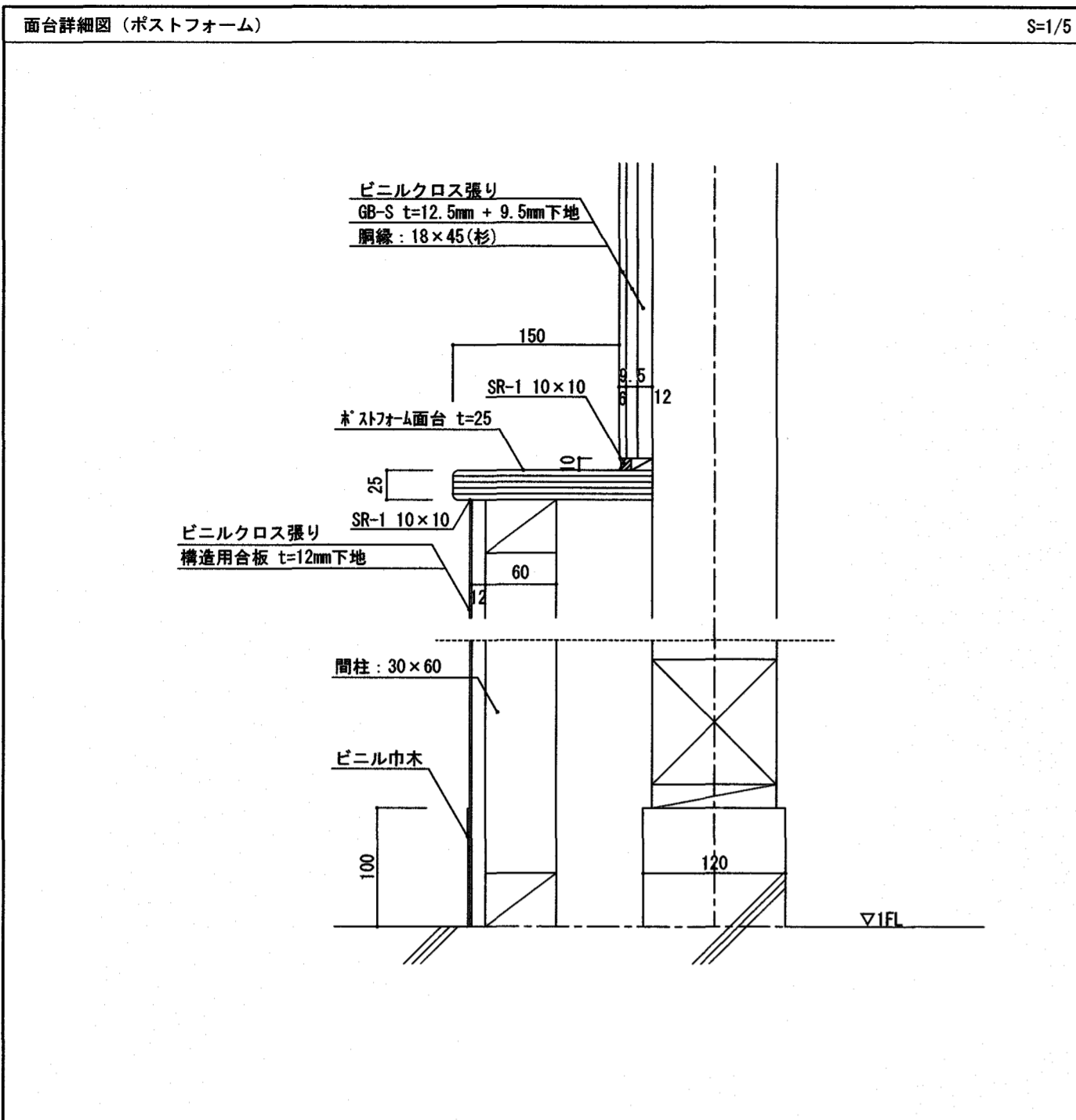
下処理室 A面 B面 C面 D面

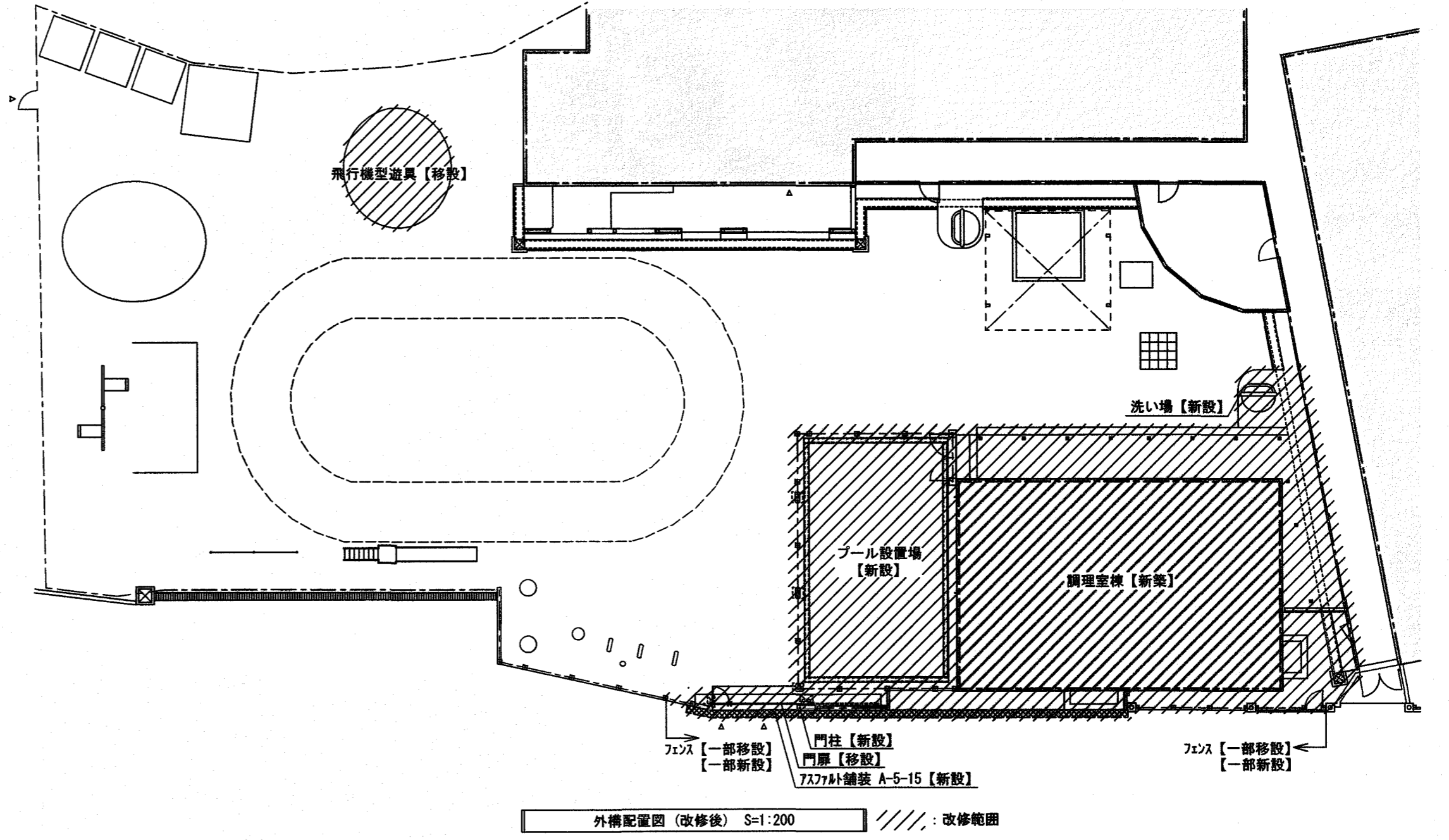
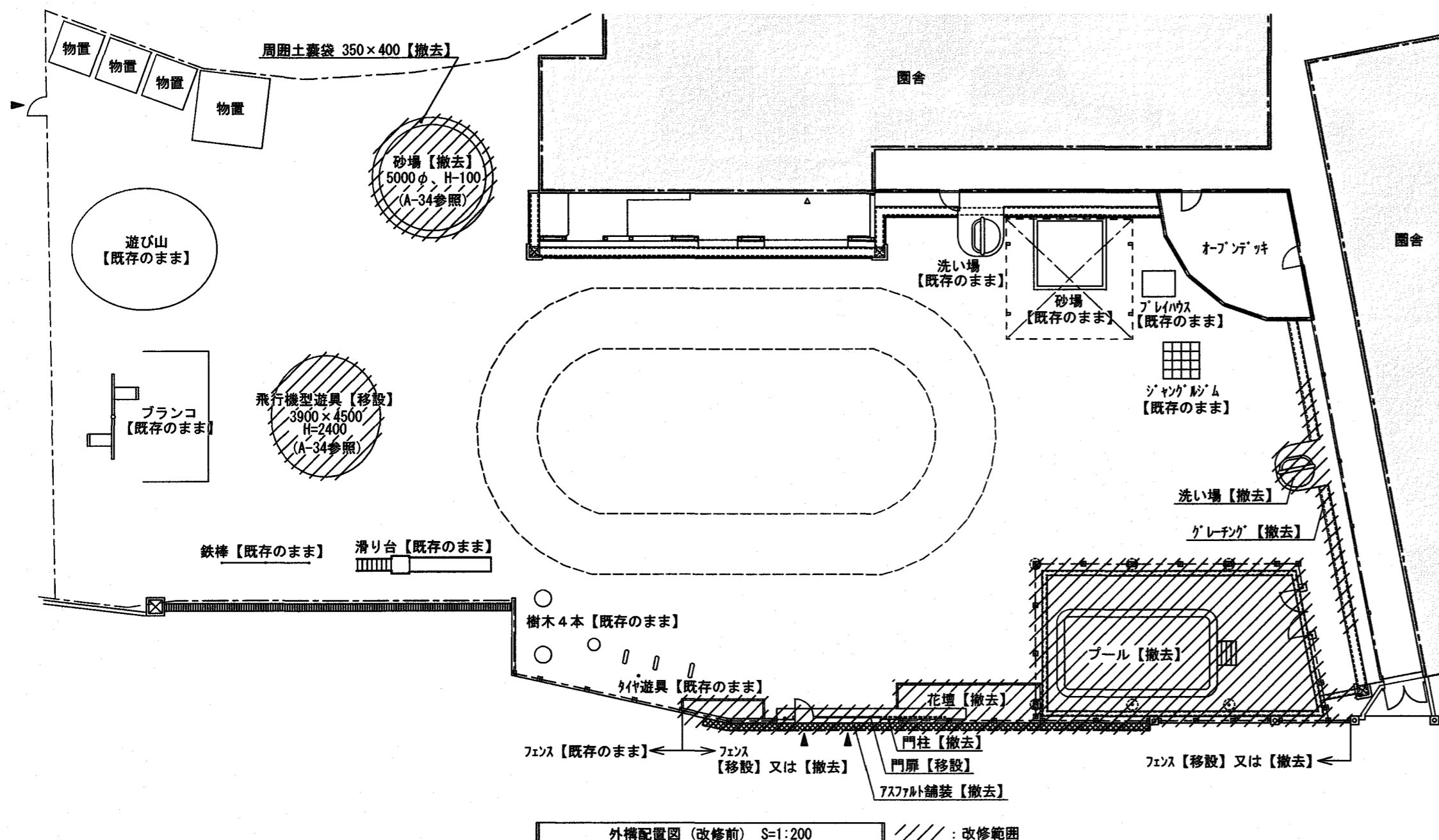
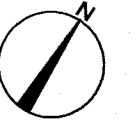


食品庫 A面 B面 C面 D面

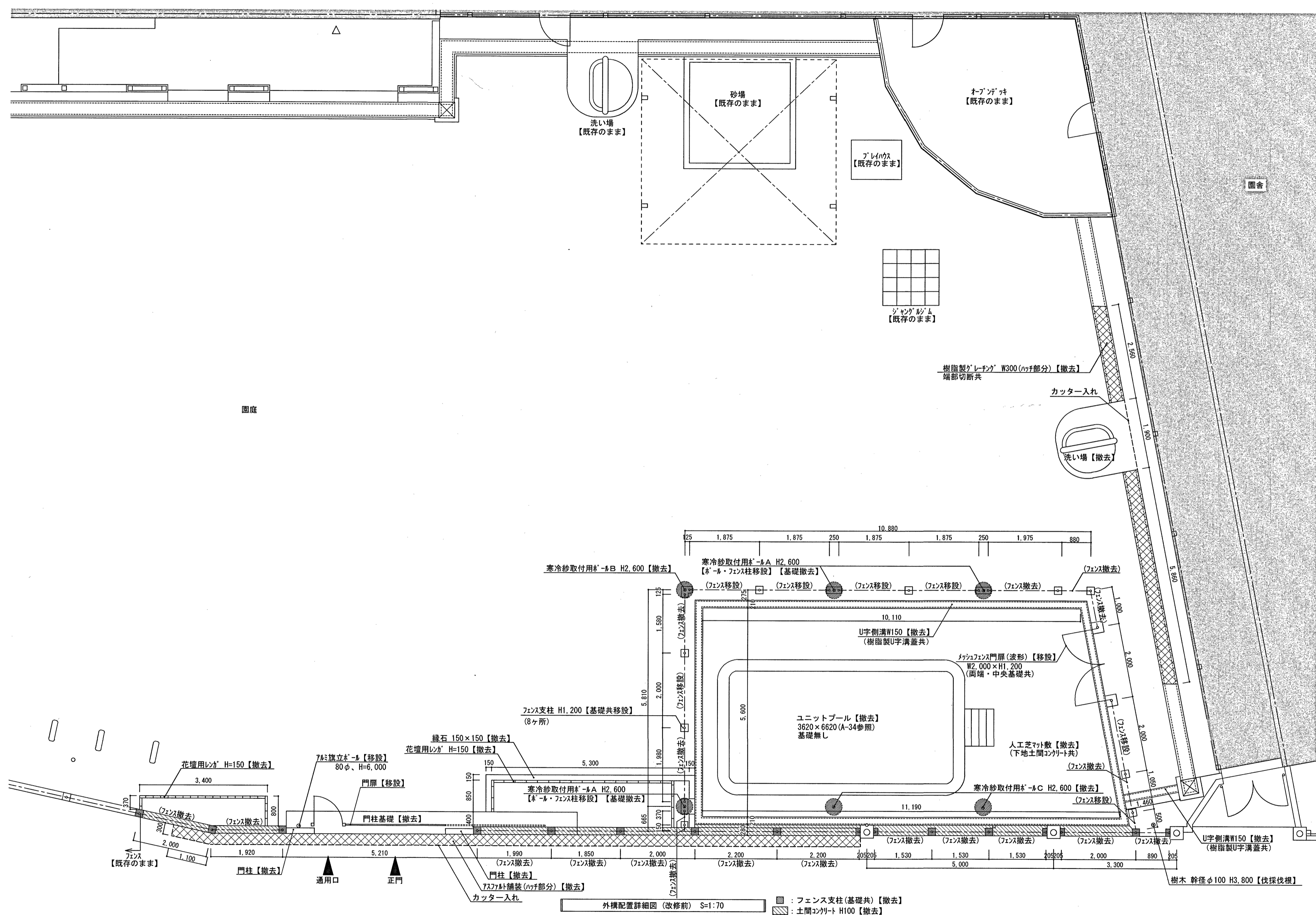
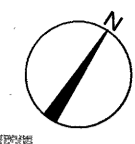
内部仕上表	
Ⓐ	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm GB-S t=12.5mm下地
Ⓑ	化粧けい酸カルシウム板 t=6mm 構造用合板 t=12mm下地
Ⓒ	ビニルクロス張り GB-S t=12.5mm + 9.5mm下地
Ⓓ	ビニルクロス張り GB-R t=12.5mm + 9.5mm下地
Ⓔ	ビニルクロス張り 構造用合板 t=12mm下地
Ⓕ	合成樹脂塗床 H=100
Ⓖ	床シート巻上げ H=100
Ⓗ	ビニル巾木 H=100
Ⓘ	絨 t=15mm H=60 UC塗
Ⓙ	絨巾着 15×10 UC塗

備考	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称	展開図(3)
	保	保長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺	S=1:50
	小野	松岡	松本	高村	一級建築士第135971	安並和文	年月日	図章	製図		

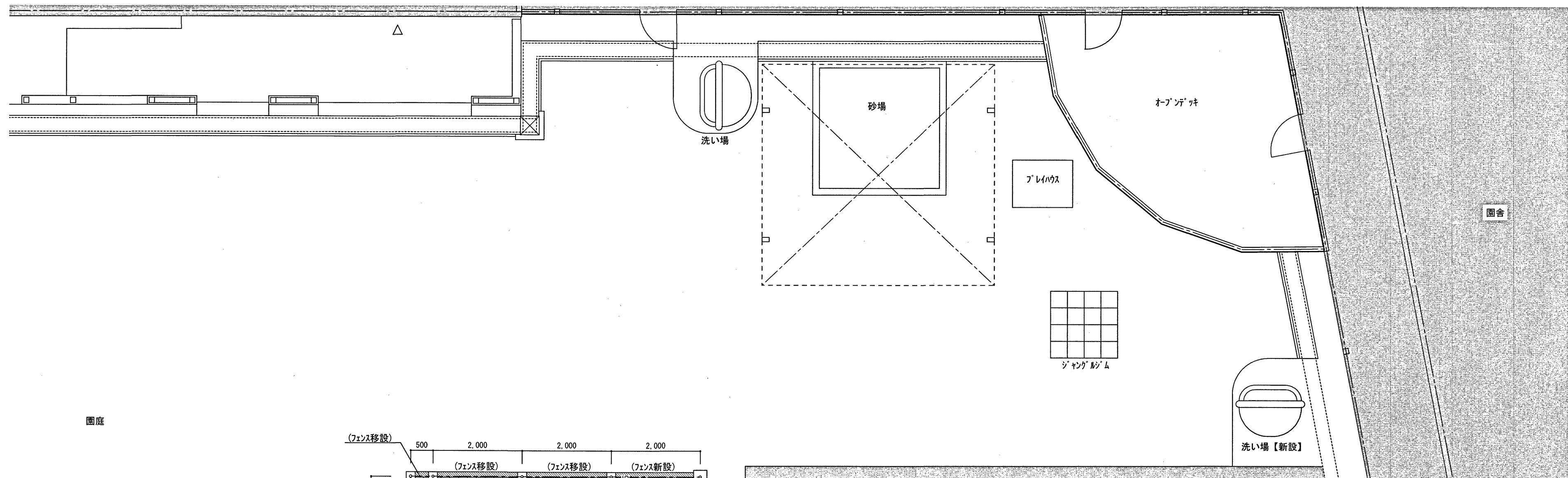
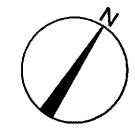




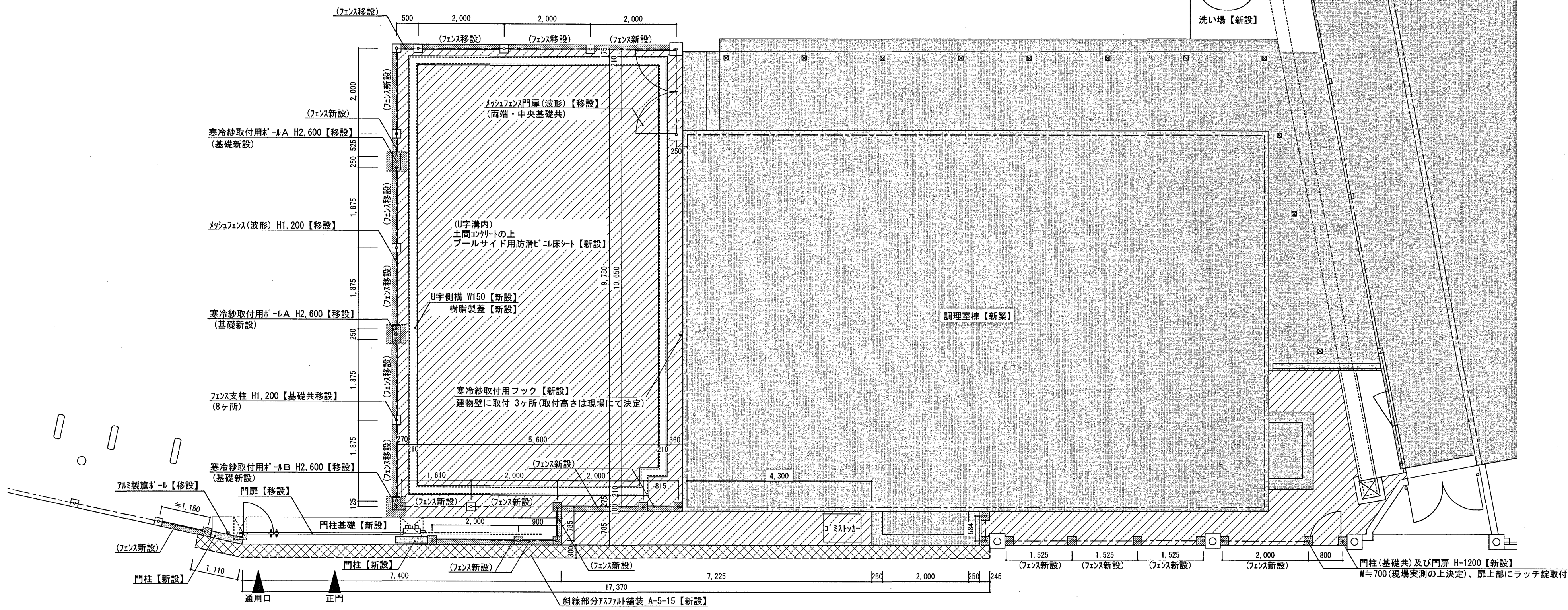
備考 ※ 基準高さは、既存建物の1FL-365をGLと設定して工事を行う。	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司 高知市知寄町1-5-1 一級建築士第135971	登録高-6号 TEL 883-1761 FAX 883-1633 安並和文	図面名称 外構配置図		NO. A 30
	係 小野	係長 藤岡	課長補佐 松本	課長 山本					縮尺 S=1:200	年月日 図面	



備考 ※ 基準高さは、既存建物の1FL-365をGLと設定して工事を行う。	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称
	係	係長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:70
	小野	菅岡	松本	岡本	一級建築士第135971	安並和文				NO. A-31



園庭



外構配置詳細図 (改修後) S=1:70

- : フェンス柱 (基礎共) 【新設】
- : 地先境界ブロック W120 H120 【新設】
- : 溶接金網 φ6×150×150 【新設】、コンクリート金ごて押え t=120 【新設】、砕石 t=100 【新設】

備考
※ 基準高さは、既存建物の1FL-365をGLと設定して工事を行う。

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
小野	菅岡	松本	山本

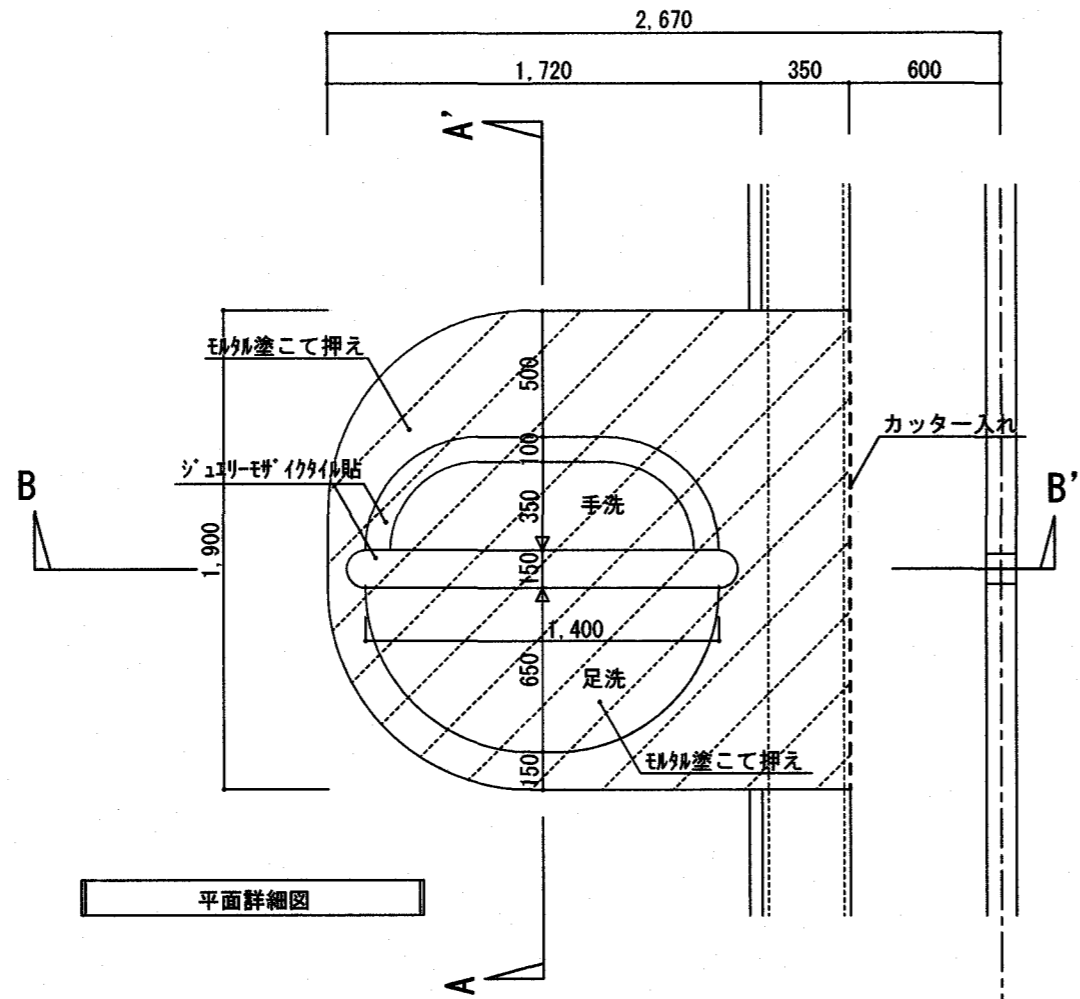
とさやま保育園調理室棟新築工事 設計図

三建設計有限公司 登録高-6号
高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633
一級建築士第135971 安並和文

図面名称	外構配置詳細図 (改修後)	
縮尺	S=1:70	NO. A-32
年月日	相編	製図

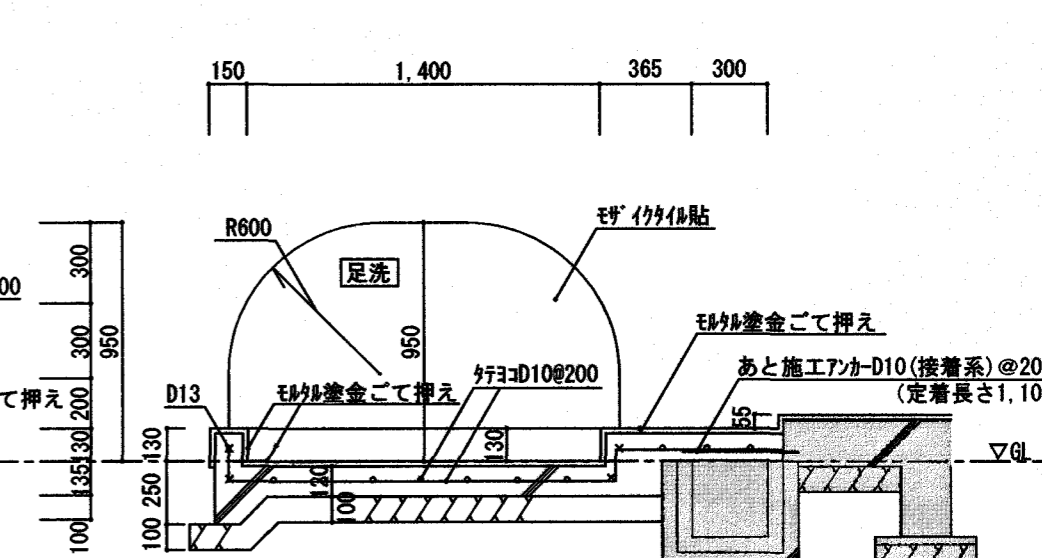
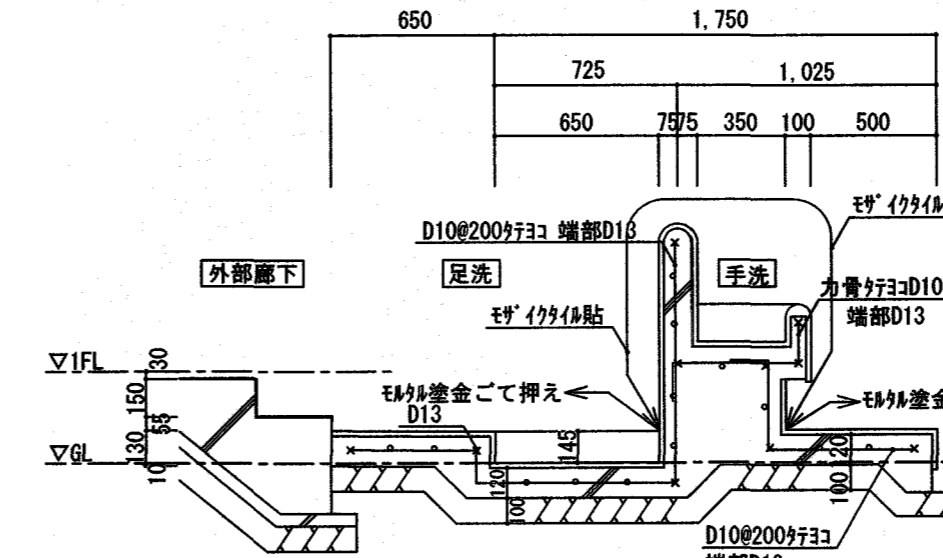
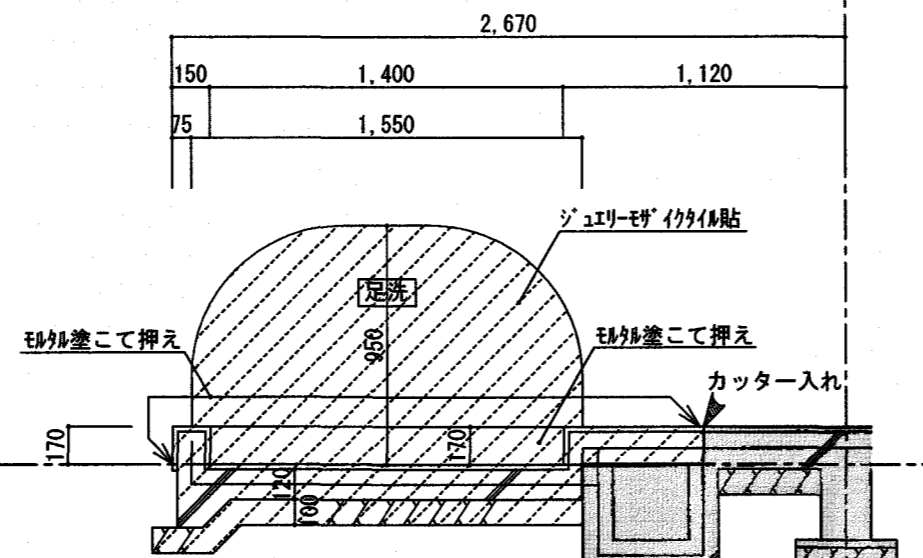
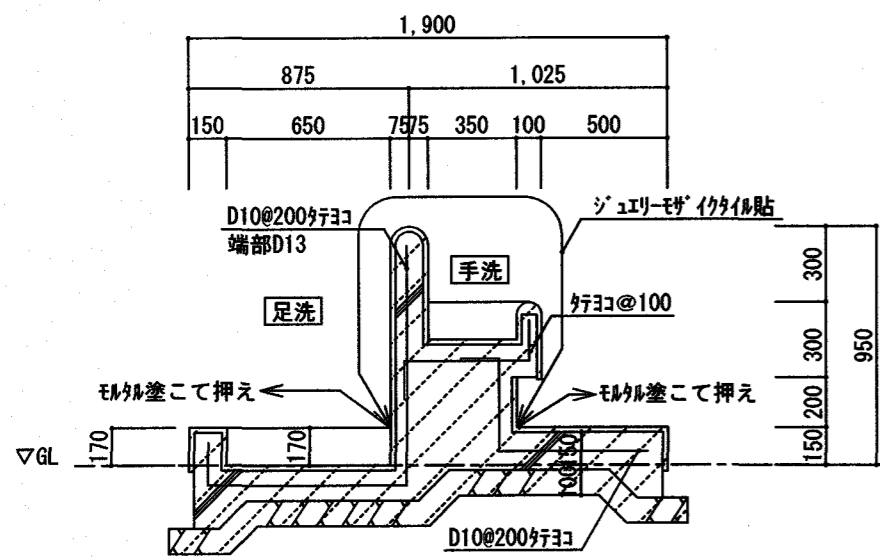
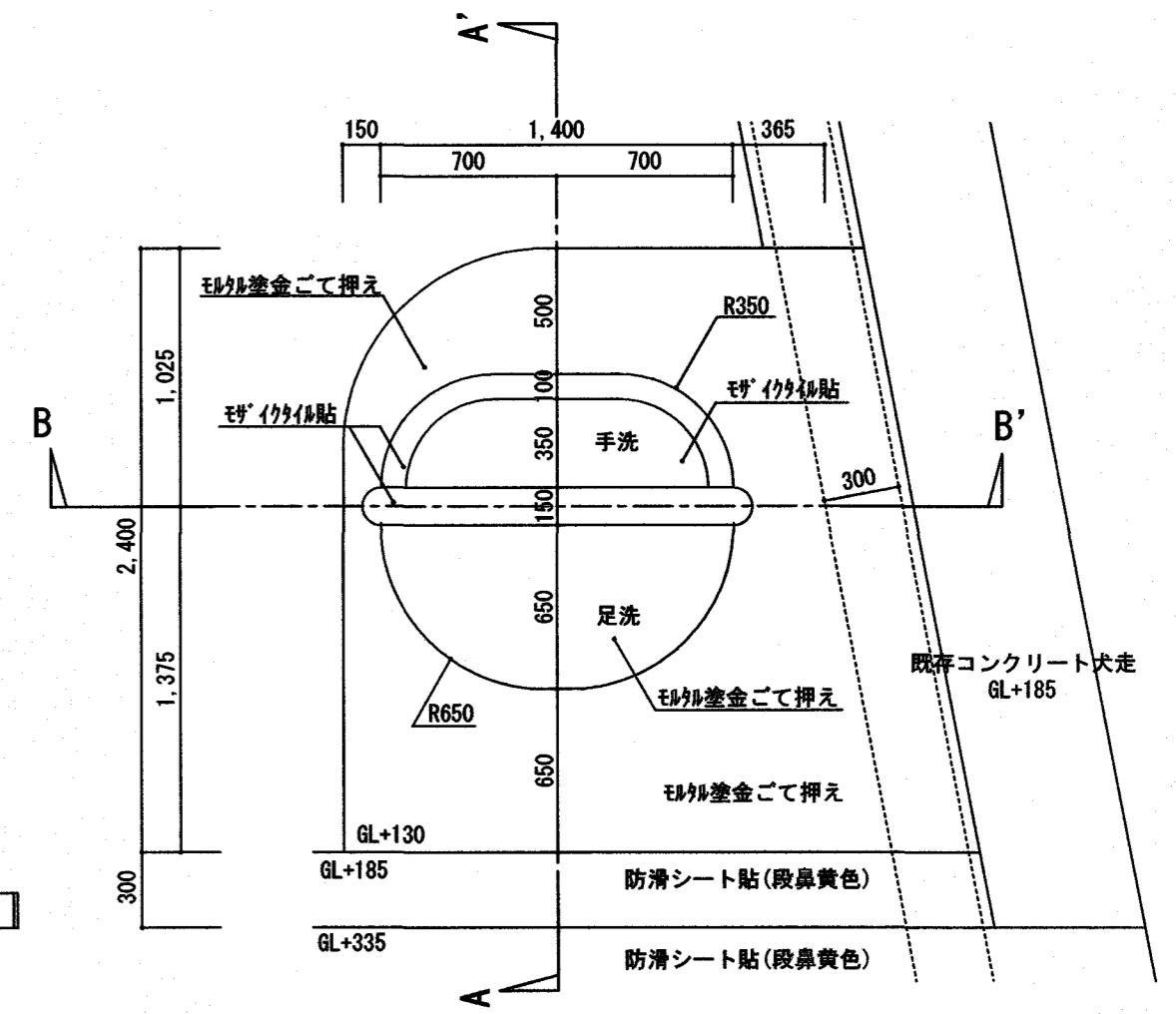
改修前

※斜線部分全て【撤去】



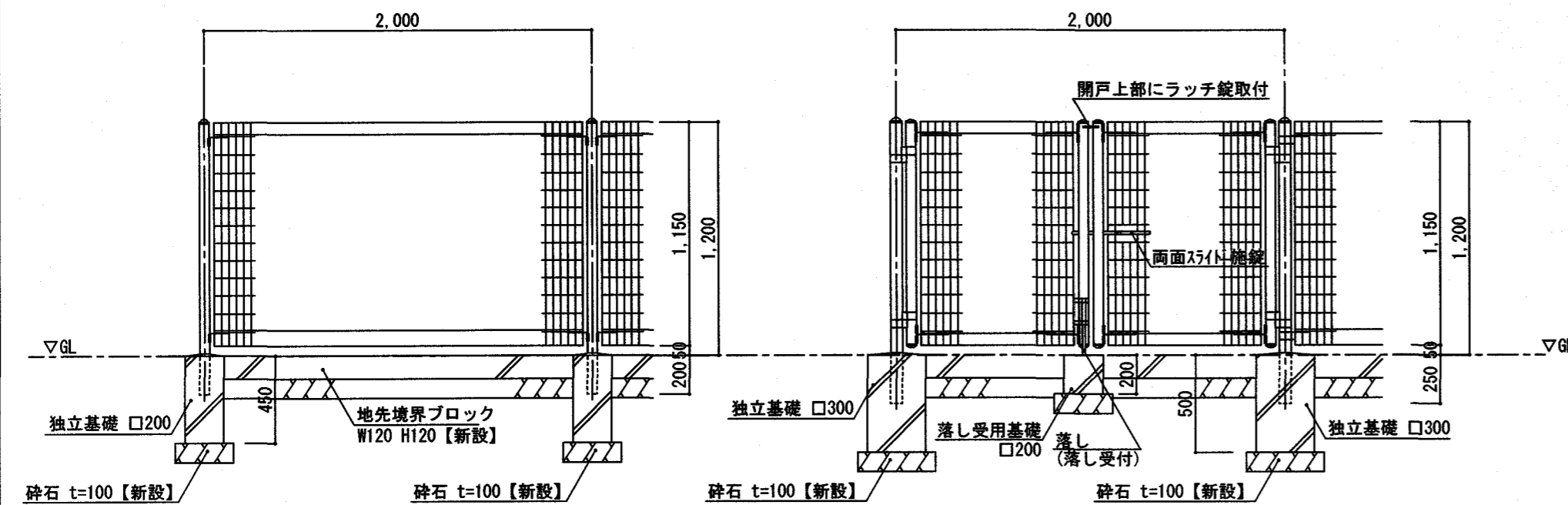
改修後

【新設】



メッシュフェンス及びメッシュ門扉断面詳細図

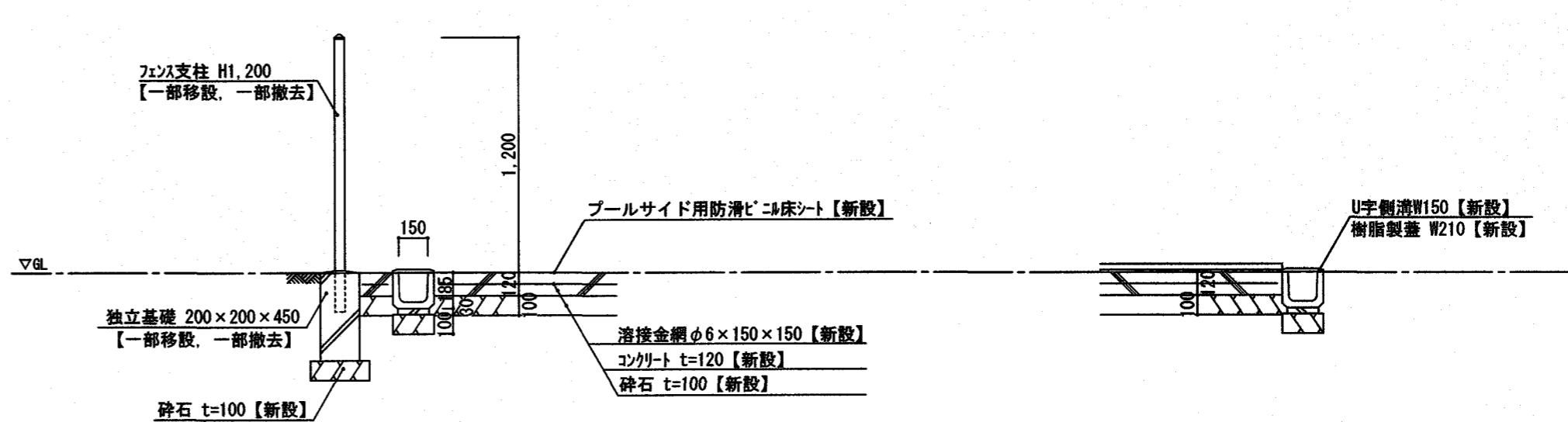
※一部【移設】、一部【撤去】後別場所と同じ仕様で【新設】



S=1/30

プール設置場所断面詳細図

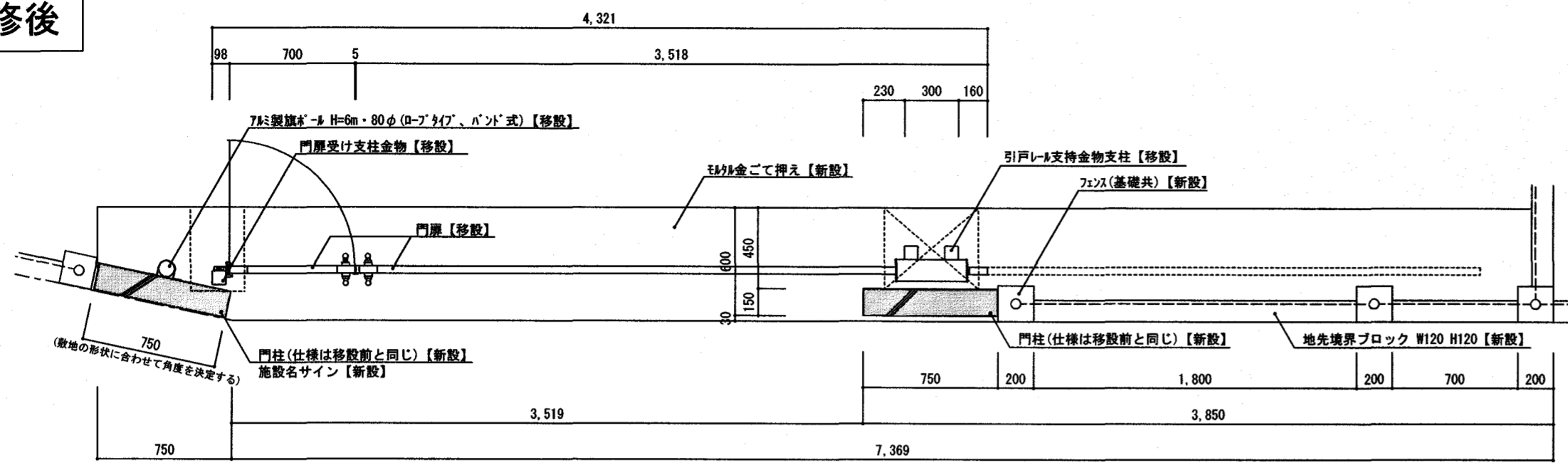
※【撤去】後別場所と同じ仕様で【新設】



S=1/30

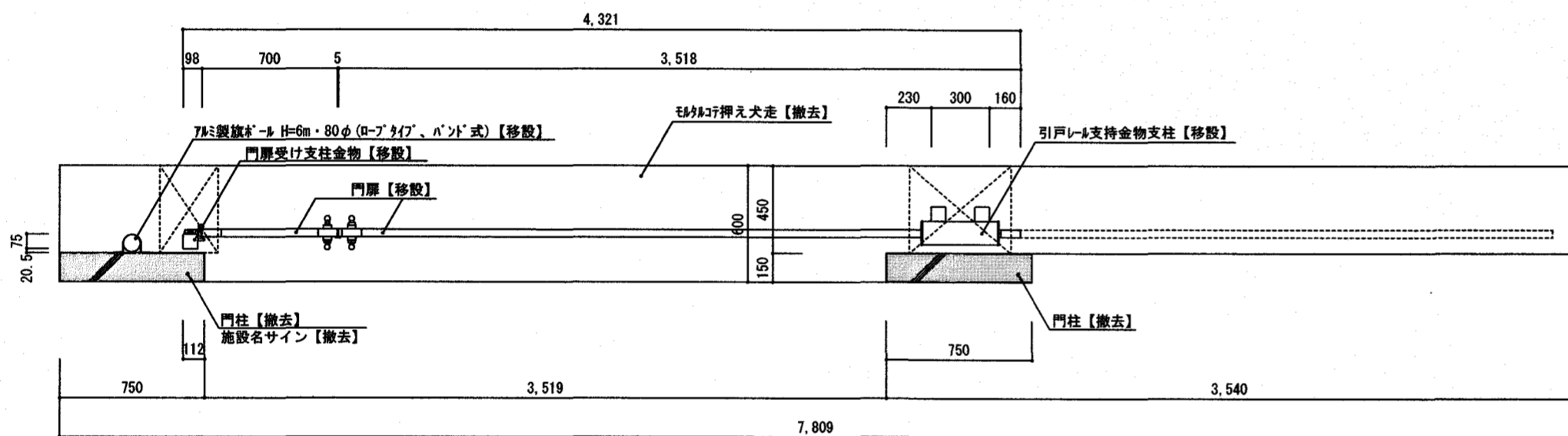
備考	高知市都市建設部公共建築課	とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司	登録高-6号	図面名称	外構詳細図(1)
	保 保長 課長補佐 課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633	縮尺	S=1/30
	小野 笹岡 松本 山本			一級建築士第135971	安並和文	年月日	NO. A 33

改修後

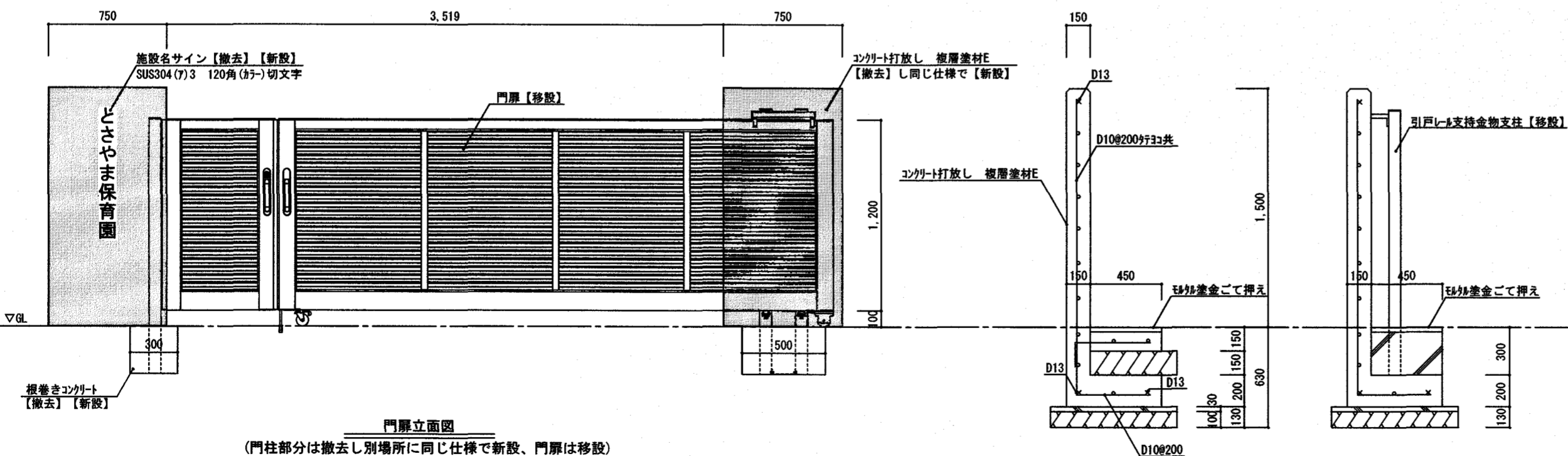


移設後門扉詳細図

改修前



移設前門扉詳細図
(門柱部分は撤去し、門扉は移設)

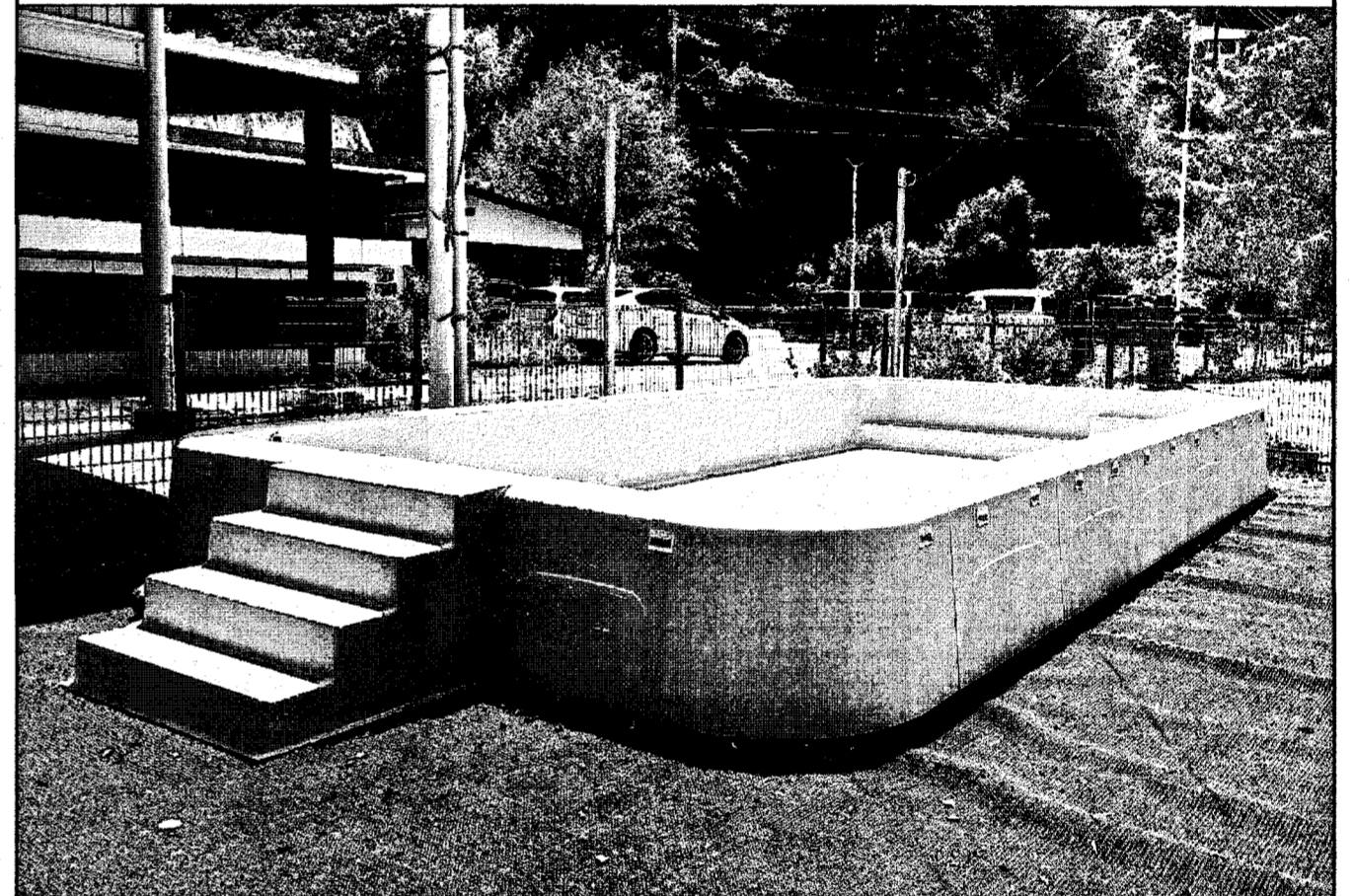


門扉立面図
(門柱部分は撤去し別場所に同じ仕様で新設、門扉は移設)



プール【撤去】 基礎無し

(3620×6620)



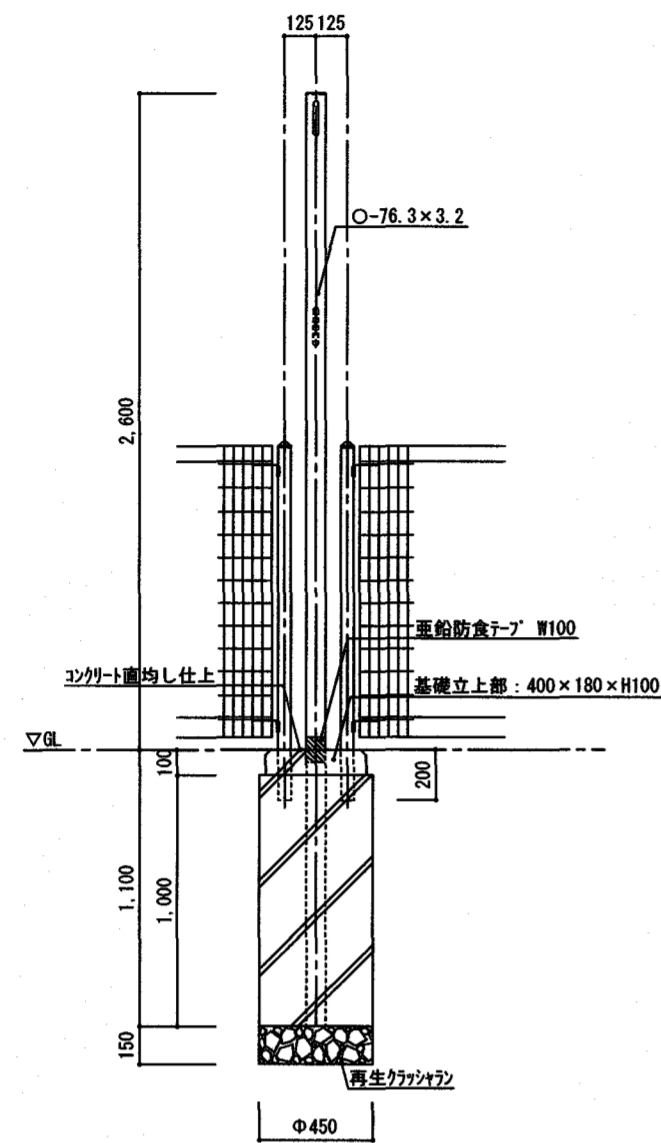
砂場【撤去】 基礎無し

(5000φ 周囲土嚢袋積)

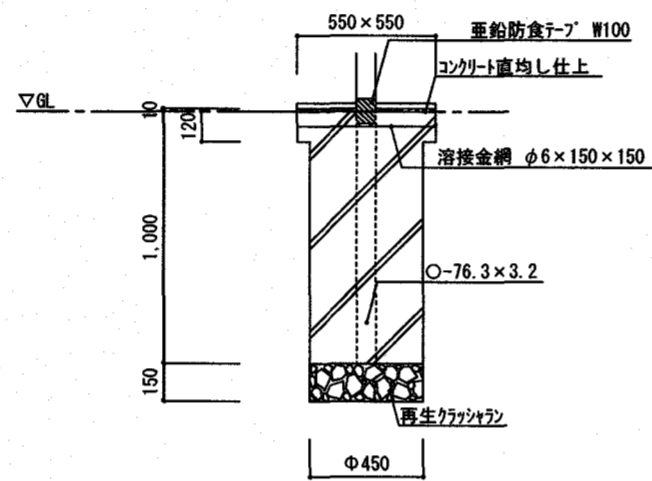


備考	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司 登録高-6号		図面名称 外構詳細図(2)	
	保	係長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633	縮尺 S=1:30	年月日

改修前

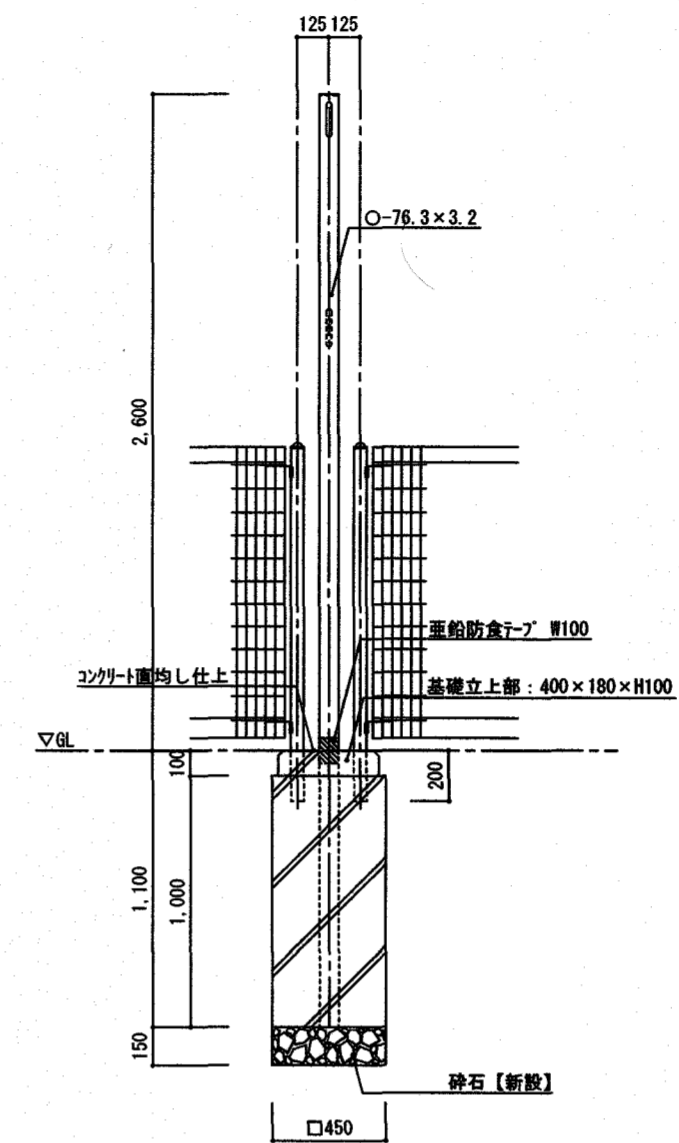


ポールA姿図

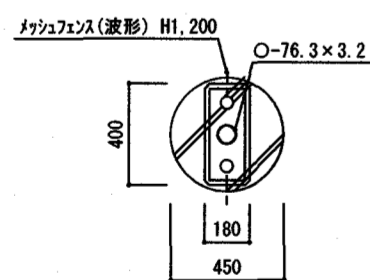


ポールC基礎詳細図

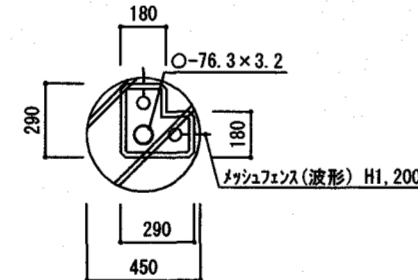
改修後



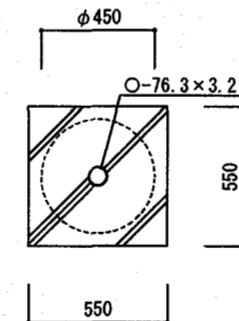
ポールA姿図
ポール【移設】基礎【新設】



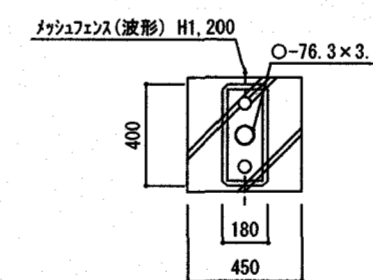
ポールA基礎平面図 3箇所
・基礎【撤去】ポール【移設】



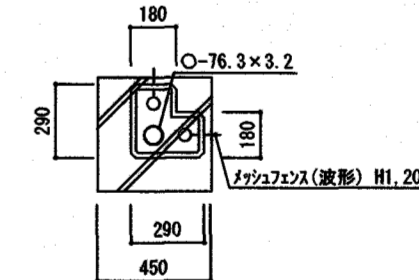
ポールB基礎平面図 1箇所
・ポール(基礎共)【撤去】



ポールC基礎平面図 2箇所
・ポール(基礎共)【撤去】



ポールA基礎平面図 2箇所
・基礎【新設】ポール【移設】



ポールB基礎平面図 1箇所
・基礎【新設】ポール【移設】

備考	高知市都市建設部公共建築課				とさやま保育園調理室棟新築工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称	
	保	係長	課長補佐	課長			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	編尺	S=1:30
	小野	菅原	松本	松本	一級建築士第135971	安並和文	年月日	図面	製図	A	35